

米に関するマンスリーレポート (令和6年7月号)



うちの郷土料理
次世代に伝えたい大切な味

茨城県 はまぐりごはん

出典: 農林水産省「うちの郷土料理」
詳細情報を裏面で紹介

「米に関するマンスリーレポート（マンレポ）」とは

⇒ 米に関する価格や需給の動向に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表しています。需要に応じた生産・円滑な米取引に役立てていただくことを目的としています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬公表。公表日の2営業日前までに入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあり得ます。

データはどう読み解けばいいの？

そんなときは、「ここが分からない！マンレポ」をチェック！

https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/manrepo_kaisetu.html

うちの郷土料理

次世代に伝えたい大切な味

茨城県

はまぐりごはん

主な伝承地域

茨城県 県内全域

主な使用食材

ハマグリ、しいたけ、人参

歴史・由来・関連行事

茨城県大洗岬から千葉県犬吠埼にいたる海域の鹿島灘は、親潮と黒潮がぶつかる潮目であるため、豊富な海の幸に恵まれる。鹿島灘の砂地が続く沿岸部では春ごろになると、産卵前の大ぶりのハマグリがとれる。時に10cmを超えるハマグリがとれ、市場では「鹿島灘はまぐり」の名で高値で取引されている。

「鹿島灘はまぐり」は、和名を「チョウセンハマグリ」というが、その名前から輸入品と間違われやすく、平成7年（1995年）から「鹿島灘はまぐり」と名付け、県をあげてブランド化している。

現在、国内で流通しているハマグリの多くは輸入品で、国産ものはわずか10%ほどと希少な食材となってきたが、そのうちの半数以上が鹿島灘産である。そうした希少な「鹿島灘はまぐり」を守るため、大洗町・鹿島灘・はさきの3漁協では、輪番制で計画的に漁をおこなうなどの管理を徹底するなどの保存活動がおこなわれている。

いまでこそ希少となったハマグリではあるが、昔は大洗や鹿行（ろっこう）地域の沿岸部でよくとられていたため、茨城県では身近な食材であった。とれたハマグリを新鮮なまま刺身や網焼きで味わうものから、味噌汁に入れたり、酒蒸しにするなど、さまざまな調理方法で親しまれてきた。「はまぐりごはん」もはまぐり料理の定番料理として、家庭でもよく食べられてきた。

食習の機会や時季

ハマグリの旬は春だといわれるが、「鹿島灘はまぐり」は、6月から7月頃がちょうど産卵前の時期となるため身が肥え、旨味も濃くなるという。

ハマグリの貝殻は、大きさやちょうつがいのかたちが違うため、一度外すと他の殻と決して合わないことから、結婚式や雛祭り、お正月など、おめでたいハレの席で振る舞われてきた。

また、ハマグリがたくさんとれていた頃は、時期に関わらず、家庭ごとの味付けで「はまぐりごはん」がよくつくられていた。

飲食方法

ハマグリを食べやすい大きさに切り、千切りにした人参、しいたけとともに油で手早く炒め味付けをする。

炒めすぎると身がかたくなりすぎてしまうので注意が必要。

米に炒めた時に残った煮汁と水を入れて炊き上げ、最後に具を混ぜ込んでいただく。各家庭によって味付けや、入れる具材が異なる。ハマグリのぷりぷりとした食感と、旨味を存分に味わえる。

材料（4人分）

・米	3カップ	・砂糖	大さじ1
・ハマグリのむき身	300g	・酒	大さじ3
・生しいたけ	7枚	・だし汁	3/4カップ
・人参	50g	・サラダ油	大さじ1
・醤油	大さじ3	・三つ葉	少々

作り方

- ハマグリは食べやすい大きさに切り、人参、しいたけは千切りにする。材料を油で炒め、味付けをする。具と煮汁は分けておく。
- 米に水と煮汁を加えてごはんを炊き、炊き上がったごはん具をのせ、10分くらい蒸らして混ぜる。
- 彩りとして三つ葉を散らす。

※レシピは地域・家庭によって違いがあります。

目次（令和6年7月号）

特集

- 1 水稻の高温対策について
- 2 水稻の害虫対策について
- 3 主要産地における令和6年産水稻の生育状況等について

特集-1

特集-2

特集-3

1 米の民間在庫情報

各産地の米の民間在庫数量は、年間玄米仕入量500トン以上の出荷段階（全農、JA等の出荷業者）の在庫量と年間玄米仕入数量4,000トン以上の販売段階（米卸等の販売業者の在庫量）を対象に調査し、その合計（出荷段階＋販売段階）の数値も合わせて公表しています。

集荷数量が概ね確定する1月以降の在庫数量は、販売に伴って減少していくので、その変化を見ることにより、販売状況を読み取ることができます。

1 民間在庫の推移

農林水産省（農産）HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

- (1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米）（速報）
- (2) 産地別民間在庫の状況（速報）
- (3) 令和4・5年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）

在庫-1

Excel

在庫-4

Excel

在庫-5

Excel

2 米の価格情報

相対（あいたい）取引価格

米については、全農等の出荷業者と卸売業者等との間で、年間を通じて「相対取引」が行われています。

このため、農林水産省では、年間の玄米仕入量5,000トン以上の全国出荷団体等を対象に、指標となる各産地の上位2～3銘柄（令和5年産米：118産地品種銘柄）について、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格・数量を毎月調査し、米の取引価格の代表となる指標の一つとして公表しています。

1 相対取引価格・数量

農林水産省（農産）HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

- (1) 年産別の相対取引価格（速報）
- (2) 相対取引価格・数量（令和5年産米、産地品種銘柄別、令和6年5月分）（速報）
相対取引価格・数量（令和5年産米、産地品種銘柄別、令和6年6月分）（速報）
- (3) 相対取引価格（月別・年産平均価格）（令和4・5年産米、産地品種銘柄別）（速報）

価格-1

価格-2

Excel

価格-4

Excel

価格-6

Excel

価格-8

2 米取引関係者の判断（米穀機構による調査、令和6年6月分）

米穀安定供給確保支援機構HP

<https://www.komenet.jp/>

3 米の契約・販売情報

産地別事前契約数量は、米の播種が始まる前に、契約書や確認書等によりあらかじめ取引されることが決定している数量で、年間玄米仕入量500トン以上の出荷段階（全農、JA等の出荷業者）からの報告を産地別に取りまとめたものです。例えば、仕入（集荷）計画数量に占める事前契約数量の比率が高い産地では、取引数量の多くを播種前に契約し、需要に応じた生産に向けた取組が進められていることがうかがえます。

1 令和6年産備蓄米の政府買入入札結果

農林水産省（農産）HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/syoryu/kaiire/index.html>

契約-1

2 令和5年産米の産地別契約・販売状況

（累計、うるち米、令和6年5月末現在）（速報）

契約-2

Excel

3 事前契約（播種前契約）の取組状況

- (1) 近年の事前契約（播種前契約）数量の推移（令和3年産～令和5年産）
- (2) 令和4・5年産米の産地別事前契約（播種前契約）の取組状況（速報）

契約-5

契約-6

Excel

4 水田における作付意向について（令和6年産第2回中間的取組状況（令和6年4月末時点））

- (1) 令和6年産米等の作付意向
- (2) 水田における作付意向について（都道府県別）

契約-7

契約-8

4 消費の動向

1 米の消費動向(米穀機構による調査)

米穀安定供給確保支援機構HP <https://www.komenet.jp/>

消費-1

2 購入数量・支出金額の推移(家計調査)

総務省統計局HP <https://www.stat.go.jp/data/index.html>

消費-4

3 消費者物価指数の推移

消費-6

4 小売物価統計の推移

消費-7

5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向(速報)

消費-8

6 小売価格の推移(POSデータ)

消費-9

5 輸出入の動向

1 コメ・コメ加工品の輸出実績

(1) コメ・コメ加工品の輸出実績の推移

輸出入-1

(2) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移

輸出入-2

(3) 2023年のコメの輸出実績の主な増加要因

輸出入-3

(4) 米菓の輸出数量及び金額の推移

輸出入-4

(5) 日本酒(清酒)の輸出数量及び金額の推移

輸出入-5

(6) 包装米飯(パックご飯)等の輸出数量及び金額の推移

輸出入-6

(7) 米粉の輸出数量及び金額の推移

輸出入-7

(8) 米粉麺等の輸出数量及び金額の推移

輸出入-8

2 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について

輸出入-9

3 MA米の輸入数量(輸入先国別及び輸入方式別)

輸出入-11

農林水産省(農産)HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueiki/nyusatu/index.html>

4 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合せ結果(令和6年度)

輸出入-12

5 SBS輸入米の見積合せ結果(令和5年度)

輸出入-13

6 CPTPP・国別枠の見積合せ結果(令和6年度)

輸出入-14

6 主食用米以外の情報

1 加工用米及び新規需要米等の生産状況

(1) 加工用米の生産量

主食外-1

(2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移

主食外-1

(3) 令和5年産 都道府県別の生産状況

主食外-2

(4) 加工用米及び新規需要米における多収性品種

主食外-3

(5) 新規需要米における米粉用向け専用品種

主食外-3

2 米加工品の状況

(1) 主な米加工品の生産状況

主食外-4

(2) 令和3米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況(推計)

主食外-5

(3) 加工原材料用米穀の使用状況(推計)の推移

主食外-6

3 酒造好適米の需給状況

(1) 日本酒の出荷状況

主食外-7

(2) 日本酒原料米の使用状況

主食外-7

(3) 酒造好適米の生産量

主食外-8

(4) 酒造好適米の需要量

主食外-8

「米に関するマンスリーレポート」では、米に関する価格や需給の動向に係るデータ・情報をより多くの方に、かつ、より有効に活用していただけるよう、情報の整理方法、提供方法等を見直しました。
また、当省ホームページでの公表に際しては、本編・資料編に加え、カテゴリ別にも整理して掲載するとともに一部データ資料については、エクセルによる提供も開始しましたので、ぜひご活用ください。

今月の特集①

水稻の高温対策について

- ・ 6月は全国的に気温が高く推移しましたが、今後も高い見込みと予想されています。
- ・ 高温環境における水稻への影響を軽減するため、引き続き適切な栽培管理が重要です。

向こう3か月の天候の見通し (7月～9月)

	平均気温 (3か月)
北日本	低20 並30 高50% 高い見込み
東日本	低10 並30 高60% 高い見込み
西日本	低10 並30 高60% 高い見込み
沖縄・奄美	低10 並20 高70% 高い見込み

気象庁 (向こう3か月の天候の見通し)
https://www.data.jma.go.jp/cpd/long_fcst/kaisetsu/?term=P3M

農業技術の基本指針 (高温対策・渇水対策)

高温対策

- ・ 葉色を見ながら生育診断を必ず行い、**適期に適量の穂肥の施用**を行うこと。
- ・ **出穂後の通水管理**、**収穫前の早期落水防止**等の水管理を徹底すること。
- ・ 収穫作業については、高温によって登熟期間が短縮し、収穫適期が通常より早まる可能性があるため、出穂期以降の積算気温や籾の状態に十分注意し、**刈り遅れと**
ならないよう品種・地帯毎の収穫適期を判定する。

渇水対策

- ・ 不足が見込まれる場合には**番水**や**用排水の反復利用**等を行い、農業用水の有効活用に努める。

「農業技術の基本指針」

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kihyo03/gityo/g_kihon_sisin/r5sisin.html

「渇水時の対応」

https://www.maff.go.jp/j/nousin/mizu/kurasi_agwater/k_kassui/index.html

実証事業のご案内

高温対策栽培体系への転換支援 (R5補正予算)

高温環境に適応した栽培体系への転換に向けて、地域の実情や品目に応じた**高温耐性品種**や**高温対策栽培技術**を迅速に産地に導入するための**実証等**を支援しており、各地で取組が行われています。



新品種への切替え実証



土づくりの実証

- ・ 栽培実証に直接必要となる経費 (実証圃の借上げ、種子・苗、資材、土壌分析、堆肥施用等の土づくり、生産物の分析・調査等) を支援 (1/2以内)

詳細は都道府県、地方農政局等にお問合わせください。

【各地で実施されている取組】

都道府県	事業実施主体	取組内容
秋田県	JA秋田おぼこ	飽水管理
福島県	福島米肥稲作部会・高温対策研究会	高温耐性品種 (にじのきらめき) の導入、省力化高窒素肥料 (指定肥料・指定投下量) の施用
茨城県	茨城県	高温耐性品種 (にじのきらめき) の導入、水管理、追肥施用、堆肥施用、深耕、病害虫防除
栃木県	米米くらぶ	高温耐性品種 (とちぎの星) の導入、害虫防除
新潟県	新潟県指導農業士会	高窒素鶏ふんペレットの基肥利用栽培体系
富山県	富山県	追加穂肥の実施、堆肥の散布、ゼオライトの散布
富山県	富山県再生協議会	高温耐性品種 (富富富、てんたく、てんこもり) への切替え実証
石川県	JA石川かほく	追肥
兵庫県	長尾環直研究会	高温耐性品種 (にじのきらめき) の導入
鳥取県	鳥取県産米改良協会	高温耐性品種 (星空舞) の導入、堆肥施用
島根県	やすぎ高温耐性米生産推進協議会	高温耐性品種 (きぬむすめ、にじのきらめき等) の導入、土づくり (堆肥・土壌改良剤施用)、元肥、追肥 (ケイ酸質肥料等)、農薬の適期適量散布、かけ流し灌水

水稻の害虫対策について

水稻の害虫が活発に活動する時期です。収量確保のために、都道府県が発表する発生予察情報等を参考に適時・適切な防除を実施してください。

発生予察情報とは？

主な発生予察情報

種類	発表頻度	内容
予報	概ね月1回	病虫害の発生予測及び防除情報を定期的に発表
警報	適宜	重要な病虫害が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講じる必要が認められる場合に発表
注意報	適宜	警報を発表するほどではないが、重要な病虫害が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要が認められる場合に発表
その他	適宜	技術情報など、上記に含まれない情報を発表

発生予察の対象病虫害（例）



斑点米カメムシ類



いもち病



コブノメイガ

- 国と都道府県は、病虫害の発生予測と防除情報を、**発生予察情報として発表**しています。
- 都道府県が発表する発生予察情報は、概ね月1回発表の予報、適宜発表の注意報等があります。
- 防除の参考として**発生予察情報を是非ご活用**下さい。



農林水産省では、都道府県の発生予察情報を取りまとめ、国の病虫害の発生予報として発表しています。

直近では、**7月10日（水）に発表**しておりますので、ご覧下さい！

また、**7月24日（水）には、水稻特集の発生予報を発表予定**です。



※国の発生予察情報掲載ページ
(農水省HP)

今後注意すべき水稻の害虫 トビイロウンカ

○トビイロウンカとは

- 主に6月～7月の間に大陸から風によって移動型(長翅型)成虫が毎年日本列島に飛来。
- 飛来後のほ場では、定着型(短翅型)が現れ、急激に増殖。
- イネの株元を吸汁することで被害が発生し、ひどい場合は坪枯れを引き起こす。
- 気温が高く雨が少ない年には、発生が多くなる傾向。

○被害の発生が懸念される地域では、ほ場をよく見回るとともに、次の対策を行いましょう

● 本田での防除（基幹防除）

効果の高い薬剤による**薬剤散布を実施**。

また、本田防除後も発生状況を確認するため、ほ場の観察を行う。

● 追加防除

発生予察情報のチェックやほ場の見回りにより、**発生状況に応じた臨機の防除を実施**。

出穂期以降に防除が必要な場合には、トビイロウンカの生息する株元まで薬剤が十分に届くように、使用する薬剤、散布機を選択する。

なお、株元への薬剤散布ができない場合には**出穂前の粒剤散布を行う**。

※同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。



移動型(長翅型)

- ・体長 約4.5 mm
- ・翅が長い
- ・大陸から飛来



定着型(短翅型)

- ・体長 約3 mm
- ・翅が短い
- ・増殖スピードが速い



坪枯れ

※地域や栽培体系などにより、使用する薬剤など、効果の高い防除体系は異なります。
都道府県が発表する情報に基づき、より効果の高い防除を実施してください。

温暖化等の影響により、**不稔を発生させるイネカメムシの発生が近年、拡大**しています。
詳細は、米に関するマンスリーレポート（令和6年5月号）特集をご覧ください。

今月の特集③

主要産地における令和6年産水稻の生育状況等について (令和6年7月11日取りまとめ情報)

(公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部)

道府県	生育状況等		
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等（自治体等公表資料の抜粋）	技術・防除・気象等関連公表資料 （自治体、気象台等公表資料の抜粋）
		平年に対する遅速等	
北海道	（生育）	（7月1日現在） （全道） 生育は平年並に進んでいる。（北海道農政部 7月5日付） （空知） 生育は平年並である。（北海道空知総合振興局 7月5日付） （石狩） 生育は平年並である。（北海道石狩振興局 7月5日付） （後志） 作物の生育は平年並から平年よりも早く進んでいる（北海道後志振興局 7月5日付） （胆振） 生育は平年よりやや早く進んでいる。（北海道胆振総合振興局 7月5日付） （日高） 高温多照により生育は順調である。生育の遅速は平年より早い。 （北海道日高振興局 7月5日付） （渡島） 気温が高く、生育は平年並である。（北海道渡島総合振興局 7月5日付） （檜山） 生育は平年並で推移。（北海道檜山振興局 7月5日付） （上川） 生育は平年並である。（北海道上川総合振興局 7月5日付） （留萌） 生育は平年並に進んでいる。（北海道留萌振興局 7月5日付） （オホーツク） 生育は平年並である。（北海道オホーツク総合振興局 7月5日付）	【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 北海道地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁札幌管区気象台） 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北海道地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁札幌管区気象台） 北海道地方は7月17日頃からかなりの高温。 （気象庁札幌管区気象台）
青森	（生育）	（7月10日現在） 「はれわたり」は草丈が67.3cmで平年より1.6cm短く、株当たりの茎数は32.1本で3.8本多く、葉齢は10.3葉で0.3葉多かった。 「まっしぐら」は草丈が69.0cmで平年より3.2cm長く、株当たりの茎数は31.2本で0.4本少なく、葉齢は10.7葉で0.6葉多かった。 「青天の霹靂」は草丈が69.8cmで平年より3.0cm長く、株当たりの茎数は24.2本で3.7本少なく、葉齢は9.8葉で0.3葉多かった。 （（地独）青森県産業技術センター農林総合研究所 7月11日付）	【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁仙台管区気象台） 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁仙台管区気象台） 東北地方は7月17日頃からかなりの高温。 （気象庁仙台管区気象台） 向こう1か月斑点米カメムシ、紋枯病の発生が多いと予想される。 （農林水産省 7月10日付）
岩手	（生育）	（7月5日現在） - 北上・軽米ともに6月第6半旬及び7月1半旬は気温が平年並～やや高く推移したことから生育のペースは6月25日時点より緩慢となっている。 茎数は北上で平年比110%（6/25：115～121%）と平年を上回っているが、軽米では平年比86%（6/25：108%）となっており、平年より早く最高分げつ期に到達したと推察される。 - 生育ステージは、平年並～やや早く（平年差-2±0日）に穂首分化期に到達している。（岩手県農業研究センター 7月8日付）	【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁仙台管区気象台） 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁仙台管区気象台） 東北地方は7月17日頃からかなりの高温。 （気象庁仙台管区気象台） 向こう1か月斑点米カメムシ、紋枯病の発生が多いと予想される。 （農林水産省 7月10日付）
宮城	（生育）	（7月1日現在） - 古川農業試験場の「ひとめぼれ」では、草丈は55.3cm（平年比112%）、1㎡当たりの茎数は686本（平年比108%）、葉色はGM値が40.8（平年差-0.9）、葉数は9.8枚（平年差+0.3枚）となっており、平年と比較して茎数は多く、葉数はやや多くなっている。宮城県農政部みやぎ米推進課 7月2日付） （石巻） 生育は順調、草丈は長く茎数は平年並、葉数は多い。生育の進んでいるほ場では幼穂形成始期に達している。（宮城県石巻農業改良普及センター 7月4日付） （亘理） 1㎡当たり茎数は、幼穂形成期の目標茎数並を確保している。（宮城県亘理農業改良普及センター 7月4日付） （美里） 移植水稻は、草丈・茎数が多い傾向で、晩生品種の「つや姫」を含めたすべての調査品種で有効茎数を確保している。（宮城県美里農業改良普及センター 7月3日付） （栗原） 管内の「ひとめぼれ」については、若柳では平年と比べ草丈は長くなっているものの、茎数は少なくなっている。また一迫では平年と比べ、草丈は平年並となっているが、茎数・葉数はともに少なくなっている。（宮城県栗原農業改良普及センター 7月2日付） （大河原） 令和5年並に出穂時期が早まることが予測される。（宮城県大河原農業改良普及センター 7月3日付） （仙台） （移植栽培「ひとめぼれ」）草丈は56.3cm 概ね平年並、葉色は39.3でこの時期の目安（40前後）の範囲内となっている。茎数は55本/㎡で平年（471本/㎡）よりやや多い状況。（宮城県仙台農業改良普及センター 7月2日付） （大崎） 6月第2半旬以降は概ね高温多照で経過したことから、生育は平年より進んでいる。ほ場平均値は、草丈、葉数及び葉色は平年を上回り、茎数は96%でほぼ平年並。5月連休中に移植したほ場では幼穂が確認され、まもなく幼穂形成始期に達する見込み。晩期移植ほ場ではようやく茎数が目標茎数に達した。（宮城県大崎農業改良普及センター 7月2日付） （登米） 管内の生育調査ほの「ひとめぼれ」については、草丈、茎数ともに平年を上回って推移しているが、葉色は平年を下回っている。晩期栽培の「ひとめぼれ」は、草丈が伸び、茎数も順調に増加している。「だて正夢」は、草丈が平年をやや上回っているが、茎数、葉色は平年を下回っている。「金のいぶき」は、草丈が概ね平年並、茎数は平年を上回っている。田植えの早かった「つや姫」、「つきあかり」調査ほや「ひとめぼれ」（登米町）も有効茎数を確保しており、中干しの時期に入っている。（宮城県登米農業改良普及センター 7月2日付） （気仙沼） 6月は高温で推移したため、概ね順調な生育となっている。（宮城県気仙沼農業改良普及センター 7月2日付）	【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁仙台管区気象台） 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁仙台管区気象台） 東北地方は7月17日頃からかなりの高温。 （気象庁仙台管区気象台） 向こう1か月斑点米カメムシの発生が多いと予想される。 （農林水産省 7月10日付）
秋田	（生育）	（7月5日現在） 【移植栽培】 定点調査ほの生育概況 - 各地域振興局による調査（7月5日）では、「あきたこまち（県内64地点）」は平年に比べ草丈は長く、葉数は多く、葉緑素計値は平年並であった。 茎数は県北と県南は平年並で中央はかなり多く、ほ場間差は依然としてみられる。「ひとめぼれ（県央8地点）」は、平年に比べ草丈は長く、茎数と葉色は平年並であり、葉数は多い。 【直播栽培】 全県の生育概況（湛水）「あきたこまち」 - 草丈43.2cm（平年比103%）、㎡当たり茎数628本（同99%）、葉数9.6葉（平年差+0.7葉）、葉緑素計値42.7（平年比100%）となっている。 平年に比べ、草丈および茎数は平年並、葉数は多く、葉緑素計値は平年並となっている。（秋田県 7月10日付）	【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁仙台管区気象台） 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁仙台管区気象台） 東北地方は7月17日頃からかなりの高温。 （気象庁仙台管区気象台） 向こう1か月斑点米カメムシ、紋枯病の発生が多いと予想される。（農林水産省 7月10日付）

道府県	生育状況等		
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等（自治体等公表資料の抜粋）	技術・防除・気象等関連公表資料 （自治体、気象台等公表資料の抜粋）
		平年に対する遅速等	
山形	（生育）	（7月10日現在） - 平坦部「はえぬき」の生育は、草丈はやや長く、茎数は平年に比べてやや少なく、葉数はやや多く、葉色はやや濃くなっている。農業総合研究センターの調査によると、出穂期はやや早い予想。（山形県農林水産部農業技術環境課 7月10日付） 「雪岩丸」の生育は、平年値に比べ、草丈がやや長く、茎数、葉数は多く、葉色がやや濃いとなっている。農業総合研究センターの調査では、出穂期は平年並からやや早い予想となっている。（山形県農林水産部農業技術環境課 7月10日付）	【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁仙台管区気象台） 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁仙台管区気象台） 東北地方は7月17日頃からかなりの高温。 （気象庁仙台管区気象台） 向こう1か月斑点米カメムシの発生が多いと予想される。（農林水産省 7月10日付）
福島	（生育）	（6月4日調査）【農業総合センターにおける水稻の生育状況】・「コシヒカリ」の生育調査では、平年に比べて、本部（郡山市）は草丈が長く、茎数が少なく、主稈葉数が0.1 葉少くなっている。・会津地域研究所（会津坂下町）は、草丈が短く、茎数が少なく、主稈葉数が0.1 葉少くなっている。・浜地域研究所（相馬市）は、草丈が平年並、茎数が多く、主稈葉数が0.3 葉多くなっている。 （福島県農林水産部農業振興課 6月10日付）	【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁仙台管区気象台） 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁仙台管区気象台） 東北地方は7月17日頃からかなりの高温。 （気象庁仙台管区気象台） 向こう1か月斑点米カメムシの発生が多いと予想される。（農林水産省 7月10日付）
茨城	（生育）	（水戸市）（5月1日移植）（7月1日現在） （茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 7月4日付） - 幼穂長から予測される出穂期は「あきたこまち」で7月13日、「ふくまるSL」で7月14日、「コシヒカリ」で7月23日である。 （龍ヶ崎市）（4月27日移植）（7月5日現在） （茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 7月9日付） - 今後気温が平年並に推移した場合、幼穂長から予測される出穂期は、「あきたこまち」で7月6日頃、「ふくまるSL」で7月10日頃、「コシヒカリ」で7月20日頃である。「あきたこまち」は、草丈がやや高く、茎数が少なく、葉色が平年並である。「ふくまるSL」及び「コシヒカリ」は、草丈が平年並、茎数が少なく、葉色がやや濃い。	【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁） 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁） 関東地方は7月19日頃からかなりの高温。 （気象庁） 向こう1か月斑点米カメムシの発生が多いと予想される。（農林水産省 7月10日付）
栃木	（生育）	（生育概況）（6月21日調査） ＜早植コシヒカリ＞ - 草丈：那須町では長いが全体的には前年よりやや短い（95%） - 茎数：塩谷南那須、上都賀管内でやや少ないが、全県平均では前年よりやや多い（104%） - 葉齢：全県的に前年並み。 - 葉色：全県的にバラついているが、前年並みからやや濃い（+0.2）。 ＜早植とちぎの里＞ - 草丈：宇都宮市、農研センターで前年並み、さくら市、真岡市は前年より短い。 - 茎数：真岡市で少ないが、他の地域では前年をかなり上回っている。全体的には前年より多い（前年比 114%） - 葉色：葉色版での葉色は農研センターでは淡いが、全体的には前年より濃い（+0.4） （栃木県農政部経営技術課 6月27日付）	【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁） 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁） 関東甲信地方は7月19日頃からかなりの高温。 （気象庁） 向こう1か月斑点米カメムシの発生が多いと予想される。（農林水産省 7月10日付）
千葉	（生育）	【生育概況】 4月20日に移植した「コシヒカリ」「粒すけ」は6月20日頃、5月1日に移植した「コシヒカリ」は6月25日頃に幼穂形成期を迎えている。 - いずれの品種も幼穂形成期が平年より3日程度早くなっている。 - 現在の「コシヒカリ」の生育は、草丈が平年並みで、茎数がやや多く、5月1日植えは葉色がやや濃く推移している。（千葉県農林水産部 6月27日付）	【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁） 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁） 関東甲信地方は7月19日頃からかなりの高温。 （気象庁） 向こう1か月斑点米カメムシ、ツマグロヨコバイ、繭葉枯病の発生が多いと予想される。（農林水産省 7月10日付）
新潟	（生育）	（7月10日現在） （新発田）「コシヒカリ」長草で葉色が濃い稲姿。出穂期は平年より2日程度早まる見込み。（新発田農業普及指導センター 7月11日付） （新潟）「コシヒカリ」指標値に比べ、草丈「やや長」、茎数「並」、葉数「やや遅」、葉色「濃」。（新潟農業普及指導センター 7月10日付） 「新之助」指標値と比べ、草丈「長」、茎数「並」、葉数「並」、葉色「濃」。出穂期予想は8月10日で近年やや早い。 （新潟農業普及指導センター 7月11日付） （三条）「コシヒカリ」指標値比：草丈「長」、茎数「並」、葉数「早」、葉色「濃」（三条農業普及指導センター 7月10日付） （長岡）「コシヒカリ」草丈が長く、茎数多く、葉色は濃い傾向。（ほ場間差あり） 出穂期は平坦地では8月2日頃の見込み。 （長岡農業普及指導センター 7月10日付） （十日町）「コシヒカリ」生育状況は、草丈「長い」、茎数は「多い」、葉数の進みは「やや早い」、葉色は「濃い」。出穂期は前年並に早くなると予想される。 （十日町農業普及指導センターほか 7月10日付） （上越）「コシヒカリ」「こしいぶき」ともに出穂期は平年並となる見込み。 「コシヒカリ」では、草丈は長く、葉色がやや濃くなっている。 （上越農業普及指導センター 7月10日付） （佐渡）「コシヒカリ」曇雨天傾向が続いたため草丈が伸び、葉色は濃くほ場間差が大きい状況。出穂期は「平年より2日程度早い」見込み。 （佐渡農業普及指導センター 7月10日付） （7月1日現在の県内全域の生育概況） 「コシヒカリ」では指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「長い」、茎数は「やや多い」、葉数の進みは「やや早い」、葉色は「並」の状況。 「新之助」では指標値に比べ、草丈は「長い」、茎数は「やや多い」、葉数の進みは「並」、葉色は「濃い」状況。（新潟県農林水産部 7月2日付）	【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台） 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台） 北陸地方は7月19日頃からかなりの高温。 （気象庁新潟地方気象台） 向こう1か月斑点米カメムシの発生が多いと予想される。（農林水産省 7月10日付）

道府県	生育状況等		
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等（自治体等公表資料の抜粋）	技術・防除・気象等関連公表資料 （自治体、気象台等公表資料の抜粋）
		平年に対する遅速等	
富山	（生育）	（7月2日 生育観測ほ） ・「てんたかく」平年に比べ、草丈は並、莖数はやや多く、葉色は淡く、葉齢は0.4 葉進んでいる。葉齢を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈は並、莖数はやや多く、葉色は淡くなっている。今後、平年並の気温で推移した場合、出穂期は平年に比べ1日遅い7月16日頃と見込まれる。 ・「コシヒカリ」平年に比べ、草丈、莖数、葉齢は並、葉色はやや淡くなっている。幼穂形成期は、平年に比べ1日早い7月10日頃と見込まれる。 ・「てんこもり」平年に比べ、草丈は長く、莖数、葉色は並、葉齢は0.5 葉進んでいる。葉齢を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈、葉色は並、莖数はやや多くなっている。幼穂形成期は、平年に比べ2日早い7月10日頃と見込まれる。。 ・「富富富」近年に比べ、草丈は長く、莖数はやや多く、葉色は並、葉齢は0.2 葉進んでいる。葉齢を揃えて比較すると、近年に比べ、草丈はやや長く、莖数はやや多く、葉色は並となっている。幼穂形成期は、近年に比べ1日早い7月12日頃と見込まれる。（富山県農業技術課 7月2日付）	【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台） 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台） 北陸地方は7月19日頃からかなりの高温。 （気象庁新潟地方気象台） 向こう1か月斑点米カメムシの発生が多いと予想される。（農林水産省 7月10日付）
石川			【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台） 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台） 北陸地方は7月19日頃からかなりの高温。 （気象庁新潟地方気象台） 向こう1か月斑点米カメムシの発生が多いと予想される。（農林水産省 7月10日付）
福井	（生育）	・ 農業試験場の5月2日に移植した「ハナエチゼン」の幼穂形成期は平年より1日早い6月26日となった。 （水田農業レベルアップ委員会技術普及推進部会 7月5日付）	【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台） 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台） 北陸地方は7月19日頃からかなりの高温。 （気象庁新潟地方気象台） 向こう1か月斑点米カメムシの発生が多いと予想される。（農林水産省 7月10日付）
長野	（生育）	・ 定点圃場の「あきたこまち」の幼穂形成期は7月2日で、平年より4日早。また現地からは、5月1日前後に田植えされた「コシヒカリ」が幼穂形成期になったとの情報が入っている。 ・ 7月4日気象庁発表の1か月予報でも、平均気温は高い確率80%で、期間のはじめは、気温がかなり高くなると見込まれているため、今後の気温が平年より2℃高温になるとして推定した結果、生育進度は「あきたこまち」「コシヒカリ」で平年より4～6日早く、出穂期もかなり早まる（昨年並）と予測された。（松本農業農村支援センター 7月5日付）	【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁） 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁） 関東甲信地方は7月19日頃からかなりの高温。（気象庁）
滋賀	（生育）	（農業技術振興センター 水稲作況調査 6月20日時点） ・ 草丈は、「みずかがみ」は平年よりやや短く、「コシヒカリ」は平年並であった。 ・ 莖数は、「みずかがみ」は平年並、「コシヒカリ」はやや少なかった。 ・ 葉色は、「みずかがみ」は平年よりやや薄く、「コシヒカリ」は平年並であった。 ・ 主幹葉数は「みずかがみ」は平年より多く、「コシヒカリ」はやや多かった。 ・ 6月25日現在、「みずかがみ」「コシヒカリ」は幼穂形成期（幼穂1.0mm）に達していないが平年並～やや早い時期となる見込み。 （滋賀県農業技術振興センター 6月26日付）	【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁大阪管区気象台） 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 （気象庁大阪管区気象台） 近畿地方は7月19日頃からかなりの高温。 （気象庁大阪管区気象台） 向こう1か月いもち病の発生が多いと予想される。（農林水産省 7月10日付）
兵庫	（生育）	（6月28日現在） 【県北】 「コシヒカリ」の草丈はやや高く、莖数はやや少なく、葉齢の進展は平年並。遅植えでは、草丈は高く、莖数はやや少なく、葉齢の進展は早い。 【県北以外】 草丈はやや高く、莖数は平年並。葉齢の進展はやや早い。 （兵庫県農林水産部 7月8日付）	【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁大阪管区気象台） 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 （気象庁大阪管区気象台） 近畿地方は7月19日頃からかなりの高温。 （気象庁大阪管区気象台） 向こう1か月いもち病の発生が多いと予想される。（農林水産省 7月10日付）

道府県	生育状況等		
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等（自治体等公表資料の抜粋）	技術・防除・気象等関連公表資料（自治体、気象台等公表資料の抜粋）
		平年に対する遅速等	
岡山	（生育）	極早生種の生育は概ね平年並である。（岡山県 6月27日付）	【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁広島地方気象台） 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。（気象庁広島地方気象台） 中国地方は7月19日頃からかなりの高温。（気象庁広島地方気象台） 向こう1か月斑点米カメムシ、セジロウンカの発生が多いと予想される。（農林水産省 7月10日付）
広島			【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁広島地方気象台） 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。（気象庁広島地方気象台） 中国地方は7月19日頃からかなりの高温。（気象庁広島地方気象台） 向こう1か月斑点米カメムシ、セジロウンカの発生が多いと予想される。（農林水産省 7月10日付）
愛媛	（生育）	（7月8日現在）「ひめの凛」（愛媛県農林水産研究所内水田ほ場） 6月14日移植、移植後 25 日時点での茎数は 15.2 本/株で、昨年と同程度。（愛媛県農林水産研究所 7月9日付）	【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁高松地方気象台） 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。（気象庁高松地方気象台） 四国地方は7月19日頃からかなりの高温。（気象庁高松地方気象台）
高知	（生育）	（6月月報） 【早期稲】 - 生育：並 - 生育ステージは例年に比べやや早いものの、草丈および分けつ数は概ね平年並で推移している。 - 出穂時期は極早生品種で平年より1週間ほど早く、「コシヒカリ」では平年並～やや早いと見込まれている。 出穂前のほ場において斑点米カメムシ類の発生が確認されており、斑点米等への影響が懸念される。 【普通期稲】 - 生育：並 - 概ね順調に生育している。（高知県病害虫防除所 7月5日付）	【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁高松地方気象台） 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。（気象庁高松地方気象台） 四国地方は7月19日頃からかなりの高温。（気象庁高松地方気象台）
福岡	（生育）	【早期水稻（夢つくし、コシヒカリ）】 - 田植え後、気温がやや高く経過したため、活着は順調で草丈・茎数は平年並。ウンカ類の発生は確認されていない。 4月下旬植えの出穂期は7月3半旬頃で、平年並の見込み。 【普通期水稻（夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど）】 - 育苗期の天候は良好に経過しており、苗の生育は概ね順調。 - 現在、麦収穫後のほ場でも田植えが始まり、平坦地の「夢つくし」は6月上中旬、「元気つくし」は6月中下旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬が最盛期となる見込み。（福岡県農林業総合試験場 6月23日付）	【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁福岡管区気象台） 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 九州北部地方の3か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。（気象庁福岡管区気象台） 九州北部地方は7月18日頃からかなりの高温。（気象庁福岡管区気象台） 向こう1か月トビイロウンカの発生が多いと予想される。（農林水産省 7月10日付）
熊本			【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁福岡管区気象台） 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 九州北部地方の3か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。（気象庁福岡管区気象台） 九州北部地方は7月18日頃からかなりの高温。（気象庁福岡管区気象台） 向こう1か月斑点米カメムシ、セジロウンカの発生が多いと予想される。（農林水産省 7月10日付）
宮崎	（生育）	（6月中旬） 【作物の生育状況】 早期水稻は穂ばらみ期、普通期水稻は移植前後。（宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 6月27日付）	【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁鹿児島地方気象台） 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 九州南部地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。（気象庁鹿児島地方気象台） 九州南部地方は7月17日頃からかなりの高温。（気象庁鹿児島地方気象台） 向こう1か月斑点米カメムシ、セジロウンカの発生が多いと予想される。（農林水産省 7月10日付）
鹿児島			【向こう1か月の天候の見通し 7月13日～8月12日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁鹿児島地方気象台） 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 九州南部地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。（気象庁鹿児島地方気象台） 九州南部地方は7月17日頃からかなりの高温。（気象庁鹿児島地方気象台） 向こう1か月斑点米カメムシ、セジロウンカの発生が多いと予想される。（農林水産省 7月10日付）

注1：国及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。

注2：令和6年7月11日 16時30分時点での取り纏め

1 米の民間在庫情報

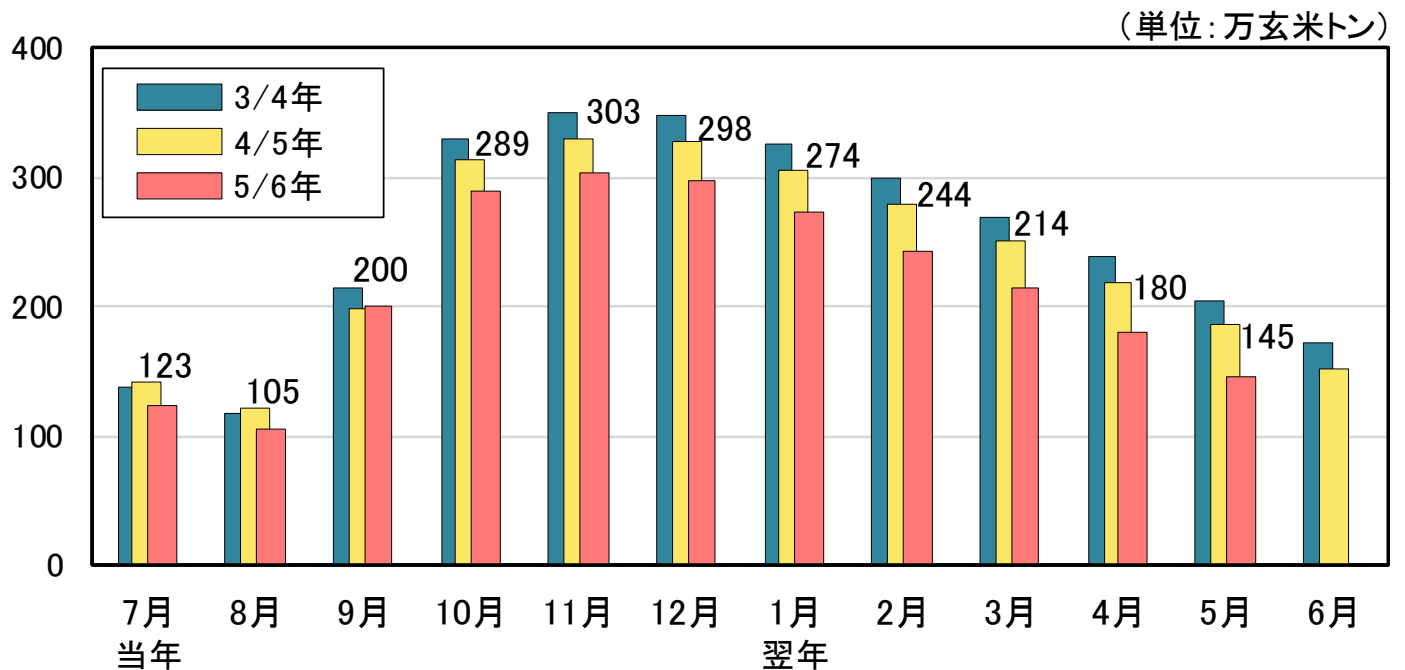
1 民間在庫の推移

(1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米）（速報）

民間在庫の累年データについては、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米（稲）・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。
【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

- 令和6年5月末の出荷及び販売段階における民間在庫は、対前年同月差▲40万トンの145万トンとなっている。また、流通段階別でみると出荷段階で対前年同月差▲38万トンの112万トン、販売段階で▲3万トンの34万トンとなっている。

※ 産地別の在庫量は、「在庫-5」以降を参照。



【全国段階の民間在庫の推移(うるち米)】

【出荷＋販売段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
29/30年	108	88	155	283	315	311	288	263	234	201	167	134
対前年差	▲6	▲5	▲22	▲30	▲22	▲18	▲18	▲18	▲13	▲11	▲10	▲6
29年産米	1	15	104	241	282	287	270	249	223	192	160	129
1年古米(28年産)	103	71	48	38	29	20	14	11	8	6	5	4
30/元年	102	87	151	288	305	301	282	258	227	192	161	131
対前年差	▲6	▲1	▲4	+5	▲10	▲10	▲6	▲5	▲7	▲9	▲5	▲3
30年産米	1	18	103	248	273	277	263	244	216	184	155	126
1年古米(29年産)	97	67	45	37	28	20	16	12	9	7	5	4
元/2年	99	79	161	294	315	318	295	266	233	204	178	154
対前年差	▲3	▲9	+10	+6	+10	+17	+13	+7	+6	+11	+16	+23
元年産米	0	10	115	255	283	294	276	250	221	193	169	146
1年古米(30年産)	95	66	43	34	25	16	12	9	7	5	4	3
2/3年	119	101	190	324	344	342	321	293	265	230	199	173
対前年差	+20	+21	+29	+30	+29	+24	+26	+27	+31	+27	+21	+19
2年産米	0	12	124	266	297	304	291	269	245	214	185	162
1年古米(元年産)	112	84	61	51	40	31	23	17	13	11	9	7
3/4年	138	118	214	330	351	349	326	299	270	238	204	172
対前年差	+19	+17	+24	+6	+6	+7	+5	+6	+6	+7	+5	▲1
3年産米	0	11	129	253	285	293	278	258	236	208	179	149
1年古米(2年産)	129	99	77	68	57	47	39	33	28	23	19	17
4/5年	142	122	199	313	330	328	306	280	251	219	186	153
対前年差	+4	+4	▲15	▲18	▲21	▲21	▲20	▲19	▲20	▲18	▲19	▲18
4年産米	1	12	112	236	263	273	259	240	217	191	163	134
1年古米(3年産)	124	94	71	59	49	40	33	26	21	17	14	11
5/6年	123	105	200	289	303	298	274	244	214	180	145	
対前年差	▲20	▲18	±0	▲23	▲26	▲31	▲32	▲36	▲37	▲39	▲40	
5年産米	1	14	131	232	254	260	245	221	195	165	133	
1年古米(4年産)	106	78	56	46	36	27	21	15	13	10	7	

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
4 期間については、5/6年であれば、令和5年7月～6年6月である。
5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。

【出荷段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
29/30年	84	66	124	231	262	257	240	218	186	158	130	103
対前年差	▲4	▲4	▲21	▲30	▲23	▲19	▲20	▲18	▲14	▲13	▲12	▲9
29 年 産 米	0	11	89	211	247	248	233	213	183	155	128	102
1 年 古 米 (28 年 産)	83	54	34	19	13	9	6	4	3	2	2	1
30/元年	76	63	120	236	252	249	235	215	183	150	127	101
対前年差	▲8	▲3	▲4	+5	▲10	▲8	▲5	▲3	▲4	▲7	▲4	▲2
30 年 産 米	1	14	90	219	240	240	228	211	180	148	125	100
1 年 古 米 (29 年 産)	74	48	30	15	11	7	5	4	3	2	2	1
元/2 年	74	55	128	238	257	261	244	219	184	157	138	109
対前年差	▲2	▲8	+8	+2	+5	+13	+9	+4	+1	+7	+11	+8
元 年 産 米	0	7	99	222	246	254	238	214	181	155	136	108
1 年 古 米 (30 年 産)	73	47	28	14	9	6	4	3	2	2	1	1
2/3 年	84	70	151	265	285	284	269	245	217	186	162	132
対前年差	+10	+15	+23	+27	+27	+22	+26	+27	+33	+29	+24	+23
2 年 産 米	0	9	108	236	263	268	258	237	211	182	158	129
1 年 古 米 (元 年 産)	82	60	42	28	20	14	10	7	5	4	3	3
3/4 年	106	90	178	277	298	296	279	256	226	196	169	139
対前年差	+22	+20	+27	+12	+13	+12	+10	+11	+9	+10	+7	+7
3 年 産 米	0	8	115	227	255	261	249	231	206	179	154	126
1 年 古 米 (2 年 産)	103	80	61	47	40	33	28	24	19	16	14	13
4/5 年	116	98	166	262	277	276	259	236	204	176	149	121
対前年差	+10	+8	▲12	▲15	▲21	▲20	▲20	▲20	▲22	▲20	▲20	▲18
4 年 産 米	0	9	97	208	231	239	228	210	185	160	136	110
1 年 古 米 (3 年 産)	103	78	58	44	36	29	24	19	14	11	9	7
5/6 年	95	78	162	236	250	246	228	202	171	139	112	
対前年差	▲21	▲19	▲4	▲27	▲28	▲31	▲31	▲34	▲33	▲36	▲38	
5 年 産 米	0	10	113	200	220	225	212	190	163	134	108	
1 年 古 米 (4 年 産)	86	61	42	30	24	17	13	10	6	4	3	

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

【販売段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
29/30年	23	22	31	52	54	54	48	45	48	44	37	31
対前年差	▲2	▲1	▲1	±0	+1	+1	+3	±0	+1	+2	+2	+2
29 年 産 米	0	4	15	30	35	39	37	36	40	37	32	28
1 年 古 米 (28 年 産)	20	16	13	20	16	12	8	7	5	4	3	2
30/元年	26	25	31	53	53	53	47	43	44	42	35	30
対前年差	+3	+2	±0	±0	±0	▲1	▲1	▲2	▲4	▲2	▲2	▲1
30 年 産 米	0	4	13	29	33	37	34	33	36	36	30	27
1 年 古 米 (29 年 産)	23	19	16	21	17	13	10	8	6	5	4	3
元/2 年	26	24	33	56	58	57	51	47	49	46	40	45
対前年差	±0	▲1	+2	+3	+4	+4	+4	+4	+5	+4	+5	+14
元 年 産 米	0	3	16	32	37	40	38	36	40	38	33	38
1 年 古 米 (30 年 産)	22	18	15	20	15	10	8	6	5	4	3	2
2/3 年	35	31	39	59	60	58	52	48	48	44	37	41
対前年差	+10	+7	+6	+3	+2	+1	+1	+1	▲2	▲2	▲3	▲4
2 年 産 米	0	3	15	30	34	36	33	32	34	33	27	33
1 年 古 米 (元 年 産)	30	24	19	23	20	16	13	10	9	7	6	4
3/4 年	32	28	36	53	53	53	46	43	44	42	35	32
対前年差	▲3	▲2	▲3	▲5	▲7	▲5	▲6	▲4	▲3	▲2	▲2	▲8
3 年 産 米	0	3	14	26	30	32	29	28	30	30	25	24
1 年 古 米 (2 年 産)	25	20	16	20	16	14	11	9	9	7	5	4
4/5 年	26	25	33	50	52	52	47	44	46	43	36	33
対前年差	▲6	▲4	▲3	▲3	▲1	▲1	+1	+1	+2	+2	+1	±0
4 年 産 米	0	3	15	28	32	34	31	31	32	31	26	24
1 年 古 米 (3 年 産)	20	17	13	15	13	11	8	7	8	7	5	4
5/6 年	27	26	38	54	54	52	46	42	43	41	34	
対前年差	+1	+2	+5	+3	+2	±0	±0	▲3	▲3	▲3	▲3	
5 年 産 米	0	4	18	32	34	35	32	31	32	31	26	
1 年 古 米 (4 年 産)	20	17	14	16	12	10	8	6	6	6	4	

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

(2) 産地別民間在庫の状況（速報）

	5年 4月 ① (千玄米トン)	5年 5月 ② (千玄米トン)	6年 4月 ③ (千玄米トン)	対前年 同月差 ④=③-① (千玄米トン)	対前年 同月比 ⑤=③/① (%)	6年 5月 ⑥ (千玄米トン)	対前月差 ⑦=⑥-③ (千玄米トン)	対前年 同月差 ⑧=⑥-② (千玄米トン)	対前年 同月比 ⑨=⑥/② (%)
北海道	234.0	195.5	178.1	▲ 55.9	▲ 23.9%	144.2	▲ 33.9	▲ 51.3	▲ 26.2%
青森	100.0	86.4	81.8	▲ 18.2	▲ 18.2%	67.1	▲ 14.7	▲ 19.3	▲ 22.3%
岩手	105.1	91.1	88.8	▲ 16.3	▲ 15.5%	75.6	▲ 13.2	▲ 15.4	▲ 16.9%
宮城	136.1	117.4	112.9	▲ 23.2	▲ 17.1%	93.1	▲ 19.7	▲ 24.3	▲ 20.7%
秋田	151.4	124.2	124.0	▲ 27.4	▲ 18.1%	96.4	▲ 27.6	▲ 27.8	▲ 22.4%
山形	136.7	117.3	118.4	▲ 18.4	▲ 13.4%	94.9	▲ 23.5	▲ 22.4	▲ 19.1%
福島	117.6	101.0	111.4	▲ 6.2	▲ 5.3%	93.7	▲ 17.6	▲ 7.2	▲ 7.2%
茨城	85.2	73.1	70.3	▲ 14.9	▲ 17.5%	54.2	▲ 16.2	▲ 19.0	▲ 25.9%
栃木	119.9	105.2	104.7	▲ 15.2	▲ 12.7%	88.4	▲ 16.3	▲ 16.7	▲ 15.9%
群馬	21.5	17.0	15.2	▲ 6.2	▲ 29.0%	12.0	▲ 3.3	▲ 5.1	▲ 29.8%
埼玉	27.0	22.9	18.3	▲ 8.7	▲ 32.3%	13.9	▲ 4.4	▲ 9.0	▲ 39.2%
千葉	39.6	30.1	32.3	▲ 7.2	▲ 18.3%	23.9	▲ 8.5	▲ 6.3	▲ 20.8%
東京	0.0	0.0	0.0	+ 0.0	-	0.0	0.0	+ 0.0	-
神奈川	1.5	1.1	1.6	+ 0.1	+ 6.8%	1.2	▲ 0.4	+ 0.0	+ 4.1%
山梨	3.5	3.1	3.0	▲ 0.5	▲ 15.2%	2.6	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 17.6%
長野	48.3	43.1	46.6	▲ 1.7	▲ 3.5%	38.2	▲ 8.5	▲ 4.9	▲ 11.5%
静岡	10.9	8.2	9.0	▲ 1.9	▲ 17.5%	6.4	▲ 2.6	▲ 1.8	▲ 21.9%
新潟	167.1	140.0	154.2	▲ 12.9	▲ 7.7%	123.2	▲ 31.0	▲ 16.8	▲ 12.0%
富山	61.3	53.3	53.6	▲ 7.6	▲ 12.4%	44.5	▲ 9.1	▲ 8.8	▲ 16.5%
石川	45.9	38.5	39.9	▲ 6.0	▲ 13.1%	32.0	▲ 7.9	▲ 6.5	▲ 16.8%
福井	32.8	26.5	25.8	▲ 7.0	▲ 21.2%	19.9	▲ 5.9	▲ 6.6	▲ 25.1%
岐阜	25.2	23.0	21.1	▲ 4.1	▲ 16.4%	15.7	▲ 5.4	▲ 7.3	▲ 31.7%
愛知	25.2	20.9	19.2	▲ 6.1	▲ 24.0%	14.7	▲ 4.4	▲ 6.2	▲ 29.6%
三重	21.6	16.5	18.0	▲ 3.6	▲ 16.7%	13.1	▲ 4.9	▲ 3.4	▲ 20.5%
滋賀	41.0	33.9	28.1	▲ 12.9	▲ 31.4%	21.9	▲ 6.3	▲ 12.1	▲ 35.6%
京都	8.0	6.4	4.7	▲ 3.3	▲ 41.5%	3.3	▲ 1.4	▲ 3.1	▲ 48.3%
大阪	1.6	1.2	1.0	▲ 0.6	▲ 36.5%	0.7	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 41.6%
兵庫	32.7	28.0	28.4	▲ 4.2	▲ 13.0%	23.5	▲ 4.9	▲ 4.5	▲ 16.0%
奈良	9.0	7.9	6.3	▲ 2.7	▲ 29.8%	5.1	▲ 1.2	▲ 2.8	▲ 35.3%
和歌山	2.2	1.8	1.2	▲ 1.0	▲ 45.0%	1.0	▲ 0.2	▲ 0.9	▲ 47.3%
鳥取	19.5	15.7	16.1	▲ 3.5	▲ 17.8%	12.3	▲ 3.8	▲ 3.4	▲ 21.5%
島根	21.1	18.3	15.7	▲ 5.3	▲ 25.4%	12.3	▲ 3.4	▲ 5.9	▲ 32.5%
岡山	33.0	28.7	27.6	▲ 5.4	▲ 16.5%	24.4	▲ 3.2	▲ 4.2	▲ 14.8%
広島	27.6	22.9	20.0	▲ 7.6	▲ 27.4%	15.9	▲ 4.2	▲ 7.1	▲ 30.8%
山口	28.7	25.2	19.7	▲ 9.0	▲ 31.4%	15.5	▲ 4.2	▲ 9.7	▲ 38.5%
徳島	5.6	4.0	2.8	▲ 2.8	▲ 50.6%	2.0	▲ 0.8	▲ 2.0	▲ 49.9%
香川	12.5	10.3	7.3	▲ 5.2	▲ 41.9%	6.5	▲ 0.8	▲ 3.9	▲ 37.2%
愛媛	12.3	10.8	9.8	▲ 2.5	▲ 20.5%	7.7	▲ 2.0	▲ 3.0	▲ 28.1%
高知	6.0	4.8	4.6	▲ 1.4	▲ 22.9%	3.7	▲ 0.9	▲ 1.1	▲ 22.9%
福岡	50.4	42.0	40.7	▲ 9.7	▲ 19.3%	30.7	▲ 9.9	▲ 11.2	▲ 26.7%
佐賀	25.1	22.2	22.2	▲ 2.9	▲ 11.6%	17.8	▲ 4.3	▲ 4.4	▲ 19.7%
長崎	6.7	5.5	5.7	▲ 1.0	▲ 14.3%	4.6	▲ 1.1	▲ 0.9	▲ 16.8%
熊本	31.9	26.5	28.4	▲ 3.5	▲ 11.1%	22.4	▲ 6.0	▲ 4.2	▲ 15.7%
大分	14.4	12.0	9.8	▲ 4.5	▲ 31.5%	7.9	▲ 1.9	▲ 4.0	▲ 33.8%
宮崎	9.0	6.6	4.2	▲ 4.9	▲ 54.0%	2.6	▲ 1.5	▲ 4.0	▲ 60.1%
鹿児島	19.8	17.7	11.3	▲ 8.5	▲ 42.9%	8.5	▲ 2.8	▲ 9.2	▲ 52.2%
沖縄	0.1	0.0	0.0	▲ 0.1	▲ 85.2%	0.0	0.0	+ 0.0	▲ 10.7%
全国	219万ト	186万ト	180万ト	▲ 39万ト	▲ 17.8%	145万ト	▲ 35万ト	▲ 40万ト	▲ 21.7%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

4 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

(3) 令和4・5年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）

（北海道から秋田）

（単位：千玄米トン）

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
北海道	出荷＋販売段階	126.6	91.0	180.6	259.1	284.2	280.6	278.9	242.5	211.4	178.1	144.2	
	5年産米			118.5	203.7	239.7	245.3	251.9	223.4	197.0	167.2	136.6	
	1年古米（4年産）	112.6	79.8	54.0	48.6	38.6	30.7	23.4	16.4	12.7	9.8	6.8	
	出荷段階	96.4	66.9	144.5	198.6	226.5	221.3	227.2	198.7	168.8	139.6	113.9	
	5年産米			98.5	166.5	200.9	203.0	213.3	189.1	162.8	135.4	110.8	
	1年古米（4年産）	87.0	59.5	40.6	28.2	22.7	16.0	12.1	8.3	5.2	3.7	2.8	
	販売段階	30.2	24.1	36.1	60.5	57.7	59.4	51.6	43.8	42.6	38.5	30.3	
	5年産米			19.9	37.3	38.8	42.3	38.6	34.3	34.2	31.8	25.8	
	1年古米（4年産）	25.7	20.3	13.3	20.4	15.9	14.7	11.3	8.2	7.5	6.1	4.1	
青森	出荷＋販売段階	62.5	46.6	101.2	138.6	147.0	144.1	133.2	110.9	97.7	81.8	67.1	
	5年産米			67.5	110.5	124.9	128.0	121.3	102.7	90.9	78.0	65.1	
	1年古米（4年産）	58.6	43.4	31.2	26.2	20.7	15.1	11.2	7.8	6.5	3.7	1.9	
	出荷段階	48.4	34.7	89.5	119.8	128.5	124.9	113.6	93.4	77.6	62.8	52.0	
	5年産米			65.0	101.5	114.0	115.0	106.6	88.6	74.6	61.3	51.2	
	1年古米（4年産）	46.0	32.8	23.1	17.3	14.0	9.5	6.8	4.8	3.1	1.4	0.8	
	販売段階	14.1	11.9	11.7	18.8	18.4	19.2	19.6	17.5	20.1	19.1	15.2	
	5年産米			2.5	9.0	10.9	13.0	14.7	14.1	16.4	16.6	13.9	
	1年古米（4年産）	12.6	10.6	8.0	8.9	6.7	5.6	4.4	3.1	3.5	2.2	1.1	
岩手	出荷＋販売段階	62.0	46.2	52.4	109.9	123.0	135.4	125.9	114.2	102.5	88.8	75.6	
	5年産米			22.0	83.7	99.7	117.3	110.8	102.2	92.1	82.1	70.9	
	1年古米（4年産）	57.4	42.7	27.4	23.6	19.5	15.2	12.7	10.2	9.0	5.7	4.0	
	出荷段階	55.6	40.5	43.6	93.4	105.6	118.6	111.2	100.3	87.9	74.4	64.2	
	5年産米			19.5	74.5	89.1	106.1	100.6	92.0	82.5	71.4	62.0	
	1年古米（4年産）	51.7	37.3	21.4	16.6	14.5	11.1	9.5	7.4	4.8	2.6	1.8	
	販売段階	6.4	5.7	8.8	16.5	17.4	16.8	14.7	13.9	14.5	14.4	11.5	
	5年産米			2.5	9.2	10.6	11.2	10.3	10.1	9.6	10.7	8.9	
	1年古米（4年産）	5.7	5.4	6.0	7.0	5.0	4.1	3.2	2.8	4.2	3.1	2.2	
宮城	出荷＋販売段階	85.5	69.7	116.5	172.3	163.8	168.7	159.6	144.4	136.8	112.9	93.1	
	5年産米		0.0	61.5	124.6	129.8	145.3	144.6	133.8	125.2	107.2	89.3	
	1年古米（4年産）	79.5	64.6	50.1	43.3	30.2	20.7	13.2	9.8	11.1	5.4	3.6	
	出荷段階	75.2	60.5	102.8	148.6	142.9	147.0	141.2	126.9	115.5	92.9	77.3	
	5年産米		0.0	56.5	112.4	115.8	129.9	130.3	118.9	109.6	90.3	75.4	
	1年古米（4年産）	71.2	57.1	43.4	33.6	24.9	15.6	9.9	7.5	5.7	2.5	1.8	
	販売段階	10.4	9.2	13.7	23.7	20.9	21.7	18.4	17.5	21.3	20.0	15.8	
	5年産米		0.0	5.0	12.2	14.0	15.4	14.3	14.8	15.7	16.9	13.9	
	1年古米（4年産）	8.4	7.5	6.7	9.7	5.3	5.2	3.3	2.2	5.4	2.9	1.8	
秋田	出荷＋販売段階	73.3	48.8	113.4	229.7	230.4	229.3	206.0	179.7	151.7	124.0	96.4	
	5年産米			83.4	206.5	208.1	211.6	191.2	167.8	143.9	118.1	91.8	
	1年古米（4年産）	62.7	40.0	22.6	17.3	13.8	11.3	9.3	7.6	4.4	3.4	2.5	
	出荷段階	62.1	39.6	100.6	208.3	204.2	202.3	182.7	158.4	128.1	100.1	77.6	
	5年産米			76.8	190.5	189.9	191.0	173.3	150.7	123.6	97.7	75.6	
	1年古米（4年産）	53.1	31.8	17.3	12.7	10.0	8.2	6.9	5.8	3.0	1.3	1.1	
	販売段階	11.1	9.2	12.8	21.4	26.2	26.9	23.3	21.2	23.6	23.9	18.8	
	5年産米			6.6	16.0	18.2	20.6	17.9	17.0	20.3	20.4	16.2	
	1年古米（4年産）	9.6	8.2	5.3	4.7	3.8	3.0	2.4	1.9	1.4	2.1	1.4	

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちのみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

(山形から埼玉)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
山形	出荷＋販売段階	79.4	61.0	102.7	171.5	181.2	184.8	168.1	155.3	137.7	118.4	94.9	
	5 年 産 米		0.0	58.1	132.7	148.6	161.5	150.0	140.5	122.9	107.2	86.8	
	1 年 古 米 (4 年 産)	73.9	56.6	41.1	35.8	29.3	20.3	15.2	12.2	12.4	9.1	6.3	
	出荷段階	67.8	50.4	91.0	151.2	159.6	164.8	150.4	137.9	117.8	98.6	77.9	
	5 年 産 米			55.6	123.1	137.8	149.9	139.3	130.2	111.7	94.4	75.7	
	1 年 古 米 (4 年 産)	64.8	48.0	33.7	26.7	20.4	13.6	9.8	6.5	5.1	3.3	1.4	
	販売段階	11.6	10.7	11.7	20.2	21.6	20.0	17.6	17.4	19.8	19.8	17.0	
	5 年 産 米		0.0	2.6	9.6	10.8	11.6	10.7	10.3	11.2	12.8	11.1	
	1 年 古 米 (4 年 産)	9.1	8.6	7.4	9.1	9.0	6.7	5.3	5.7	7.3	5.8	4.9	
	出荷＋販売段階	73.5	55.9	69.4	176.7	180.2	174.2	159.4	142.8	127.5	111.4	93.7	
	5 年 産 米		0.0	26.3	138.3	147.0	154.5	146.4	135.1	121.8	107.5	90.7	
	1 年 古 米 (4 年 産)	71.0	53.9	41.5	37.0	32.0	18.9	12.3	7.0	5.1	3.5	2.7	
福島	出荷段階	56.4	40.5	52.5	146.9	148.4	141.8	129.4	115.0	99.3	86.0	71.0	
	5 年 産 米			24.0	121.4	125.4	130.0	121.6	111.0	97.2	84.7	70.1	
	1 年 古 米 (4 年 産)	55.3	39.8	27.9	24.9	22.5	11.6	7.6	3.8	2.0	1.2	1.0	
	販売段階	17.1	15.4	16.9	29.8	31.8	32.4	30.0	27.8	28.2	25.3	22.7	
	5 年 産 米		0.0	2.3	16.9	21.6	24.5	24.7	24.1	24.6	22.8	20.6	
	1 年 古 米 (4 年 産)	15.7	14.2	13.6	12.1	9.5	7.3	4.7	3.2	3.2	2.3	1.7	
	出荷＋販売段階	46.3	54.9	125.7	136.1	134.7	124.8	110.4	97.3	84.5	70.3	54.2	
	5 年 産 米		21.2	99.8	115.0	114.3	107.7	95.9	85.0	74.1	58.3	43.7	
	1 年 古 米 (4 年 産)	35.6	24.6	18.3	15.1	12.2	10.2	8.7	7.7	6.8	9.3	8.2	
	出荷段階	32.1	36.5	89.4	96.3	93.9	87.4	79.0	69.3	58.4	43.6	31.0	
	5 年 産 米		13.8	72.4	83.6	83.7	78.4	71.2	62.6	52.4	38.3	26.4	
	1 年 古 米 (4 年 産)	22.9	14.9	10.7	7.8	6.4	5.8	5.2	4.8	4.4	4.1	3.6	
茨城	販売段階	14.2	18.4	36.3	39.8	40.7	37.4	31.4	27.9	26.0	26.8	23.2	
	5 年 産 米		7.4	27.5	31.4	30.6	29.2	24.7	22.4	21.7	20.0	17.3	
	1 年 古 米 (4 年 産)	12.6	9.7	7.6	7.3	5.7	4.4	3.5	3.0	2.4	5.3	4.6	
	出荷＋販売段階	73.1	58.2	122.5	149.3	153.1	151.9	139.2	126.9	118.9	104.7	88.4	
	5 年 産 米		0.1	76.8	113.3	126.0	132.5	125.5	117.9	111.3	97.6	83.0	
	1 年 古 米 (4 年 産)	57.4	45.2	35.1	27.3	20.4	15.2	11.1	7.4	6.6	5.7	4.2	
	出荷段階	58.4	46.8	103.1	120.9	126.1	125.7	116.3	105.7	90.9	77.7	65.8	
	5 年 産 米		0.1	66.6	94.0	105.8	112.6	107.5	100.2	87.5	75.4	63.9	
	1 年 古 米 (4 年 産)	45.2	35.8	27.6	19.8	14.9	10.0	7.3	4.6	2.6	1.8	1.3	
	販売段階	14.7	11.4	19.4	28.4	27.0	26.2	22.9	21.2	28.1	27.0	22.7	
	5 年 産 米		0.0	10.2	19.3	20.1	19.9	18.0	17.7	23.7	22.2	19.1	
	1 年 古 米 (4 年 産)	12.2	9.5	7.5	7.5	5.4	5.2	3.8	2.9	3.9	3.9	2.9	
栃木	出荷＋販売段階	11.4	9.0	6.7	6.5	15.1	19.3	20.2	19.8	17.6	15.2	12.0	
	5 年 産 米			0.0	2.0	11.9	17.3	19.0	18.8	17.2	14.9	11.7	
	1 年 古 米 (4 年 産)	9.6	7.6	5.5	3.4	2.3	1.4	0.8	0.6	0.1	0.1	0.1	
	出荷段階	8.8	6.9	5.1	4.9	13.2	17.0	17.6	16.7	15.1	12.4	9.2	
	5 年 産 米				1.7	11.1	15.8	17.0	16.2	15.1	12.4	9.2	
	1 年 古 米 (4 年 産)	7.6	6.1	4.4	2.6	1.7	0.9	0.7	0.5				
	販売段階	2.5	2.1	1.7	1.6	1.8	2.3	2.6	3.1	2.6	2.9	2.8	
	5 年 産 米			0.0	0.3	0.8	1.4	2.0	2.6	2.1	2.5	2.5	
	1 年 古 米 (4 年 産)	1.9	1.6	1.2	0.8	0.6	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
	出荷＋販売段階	16.4	13.2	20.7	27.3	34.3	34.3	31.2	27.3	22.2	18.3	13.9	
	5 年 産 米		0.6	11.2	18.6	25.4	27.0	25.4	22.8	18.7	14.9	11.5	
	1 年 古 米 (4 年 産)	12.0	8.6	5.9	5.8	4.9	4.1	3.3	2.7	2.1	2.2	1.5	
群馬	出荷段階	12.8	9.7	16.0	19.9	25.5	26.4	24.4	21.6	16.4	12.6	9.0	
	5 年 産 米		0.1	8.8	13.8	20.2	21.9	20.7	18.5	13.9	10.6	7.6	
	1 年 古 米 (4 年 産)	8.4	5.7	3.7	3.3	3.0	2.7	2.4	2.2	1.8	1.4	0.9	
	販売段階	3.7	3.5	4.7	7.5	8.9	8.0	6.8	5.7	5.8	5.7	4.9	
	5 年 産 米		0.4	2.4	4.8	5.3	5.1	4.7	4.3	4.8	4.3	3.8	
	1 年 古 米 (4 年 産)	3.6	2.9	2.2	2.5	1.9	1.4	0.9	0.6	0.3	0.8	0.6	
埼玉	出荷＋販売段階	16.4	13.2	20.7	27.3	34.3	34.3	31.2	27.3	22.2	18.3	13.9	
	5 年 産 米		0.6	11.2	18.6	25.4	27.0	25.4	22.8	18.7	14.9	11.5	
	1 年 古 米 (4 年 産)	12.0	8.6	5.9	5.8	4.9	4.1	3.3	2.7	2.1	2.2	1.5	
	出荷段階	12.8	9.7	16.0	19.9	25.5	26.4	24.4	21.6	16.4	12.6	9.0	
	5 年 産 米		0.1	8.8	13.8	20.2	21.9	20.7	18.5	13.9	10.6	7.6	
	1 年 古 米 (4 年 産)	8.4	5.7	3.7	3.3	3.0	2.7	2.4	2.2	1.8	1.4	0.9	
	販売段階	3.7	3.5	4.7	7.5	8.9	8.0	6.8	5.7	5.8	5.7	4.9	
	5 年 産 米		0.4	2.4	4.8	5.3	5.1	4.7	4.3	4.8	4.3	3.8	
	1 年 古 米 (4 年 産)	3.6	2.9	2.2	2.5	1.9	1.4	0.9	0.6	0.3	0.8	0.6	
	出荷＋販売段階	16.4	13.2	20.7	27.3	34.3	34.3	31.2	27.3	22.2	18.3	13.9	
	5 年 産 米		0.6	11.2	18.6	25.4	27.0	25.4	22.8	18.7	14.9	11.5	
	1 年 古 米 (4 年 産)	12.0	8.6	5.9	5.8	4.9	4.1	3.3	2.7	2.1	2.2	1.5	

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(千葉から静岡)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
千葉	出荷＋販売段階	13.4	51.7	83.1	79.0	71.8	64.0	56.3	49.0	40.5	32.3	23.9	
	5 年 産 米	0.0	43.9	78.3	75.6	69.0	62.2	55.1	47.9	39.7	31.7	23.3	
	1 年 古 米 (4 年 産)	10.9	5.8	3.5	2.3	1.8	1.1	0.7	0.5	0.4	0.3	0.2	
	出荷段階	6.7	41.4	67.7	63.5	57.8	51.1	45.7	39.2	31.3	23.6	16.4	
	5 年 産 米		39.1	66.6	62.7	57.2	50.8	45.6	39.2	31.3	23.5	16.3	
	1 年 古 米 (4 年 産)	4.9	0.9	0.4	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	販売段階	6.7	10.3	15.5	15.5	13.9	12.9	10.7	9.8	9.2	8.8	7.5	
	5 年 産 米	0.0	4.7	11.8	12.9	11.8	11.4	9.5	8.7	8.4	8.1	7.0	
	1 年 古 米 (4 年 産)	5.9	4.9	3.1	2.0	1.6	1.1	0.7	0.5	0.4	0.2	0.2	
東京	出荷＋販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	5 年 産 米				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	出荷段階												
	5 年 産 米												
	1 年 古 米 (4 年 産)												
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	5 年 産 米				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
神奈川	出荷＋販売段階	0.7	0.5	0.8	2.9	2.7	2.6	2.3	2.1	1.9	1.6	1.2	
	5 年 産 米			0.6	2.9	2.6	2.6	2.3	2.1	1.9	1.6	1.2	
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.7	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	出荷段階	0.7	0.4	0.7	2.8	2.6	2.5	2.3	2.0	1.8	1.5	1.1	
	5 年 産 米			0.6	2.8	2.5	2.5	2.2	2.0	1.8	1.5	1.1	
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.7	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	販売段階	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	
	5 年 産 米			0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0							
山梨	出荷＋販売段階	2.2	1.6	2.8	4.5	4.4	5.3	5.0	4.1	3.4	3.0	2.6	
	5 年 産 米			1.5	3.5	3.5	4.7	4.5	3.7	3.2	2.8	2.5	
	1 年 古 米 (4 年 産)	2.1	1.6	1.3	1.0	0.8	0.7	0.5	0.4	0.2	0.2	0.1	
	出荷段階	1.9	1.3	2.6	4.3	4.0	4.8	4.5	3.6	2.8	2.4	2.1	
	5 年 産 米			1.5	3.4	3.2	4.3	4.1	3.3	2.7	2.4	2.1	
	1 年 古 米 (4 年 産)	1.9	1.3	1.1	0.9	0.8	0.6	0.4	0.3	0.1	0.0	0.0	
	販売段階	0.3	0.3	0.2	0.3	0.4	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.5	
	5 年 産 米			0.0	0.1	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.2	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
長野	出荷＋販売段階	32.3	27.0	38.1	70.2	79.2	75.8	68.7	60.2	54.8	46.6	38.2	
	5 年 産 米		0.0	16.7	49.3	62.8	62.7	58.7	52.9	48.2	42.7	36.8	
	1 年 古 米 (4 年 産)	31.8	26.5	21.1	20.5	16.1	12.8	9.7	7.1	6.6	3.9	1.4	
	出荷段階	28.9	24.0	34.0	60.7	70.6	68.0	62.0	54.5	47.9	40.5	33.8	
	5 年 産 米			15.4	45.6	58.1	58.1	54.6	49.0	44.2	38.6	33.2	
	1 年 古 米 (4 年 産)	28.7	23.8	18.5	14.9	12.5	9.8	7.3	5.4	3.7	1.9	0.6	
	販売段階	3.5	3.0	4.1	9.5	8.5	7.8	6.7	5.7	6.9	6.1	4.4	
	5 年 産 米		0.0	1.3	3.7	4.7	4.6	4.1	3.9	4.0	4.1	3.6	
	1 年 古 米 (4 年 産)	3.0	2.7	2.5	5.6	3.6	3.0	2.3	1.7	2.9	2.0	0.8	
静岡	出荷＋販売段階	4.2	6.3	16.7	22.3	22.0	19.8	17.7	14.2	11.7	9.0	6.4	
	5 年 産 米		3.5	14.8	21.1	21.3	19.3	17.3	14.0	11.5	8.9	6.4	
	1 年 古 米 (4 年 産)	4.2	2.8	1.9	1.2	0.8	0.5	0.4	0.2	0.1	0.1	0.0	
	出荷段階	1.0	2.1	9.4	14.1	14.4	13.2	11.9	9.6	7.9	5.9	4.1	
	5 年 産 米		1.6	9.0	13.8	14.2	13.0	11.9	9.6	7.9	5.9	4.1	
	1 年 古 米 (4 年 産)	1.0	0.5	0.4	0.3	0.2	0.1						
	販売段階	3.2	4.2	7.2	8.2	7.6	6.7	5.8	4.6	3.8	3.1	2.4	
	5 年 産 米		1.9	5.8	7.3	7.1	6.3	5.4	4.4	3.6	3.0	2.3	
	1 年 古 米 (4 年 産)	3.2	2.3	1.5	1.0	0.6	0.4	0.4	0.2	0.1	0.1	0.0	

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(新潟から愛知)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟	出荷＋販売段階	88.0	65.0	238.9	296.5	298.4	271.5	245.3	216.2	186.1	154.2	123.2	
	5年産米		1.9	194.5	259.8	266.1	243.8	222.6	197.7	171.5	142.7	113.8	
	1年古米(4年産)	82.5	58.5	40.4	33.3	28.6	24.1	19.3	15.6	12.4	9.9	8.5	
	出荷段階	73.8	53.2	215.2	262.8	264.4	237.4	215.5	188.6	159.7	127.9	102.5	
	5年産米		1.6	178.7	233.8	239.2	215.7	196.7	173.7	148.3	119.3	95.3	
	1年古米(4年産)	69.4	47.9	33.2	26.0	22.4	19.0	16.2	12.7	9.8	7.4	6.5	
	販売段階	14.2	11.8	23.8	33.8	34.0	34.1	29.9	27.6	26.4	26.3	20.7	
	5年産米		0.2	15.8	25.9	26.8	28.2	25.9	24.0	23.2	23.3	18.5	
	1年古米(4年産)	13.0	10.6	7.2	7.3	6.2	5.0	3.1	2.9	2.6	2.5	1.9	
富山	出荷＋販売段階	33.9	28.6	76.8	96.0	94.6	87.7	81.4	73.8	60.4	53.6	44.5	
	5年産米		2.1	55.8	83.2	82.1	78.0	73.4	68.4	57.7	51.2	43.5	
	1年古米(4年産)	32.9	25.9	20.6	12.6	12.3	9.6	7.8	5.3	2.6	2.4	1.0	
	出荷段階	28.7	22.8	68.6	83.8	82.1	77.2	71.9	65.6	51.8	44.9	39.0	
	5年産米		1.2	51.9	77.9	76.9	72.5	68.1	63.2	51.8	44.9	39.0	
	1年古米(4年産)	28.7	21.6	16.7	5.9	5.2	4.7	3.8	2.4	0.0	0.0		
	販売段階	5.2	5.7	8.2	12.2	12.5	10.6	9.5	8.1	8.6	8.8	5.5	
	5年産米		1.0	3.9	5.3	5.2	5.5	5.4	5.2	6.0	6.3	4.5	
	1年古米(4年産)	4.2	4.2	3.9	6.7	7.1	4.9	4.0	2.9	2.6	2.4	1.0	
石川	出荷＋販売段階	25.3	25.3	69.6	78.3	76.1	66.5	60.2	54.0	48.0	39.9	32.0	
	5年産米		6.4	54.2	64.9	62.6	56.5	52.6	47.9	42.6	35.3	28.4	
	1年古米(4年産)	18.5	13.3	10.4	9.0	7.0	4.4	2.9	2.1	2.3	2.4	2.1	
	出荷段階	20.5	19.3	51.4	57.3	53.5	46.5	42.6	38.3	32.6	26.8	21.3	
	5年産米		3.9	38.6	46.8	45.0	40.4	38.2	34.7	29.9	24.7	19.6	
	1年古米(4年産)	14.7	10.6	8.5	6.8	5.1	3.4	2.2	1.6	1.2	1.1	1.0	
	販売段階	4.8	6.0	18.2	21.0	22.6	20.0	17.6	15.7	15.4	13.1	10.7	
	5年産米		2.5	15.6	18.1	17.6	16.1	14.4	13.1	12.7	10.7	8.8	
	1年古米(4年産)	3.8	2.7	1.9	2.3	1.8	1.1	0.7	0.5	1.1	1.3	1.1	
福井	出荷＋販売段階	16.2	20.4	45.2	57.8	51.3	46.4	41.3	36.0	31.1	25.8	19.9	
	5年産米		9.7	38.0	53.3	48.2	44.0	40.2	35.1	30.6	25.5	19.6	
	1年古米(4年産)	15.5	10.3	7.0	4.3	3.0	2.3	1.1	0.8	0.5	0.2	0.2	
	出荷段階	12.2	12.1	29.3	41.5	36.5	32.7	28.7	25.0	21.7	17.5	13.1	
	5年産米		3.9	24.3	38.9	34.4	31.1	28.1	24.6	21.6	17.5	13.1	
	1年古米(4年産)	11.8	8.0	4.9	2.7	2.1	1.6	0.6	0.4	0.1			
	販売段階	4.0	8.2	15.9	16.3	14.8	13.7	12.6	11.0	9.5	8.3	6.8	
	5年産米		5.7	13.7	14.5	13.8	12.9	12.1	10.5	9.0	8.0	6.6	
	1年古米(4年産)	3.7	2.3	2.1	1.7	0.9	0.7	0.5	0.4	0.4	0.2	0.2	
岐阜	出荷＋販売段階	17.0	15.4	15.9	21.5	29.3	34.2	31.4	29.8	25.2	21.1	15.7	
	5年産米		1.1	5.1	13.0	23.9	30.7	28.7	27.7	23.5	19.8	14.9	
	1年古米(4年産)	15.1	12.9	9.8	7.7	4.7	2.8	2.1	1.6	1.2	0.9	0.7	
	出荷段階	13.6	11.2	11.9	16.0	23.9	29.2	26.5	25.3	20.8	17.3	12.5	
	5年産米		0.8	4.0	10.7	21.0	27.6	25.4	24.6	20.2	16.7	12.2	
	1年古米(4年産)	12.5	9.6	7.5	4.9	2.5	1.3	0.8	0.5	0.4	0.3	0.2	
	販売段階	3.4	4.3	4.0	5.5	5.4	5.0	4.9	4.5	4.4	3.8	3.3	
	5年産米		0.4	1.1	2.3	2.9	3.2	3.3	3.2	3.3	3.0	2.7	
	1年古米(4年産)	2.6	3.3	2.3	2.7	2.2	1.5	1.3	1.1	0.9	0.6	0.5	
愛知	出荷＋販売段階	12.5	11.3	18.0	24.5	32.3	34.9	31.1	27.5	24.4	19.2	14.7	
	5年産米		2.1	11.8	20.6	29.2	32.5	29.2	26.0	23.3	18.5	14.2	
	1年古米(4年産)	12.1	8.9	5.9	3.6	2.9	2.1	1.7	1.3	0.9	0.5	0.3	
	出荷段階	10.2	9.0	13.9	18.2	25.3	28.3	26.0	23.0	20.3	16.0	12.4	
	5年産米		1.5	9.6	17.2	24.5	27.6	25.3	22.5	20.3	16.0	12.4	
	1年古米(4年産)	10.2	7.4	4.3	1.0	0.8	0.7	0.6	0.6	0.0			
	販売段階	2.3	2.3	4.0	6.3	7.0	6.6	5.1	4.4	4.1	3.2	2.3	
	5年産米		0.6	2.2	3.4	4.7	4.9	3.9	3.5	3.1	2.5	1.8	
	1年古米(4年産)	1.9	1.4	1.5	2.6	2.1	1.5	1.0	0.7	0.9	0.5	0.3	

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(三重から奈良)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
三 重	出荷＋販売段階	8.0	15.8	38.6	42.5	39.1	34.9	30.9	26.9	22.4	18.0	13.1	
	5 年 産 米		11.0	35.0	39.6	36.7	32.9	29.3	25.6	21.5	17.3	12.5	
	1 年 古 米 (4 年 産)	6.7	3.7	2.7	2.1	1.7	1.4	1.0	0.9	0.6	0.5	0.4	
	出荷段階	4.6	11.4	32.1	35.2	32.2	28.5	25.3	21.8	17.1	13.1	9.0	
	5 年 産 米		9.1	30.4	34.1	31.4	27.7	24.7	21.3	16.9	13.1	9.0	
	1 年 古 米 (4 年 産)	4.1	2.0	1.4	0.9	0.7	0.6	0.5	0.4	0.1	0.0	0.0	
	販売段階	3.4	4.4	6.5	7.3	6.9	6.3	5.6	5.1	5.4	4.9	4.1	
	5 年 産 米		1.9	4.6	5.4	5.3	5.1	4.6	4.3	4.6	4.3	3.6	
	1 年 古 米 (4 年 産)	2.6	1.8	1.3	1.2	1.0	0.7	0.5	0.5	0.5	0.4	0.3	
	出荷＋販売段階	19.7	16.8	53.9	56.1	55.5	51.2	46.1	40.9	35.4	28.1	21.9	
滋 賀	5 年 産 米		2.8	40.1	44.7	45.7	43.1	39.1	34.9	30.4	24.1	18.7	
	1 年 古 米 (4 年 産)	18.6	13.2	13.1	10.9	9.3	7.7	6.7	5.7	4.7	3.8	3.0	
	出荷段階	14.7	12.6	44.2	46.4	46.5	42.9	38.5	34.4	29.3	22.8	17.5	
	5 年 産 米		2.4	37.9	41.2	42.0	39.4	35.3	31.6	27.0	21.1	16.2	
	1 年 古 米 (4 年 産)	14.5	10.0	6.2	5.1	4.4	3.5	3.2	2.8	2.2	1.8	1.4	
	販売段階	5.0	4.2	9.7	9.7	9.1	8.3	7.6	6.6	6.1	5.3	4.3	
	5 年 産 米		0.4	2.3	3.5	3.7	3.7	3.7	3.3	3.3	3.1	2.6	
	1 年 古 米 (4 年 産)	4.1	3.1	6.8	5.8	4.9	4.1	3.6	2.9	2.5	2.1	1.7	
	出荷＋販売段階	4.0	2.4	8.2	10.9	11.0	10.4	8.9	7.4	6.1	4.7	3.3	
	5 年 産 米		0.1	6.9	10.3	10.7	10.2	8.7	7.3	6.0	4.6	3.3	
京 都	1 年 古 米 (4 年 産)	4.0	2.3	1.3	0.6	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	
	出荷段階	3.2	1.6	7.4	9.9	10.0	9.3	7.9	6.4	5.3	3.9	2.7	
	5 年 産 米		0.1	6.7	9.8	10.0	9.3	7.9	6.4	5.3	3.9	2.7	
	1 年 古 米 (4 年 産)	3.2	1.6	0.8	0.1	0.0	0.0	0.0					
	販売段階	0.8	0.7	0.8	1.0	0.9	1.0	1.0	0.9	0.8	0.8	0.6	
	5 年 産 米		0.0	0.2	0.5	0.6	0.9	0.8	0.8	0.7	0.7	0.6	
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.7	0.7	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	
	出荷＋販売段階	0.8	0.6	0.7	0.7	0.8	1.9	2.3	2.0	1.2	1.0	0.7	
	5 年 産 米			0.3	0.5	0.6	1.8	2.2	2.0	1.2	1.0	0.7	
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.8	0.6	0.4	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0			
大 阪	出荷段階	0.7	0.5	0.6	0.5	0.7	1.8	2.0	1.7	1.0	0.8	0.6	
	5 年 産 米			0.3	0.5	0.6	1.8	1.9	1.7	1.0	0.8	0.6	
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.7	0.5	0.3	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0				
	販売段階	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	
	5 年 産 米				0.0	0.0	0.1	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0			
	出荷＋販売段階	18.2	14.2	26.1	37.7	46.6	45.2	39.0	36.4	33.4	28.4	23.5	
	5 年 産 米		0.0	15.8	31.8	42.2	42.4	36.9	34.9	32.3	27.6	22.9	
	1 年 古 米 (4 年 産)	17.6	13.8	10.0	5.7	4.3	2.8	2.1	1.5	1.2	0.8	0.7	
	出荷段階	14.8	11.3	22.6	32.9	41.9	40.8	35.0	32.9	29.9	25.2	20.8	
兵 庫	5 年 産 米			14.8	29.1	39.1	39.2	33.8	32.2	29.5	24.9	20.6	
	1 年 古 米 (4 年 産)	14.8	11.3	7.8	3.8	2.8	1.6	1.1	0.7	0.5	0.3	0.2	
	販売段階	3.4	2.9	3.4	4.8	4.7	4.4	4.1	3.5	3.5	3.3	2.7	
	5 年 産 米		0.0	1.0	2.7	3.1	3.2	3.0	2.7	2.8	2.7	2.3	
	1 年 古 米 (4 年 産)	2.9	2.5	2.2	1.9	1.5	1.2	1.0	0.9	0.7	0.6	0.4	
	出荷＋販売段階	5.8	4.7	4.7	9.5	11.7	11.3	10.2	9.2	7.7	6.3	5.1	
	5 年 産 米			1.1	6.7	9.3	9.3	8.6	7.9	6.8	5.7	4.7	
	1 年 古 米 (4 年 産)	5.1	4.1	3.1	2.5	2.2	1.8	1.5	1.2	0.8	0.6	0.5	
	出荷段階	4.5	3.7	3.8	7.9	9.8	9.5	8.8	7.9	5.1	4.3	3.6	
	5 年 産 米			1.0	5.7	8.0	8.1	7.6	6.9	5.1	4.3	3.6	
奈 良	1 年 古 米 (4 年 産)	3.9	3.2	2.5	2.1	1.8	1.4	1.2	1.0				
	販売段階	1.3	1.0	0.9	1.7	1.9	1.7	1.4	1.3	2.6	2.0	1.6	
	5 年 産 米			0.1	0.9	1.3	1.2	1.1	1.0	1.8	1.4	1.1	
	1 年 古 米 (4 年 産)	1.1	0.9	0.6	0.4	0.3	0.4	0.2	0.2	0.8	0.6	0.5	

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(和歌山から山口)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
和歌山	出荷＋販売段階	1.3	1.1	1.4	2.3	2.2	2.2	2.0	1.7	1.5	1.2	1.0	
	5年産米			0.6	1.7	1.8	1.9	1.8	1.6	1.4	1.2	1.0	
	1年古米(4年産)	1.0	0.8	0.6	0.5	0.4	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	
	出荷段階			0.6	1.5	1.5	1.4	1.3	1.1	1.0	0.8	0.6	
	5年産米			0.6	1.5	1.5	1.4	1.3	1.1	1.0	0.8	0.6	
	1年古米(4年産)												
	販売段階	1.3	1.1	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4	
	5年産米			0.1	0.2	0.3	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	
	1年古米(4年産)	1.0	0.8	0.6	0.5	0.4	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	
鳥取	出荷＋販売段階	9.6	6.7	11.5	21.6	21.3	25.8	23.0	21.2	19.7	16.1	12.3	
	5年産米		0.1	6.7	18.1	18.8	23.8	21.4	20.0	18.4	15.1	12.0	
	1年古米(4年産)	9.1	6.3	4.6	3.4	2.5	2.0	1.6	1.2	1.3	1.0	0.3	
	出荷段階	8.1	5.6	10.3	18.5	18.6	23.4	19.9	18.3	16.4	13.2	10.3	
	5年産米		0.1	6.3	16.2	16.7	21.7	18.7	17.3	15.7	12.7	10.2	
	1年古米(4年産)	7.8	5.3	3.9	2.3	1.8	1.6	1.2	1.0	0.7	0.5	0.1	
	販売段階	1.5	1.1	1.1	3.0	2.8	2.5	3.1	2.9	3.3	2.9	2.0	
	5年産米			0.4	1.9	2.1	2.1	2.8	2.7	2.8	2.4	1.8	
	1年古米(4年産)	1.3	1.0	0.7	1.1	0.7	0.4	0.3	0.2	0.6	0.5	0.1	
島根	出荷＋販売段階	11.6	9.1	18.3	25.7	24.1	26.7	25.2	21.9	18.1	15.7	12.3	
	5年産米		0.4	12.5	21.8	21.0	24.4	23.2	20.3	17.6	14.6	11.5	
	1年古米(4年産)	10.8	8.0	5.3	3.6	2.8	2.0	1.7	1.4	0.4	1.0	0.8	
	出荷段階	9.5	7.0	16.1	21.5	19.9	23.0	21.9	19.2	15.6	12.6	9.7	
	5年産米		0.4	11.4	19.7	18.5	21.9	20.8	18.3	15.6	12.6	9.7	
	1年古米(4年産)	9.0	6.2	4.4	1.8	1.3	1.1	1.0	0.9	0.0			
	販売段階	2.1	2.1	2.2	4.2	4.2	3.7	3.3	2.7	2.5	3.1	2.6	
	5年産米		0.0	1.1	2.2	2.4	2.5	2.3	2.0	2.0	2.0	1.8	
	1年古米(4年産)	1.8	1.8	0.9	1.8	1.4	0.9	0.7	0.5	0.4	1.0	0.8	
岡山	出荷＋販売段階	18.2	13.1	15.1	27.7	36.9	37.9	35.2	35.4	32.6	27.6	24.4	
	5年産米		0.0	7.3	22.1	33.0	34.9	32.7	33.5	30.7	26.1	23.3	
	1年古米(4年産)	17.9	12.8	7.7	5.6	3.9	3.0	2.4	1.9	1.9	1.4	1.1	
	出荷段階	13.3	9.7	10.9	22.1	30.8	30.9	28.6	29.5	25.0	21.1	18.9	
	5年産米		0.0	6.1	19.3	29.0	29.5	27.4	28.5	24.5	20.8	18.8	
	1年古米(4年産)	13.3	9.6	4.9	2.8	1.8	1.4	1.2	1.0	0.5	0.3	0.2	
	販売段階	4.9	3.4	4.2	5.6	6.2	7.0	6.6	5.9	7.6	6.5	5.5	
	5年産米		0.0	1.2	2.8	4.0	5.4	5.4	5.0	6.2	5.3	4.5	
	1年古米(4年産)	4.6	3.2	2.8	2.7	2.1	1.6	1.2	0.9	1.4	1.1	0.9	
広島	出荷＋販売段階	14.2	10.2	26.8	49.1	47.9	40.5	40.2	28.8	24.1	20.0	15.9	
	5年産米		0.2	19.6	44.4	44.2	37.7	38.0	27.0	22.8	19.0	15.0	
	1年古米(4年産)	12.6	9.0	6.3	4.1	3.2	2.3	1.8	1.4	1.1	0.8	0.7	
	出荷段階	9.2	6.6	22.7	42.3	41.9	34.8	34.8	23.9	19.5	16.2	12.6	
	5年産米		0.1	18.4	41.3	41.1	34.5	34.8	23.9	19.5	16.2	12.6	
	1年古米(4年産)	9.2	6.4	4.2	1.1	0.8	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	販売段階	5.0	3.6	4.1	6.8	6.0	5.6	5.3	4.9	4.6	3.8	3.3	
	5年産米		0.0	1.2	3.1	3.1	3.2	3.2	3.2	3.3	2.8	2.5	
	1年古米(4年産)	3.4	2.6	2.1	3.0	2.4	2.0	1.8	1.4	1.1	0.8	0.7	
山口	出荷＋販売段階	18.0	14.5	22.7	35.0	36.3	34.7	30.9	27.0	23.6	19.7	15.5	
	5年産米		0.4	12.1	26.1	27.2	27.4	24.8	22.1	19.8	16.5	13.3	
	1年古米(4年産)	14.0	10.7	7.7	6.5	5.0	3.7	2.9	2.2	1.6	1.6	1.2	
	出荷段階	15.5	12.2	20.4	31.6	30.9	29.7	26.8	23.8	20.2	16.4	13.0	
	5年産米		0.3	11.5	24.6	25.4	25.5	23.3	21.0	18.2	15.0	12.1	
	1年古米(4年産)	11.8	8.6	6.4	4.6	3.5	2.5	1.9	1.5	0.9	0.6	0.4	
	販売段階	2.5	2.3	2.3	3.4	5.4	5.0	4.1	3.2	3.5	3.3	2.5	
	5年産米		0.1	0.6	1.5	1.8	2.0	1.5	1.1	1.6	1.4	1.2	
	1年古米(4年産)	2.2	2.0	1.4	1.9	1.5	1.3	1.0	0.7	0.7	1.0	0.7	

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(徳島から佐賀)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
徳島	出荷＋販売段階	1.8	7.8	11.8	10.3	9.2	7.6	6.3	4.8	3.7	2.8	2.0	
	5 年 産 米		6.8	11.0	9.8	8.8	7.2	6.1	4.6	3.6	2.7	2.0	
	1 年 古 米 (4 年 産)	1.6	0.9	0.6	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	
	出荷段階	0.7	6.0	9.2	7.8	6.8	5.6	4.6	3.2	2.4	1.8	1.3	
	5 年 産 米		5.6	9.1	7.7	6.7	5.5	4.6	3.2	2.4	1.8	1.3	
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.6	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0						
	販売段階	1.1	1.8	2.6	2.6	2.4	2.1	1.7	1.6	1.3	1.0	0.7	
	5 年 産 米		1.1	1.9	2.2	2.1	1.8	1.5	1.4	1.2	0.9	0.7	
	1 年 古 米 (4 年 産)	1.0	0.6	0.6	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	
香川	出荷＋販売段階	6.3	4.1	5.3	12.1	17.8	16.1	14.4	12.6	9.2	7.3	6.5	
	5 年 産 米		0.2	2.9	10.7	16.9	15.4	13.9	12.3	9.1	7.2	6.5	
	1 年 古 米 (4 年 産)	6.0	3.8	2.3	1.3	0.8	0.5	0.4	0.3	0.1	0.0	0.0	
	出荷段階	5.4	3.2	3.9	10.3	16.3	14.6	13.1	11.5	8.4	5.8	4.8	
	5 年 産 米			2.2	9.5	16.0	14.4	12.9	11.3	8.4	5.8	4.8	
	1 年 古 米 (4 年 産)	5.3	3.2	1.7	0.8	0.3	0.2	0.2	0.2				
	販売段階	0.8	1.0	1.4	1.8	1.5	1.5	1.3	1.1	0.8	1.4	1.7	
	5 年 産 米		0.2	0.8	1.2	1.0	1.1	1.0	1.0	0.7	1.4	1.7	
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.7	0.6	0.6	0.5	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	
愛媛	出荷＋販売段階	7.2	7.4	9.7	15.2	16.5	15.7	14.3	13.1	11.7	9.8	7.7	
	5 年 産 米		1.6	5.0	11.3	13.0	12.9	11.9	11.0	10.0	8.6	6.9	
	1 年 古 米 (4 年 産)	6.2	5.0	4.0	3.4	3.0	2.5	2.2	1.9	1.5	1.2	0.8	
	出荷段階	6.4	6.6	9.0	14.5	15.8	15.1	13.7	12.4	10.8	9.0	6.9	
	5 年 産 米		1.6	4.9	11.0	12.7	12.5	11.6	10.5	9.2	7.9	6.2	
	1 年 古 米 (4 年 産)	5.5	4.3	3.6	3.1	2.7	2.3	2.0	1.8	1.5	1.1	0.8	
	販売段階	0.8	0.8	0.6	0.7	0.7	0.6	0.6	0.7	0.9	0.8	0.8	
	5 年 産 米		0.1	0.1	0.3	0.4	0.4	0.4	0.5	0.8	0.7	0.8	
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.7	0.7	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	
高知	出荷＋販売段階	3.4	9.6	8.6	9.9	9.1	8.2	7.4	6.6	5.5	4.6	3.7	
	5 年 産 米	0.6	7.4	6.8	8.4	7.7	7.1	6.4	5.7	4.7	3.9	3.1	
	1 年 古 米 (4 年 産)	2.3	1.8	1.5	1.3	1.1	1.0	0.9	0.8	0.7	0.7	0.6	
	出荷段階	0.6	3.7	3.0	4.4	4.1	1.3	1.1	0.9	0.3	0.3	0.2	
	5 年 産 米	0.4	3.6	3.0	4.4	4.0	1.2	1.0	0.9	0.3	0.3	0.2	
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	販売段階	2.8	5.9	5.5	5.5	5.0	7.0	6.3	5.7	5.1	4.3	3.5	
	5 年 産 米	0.2	3.8	3.8	4.0	3.7	5.8	5.4	4.8	4.4	3.7	2.9	
	1 年 古 米 (4 年 産)	2.1	1.7	1.4	1.2	1.1	1.0	0.9	0.8	0.7	0.7	0.6	
福岡	出荷＋販売段階	25.7	17.2	27.7	45.5	60.1	67.4	65.4	58.6	51.0	40.7	30.7	
	5 年 産 米		1.6	17.1	34.8	51.1	60.2	60.1	54.7	48.1	39.0	29.8	
	1 年 古 米 (4 年 産)	24.3	14.7	10.0	10.3	8.8	7.0	5.2	3.8	2.9	1.6	0.9	
	出荷段階	21.9	12.7	20.8	32.9	49.2	58.2	58.2	52.1	44.5	35.6	26.6	
	5 年 産 米		1.1	13.2	28.2	45.2	55.1	55.8	50.4	43.2	34.9	26.2	
	1 年 古 米 (4 年 産)	21.8	11.5	7.5	4.7	4.0	3.1	2.4	1.7	1.3	0.7	0.4	
	販売段階	3.7	4.5	7.0	12.6	10.9	9.2	7.2	6.5	6.4	5.1	4.2	
	5 年 産 米		0.5	3.9	6.6	5.9	5.1	4.3	4.3	4.9	4.2	3.7	
	1 年 古 米 (4 年 産)	2.5	3.2	2.5	5.6	4.8	3.9	2.9	2.1	1.6	0.9	0.5	
佐賀	出荷＋販売段階	15.5	12.2	11.7	26.5	29.0	31.7	31.5	30.0	25.5	22.2	17.8	
	5 年 産 米		0.1	2.7	19.6	23.4	27.6	28.6	28.1	25.0	20.9	16.8	
	1 年 古 米 (4 年 産)	14.6	11.5	8.5	6.6	5.3	3.9	2.8	1.8	0.5	1.3	1.0	
	出荷段階	13.4	10.5	10.4	22.9	26.1	29.1	29.2	28.0	22.8	18.6	14.8	
	5 年 産 米		0.1	2.5	18.6	22.0	25.7	26.7	26.4	22.8	18.6	14.8	
	1 年 古 米 (4 年 産)	13.4	10.5	7.9	4.3	4.1	3.4	2.5	1.6				
	販売段階	2.1	1.7	1.3	3.6	2.8	2.6	2.3	1.9	2.6	3.6	3.0	
	5 年 産 米		0.1	0.2	1.0	1.4	2.0	1.9	1.7	2.2	2.3	2.0	
	1 年 古 米 (4 年 産)	1.2	1.0	0.6	2.3	1.2	0.5	0.3	0.2	0.5	1.3	1.0	

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(長崎から沖縄)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
長崎	出荷＋販売段階	3.4	3.0	2.7	7.1	8.4	8.8	8.7	7.9	6.9	5.7	4.6	
	5年産米		0.6	1.1	6.0	7.6	8.2	8.3	7.6	6.8	5.7	4.6	
	1年古米(4年産)	3.0	2.1	1.3	0.9	0.6	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0	
	出荷段階	2.7	2.4	2.1	6.2	7.6	8.1	8.2	7.0	6.2	5.1	4.1	
	5年産米		0.5	1.1	5.8	7.3	7.9	8.1	6.9	6.1	5.1	4.1	
	1年古米(4年産)	2.7	1.9	1.1	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	
	販売段階	0.7	0.6	0.5	0.9	0.7	0.7	0.5	0.9	0.7	0.6	0.4	
	5年産米		0.0	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.7	0.7	0.6	0.4	
	1年古米(4年産)	0.3	0.2	0.2	0.5	0.3	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	
熊本	出荷＋販売段階	15.3	12.5	12.3	26.5	39.6	45.9	43.0	38.5	34.2	28.4	22.4	
	5年産米		1.9	5.6	22.9	37.0	44.0	41.5	37.3	33.3	27.6	21.7	
	1年古米(4年産)	13.6	9.2	5.5	2.5	1.6	1.2	0.9	0.7	0.5	0.4	0.3	
	出荷段階	10.3	7.2	6.2	15.9	28.9	36.3	34.5	30.1	25.8	20.4	15.6	
	5年産米		1.0	3.1	15.1	28.5	36.0	34.3	30.0	25.7	20.3	15.6	
	1年古米(4年産)	10.0	5.9	2.9	0.6	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	
	販売段階	5.0	5.3	6.1	10.6	10.7	9.7	8.5	8.5	8.5	8.0	6.7	
	5年産米		0.9	2.4	7.8	8.6	8.0	7.2	7.3	7.6	7.3	6.2	
	1年古米(4年産)	3.7	3.3	2.6	1.9	1.3	1.0	0.8	0.6	0.5	0.4	0.3	
大分	出荷＋販売段階	7.5	6.0	5.7	14.2	18.9	17.8	15.7	14.2	11.8	9.8	7.9	
	5年産米		0.5	2.1	11.1	16.6	16.1	14.4	13.2	11.2	9.5	7.7	
	1年古米(4年産)	6.8	5.0	3.3	3.0	2.3	1.6	1.3	0.9	0.5	0.3	0.2	
	出荷段階	4.8	3.9	3.7	9.2	13.5	12.7	11.3	10.0	8.0	6.5	5.1	
	5年産米		0.4	1.5	7.8	12.4	12.0	10.7	9.6	7.8	6.4	5.0	
	1年古米(4年産)	4.5	3.3	2.0	1.4	1.1	0.8	0.5	0.4	0.2	0.1	0.1	
	販売段階	2.7	2.1	2.0	5.0	5.4	5.0	4.4	4.1	3.8	3.4	2.8	
	5年産米		0.1	0.5	3.4	4.2	4.1	3.6	3.6	3.5	3.1	2.6	
	1年古米(4年産)	2.2	1.8	1.3	1.6	1.2	0.9	0.7	0.5	0.3	0.2	0.2	
宮崎	出荷＋販売段階	8.3	7.4	4.1	8.3	8.1	9.2	8.5	7.0	5.5	4.2	2.6	
	5年産米	5.0	5.2	3.1	7.6	7.6	8.8	8.2	6.8	5.4	4.1	2.6	
	1年古米(4年産)	3.2	2.1	1.0	0.7	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	
	出荷段階	5.2	2.7	0.5	4.8	5.1	6.7	6.5	5.2	4.0	2.8	1.8	
	5年産米	3.3	1.8	0.4	4.7	5.0	6.6	6.4	5.2	4.0	2.8	1.7	
	1年古米(4年産)	1.9	0.9	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	販売段階	3.1	4.6	3.6	3.5	3.0	2.5	2.0	1.8	1.5	1.4	0.9	
	5年産米	1.7	3.4	2.6	2.9	2.6	2.2	1.8	1.7	1.4	1.3	0.9	
	1年古米(4年産)	1.3	1.2	0.9	0.6	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	
鹿児島	出荷＋販売段階	12.6	12.0	9.4	16.2	19.3	17.5	16.0	16.5	14.3	11.3	8.5	
	5年産米	0.8	2.7	2.6	11.2	15.2	14.0	13.0	13.9	12.3	9.7	7.2	
	1年古米(4年産)	7.6	5.7	3.8	2.5	1.9	1.7	1.5	1.3	1.1	0.8	0.6	
	出荷段階	7.3	6.9	3.0	9.8	13.0	12.4	11.4	12.4	10.8	8.1	6.2	
	5年産米	0.1	1.3	0.9	8.0	11.4	10.9	10.0	11.2	10.1	7.5	5.6	
	1年古米(4年産)	5.9	4.5	1.1	1.0	0.8	0.7	0.6	0.5	0.1	0.1	0.1	
	販売段階	5.2	5.1	6.4	6.4	6.3	5.0	4.7	4.1	3.5	3.1	2.2	
	5年産米	0.7	1.4	1.7	3.2	3.9	3.0	3.0	2.7	2.2	2.2	1.6	
	1年古米(4年産)	1.7	1.3	2.7	1.6	1.1	1.0	0.9	0.8	1.0	0.7	0.5	
沖縄	出荷＋販売段階	0.6	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	5年産米	0.6	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1年古米(4年産)	0.0	0.0										
	出荷段階	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	5年産米	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0		
	1年古米(4年産)	0.0											
	販売段階	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	5年産米	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1年古米(4年産)	0.0	0.0										

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

2 米の価格情報

1 相対取引価格・数量

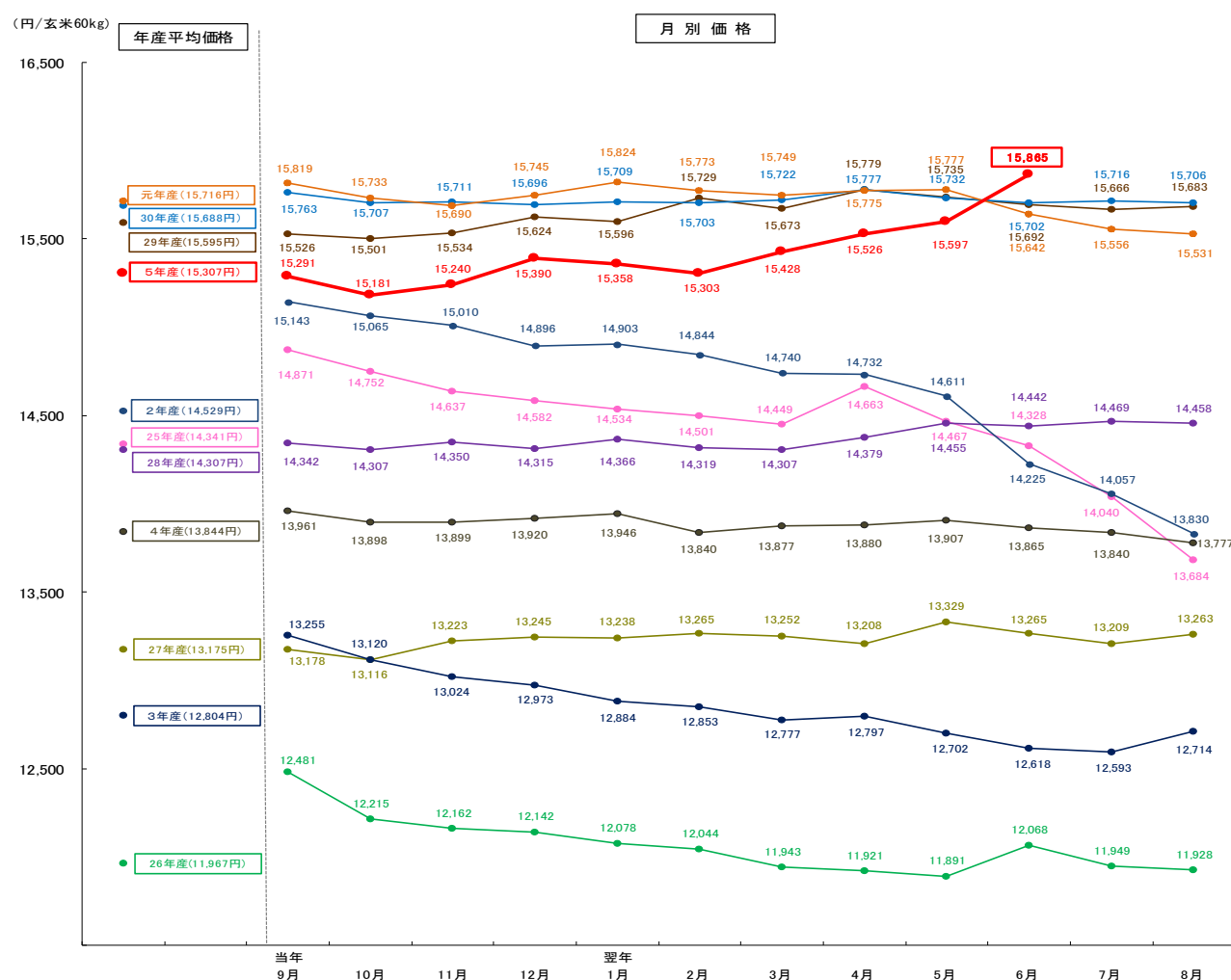
相対取引価格の累年データについては、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。【<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>】

(1) 年産別の相対取引価格(速報)

- 令和5年産米の令和6年6月の相対取引価格は、全銘柄平均で前月差+268円の15,865円/60kgとなり、出回りからの年産平均価格は前年産+1,463円の15,307円/60kgとなったところ。

産地銘柄ごとの価格は、「価格-2」以降を参照。

相対取引価格の推移(税込)(全銘柄平均価格)



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 価格には、運賃、包装代、消費税が含まれている。なお、消費税は、平成26年3月以前は5%、令和元年9月以前は8%、10月以降は軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。

3 グラフ左側の年産平均価格は、当該年産の出回りから翌年10月まで（5年産は出回りから令和6年6月までの速報値）の通年平均価格、右側は月別の価格である。

2 米取引関係者の判断（米穀機構による調査、令和6年6月分）

調査結果は、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。

【 <https://www.komenet.jp/> 】

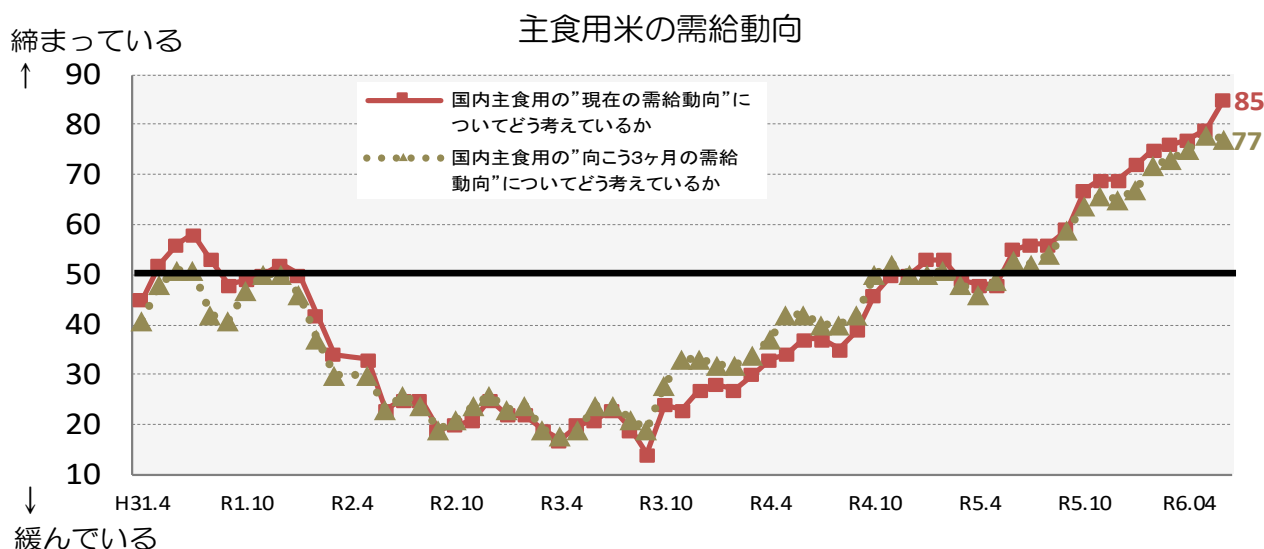
- 米穀機構の米取引関係者の判断に関する調査(令和6年6月分)によると、主食用米の需給動向の現状判断は前回調査と比べて+6ポイントの「増加」、見通し（向こう3ヶ月）判断は▲1ポイントの「横ばい」。
- 米価水準の現状判断は前回調査と比べて+1ポイントの「横ばい」、見通し（向こう3ヶ月）判断は▲10ポイントの「大幅に減少」。

1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断（全体）

① 主食用米の需給動向

（ア）現状判断 D I 前回からの増減 +6（今月の数値 85）

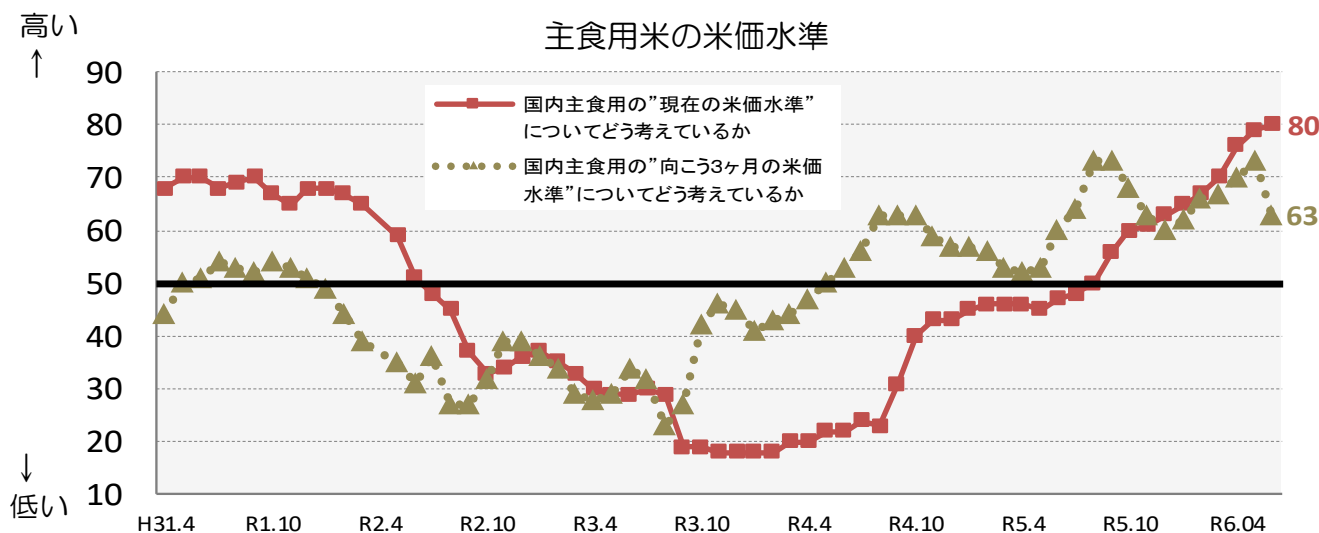
（イ）見通し判断 D I（向こう3ヶ月） 前回からの増減 ▲1（今月の数値 77）



② 主食用米の米価水準

（ア）現状判断 D I 前回からの増減 +1（今月の数値 80）

（イ）見通し判断 D I（向こう3ヶ月） 前回からの増減 ▲10（今月の数値 63）



2. 自社の取引状況に関する判断(業態ごと)

①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の販売数量に関する現状判断D I

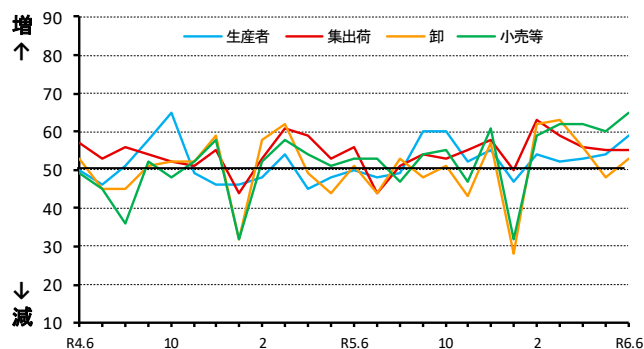
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	+5	(今月の数値	59)
集出荷：前回からの増減	±0	(今月の数値	55)
卸：前回からの増減	+5	(今月の数値	53)
小売等：前回からの増減	+5	(今月の数値	65)

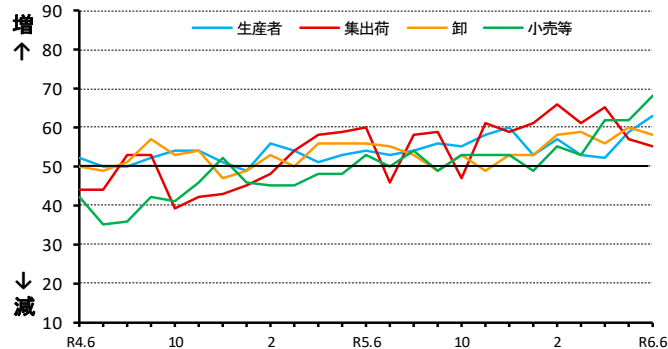
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+4	(今月の数値	63)
集出荷：前回からの増減	▲2	(今月の数値	55)
卸：前回からの増減	▲2	(今月の数値	58)
小売等：前回からの増減	+6	(今月の数値	68)

①-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"販売数量"について、
"先月と比較"するといかがですか。



①-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"販売数量"について、
"前年 同月と比較"するといかがですか。



(イ) 来月の販売数量に関する見通しD I

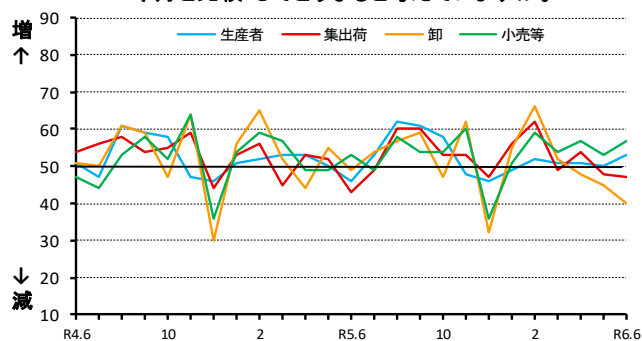
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	+3	(今月の数値	53)
集出荷：前回からの増減	▲1	(今月の数値	47)
卸：前回からの増減	▲5	(今月の数値	40)
小売等：前回からの増減	+4	(今月の数値	57)

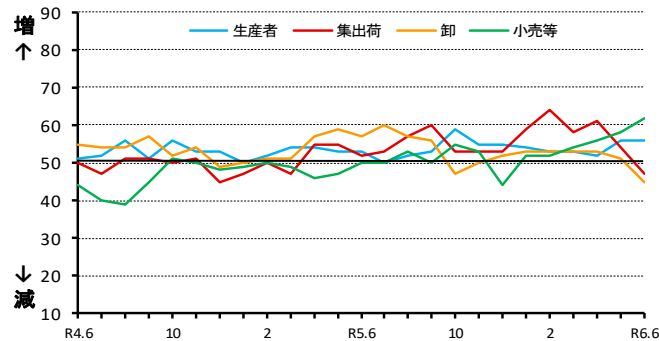
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	±0	(今月の数値	56)
集出荷：前回からの増減	▲7	(今月の数値	47)
卸：前回からの増減	▲6	(今月の数値	45)
小売等：前回からの増減	+4	(今月の数値	62)

①-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"販売数量"について、
"今月と比較"してどうなると考えていますか。



①-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"販売数量"について、
"前年 同月と比較"してどうなると考えていますか。



②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の価格に関する現状判断D I

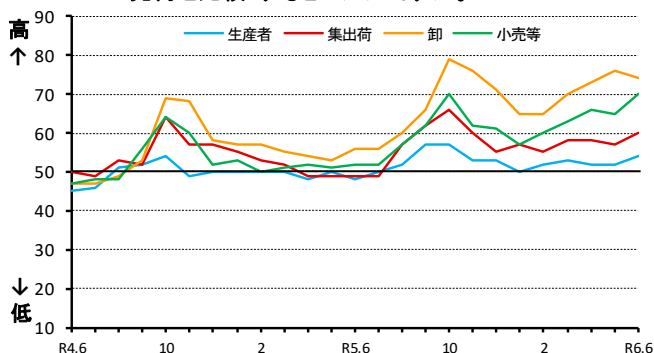
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	+2	(今月の数値	54)
集出荷：前回からの増減	+3	(今月の数値	60)
卸：前回からの増減	▲2	(今月の数値	74)
小売等：前回からの増減	+5	(今月の数値	70)

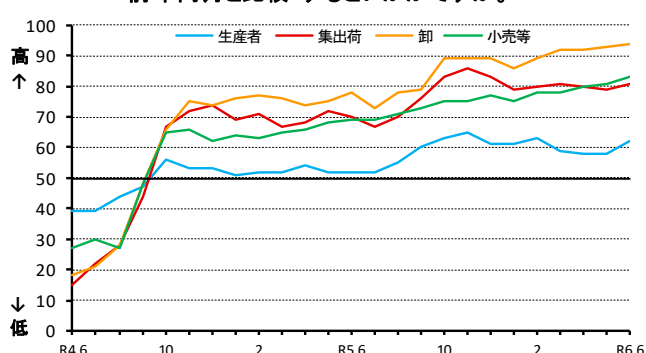
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+4	(今月の数値	62)
集出荷：前回からの増減	+2	(今月の数値	81)
卸：前回からの増減	+1	(今月の数値	94)
小売等：前回からの増減	+2	(今月の数値	83)

②-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、
"先月と比較"するといかがですか。



②-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、
"前年同月と比較"するといかがですか。



(イ) 来月の価格に関する見通しD I

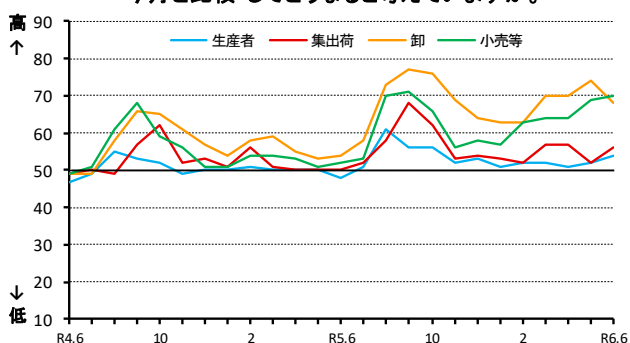
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	+2	(今月の数値	54)
集出荷：前回からの増減	+4	(今月の数値	56)
卸：前回からの増減	▲6	(今月の数値	68)
小売等：前回からの増減	+1	(今月の数値	70)

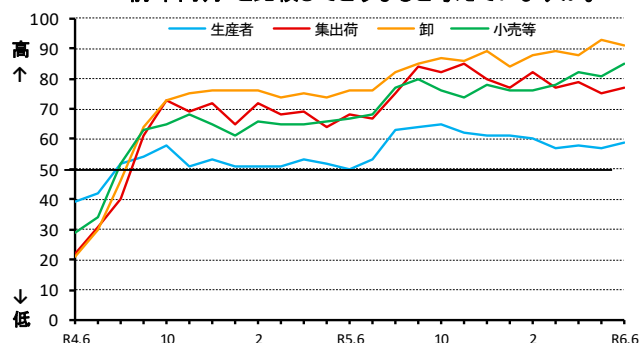
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+2	(今月の数値	59)
集出荷：前回からの増減	+2	(今月の数値	77)
卸：前回からの増減	▲2	(今月の数値	91)
小売等：前回からの増減	+4	(今月の数値	85)

②-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、
"今月と比較"してどうなると考えていますか。



②-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、
"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」/「(将来)多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「少なくなった」/「(将来)少なくなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の在庫量に関する現状判断D I

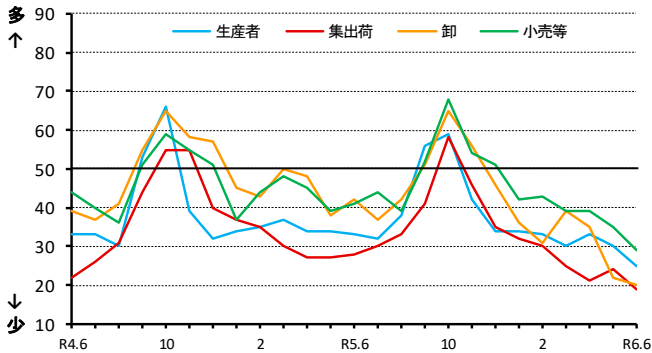
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減 ▲5 (今月の数値 25)
集出荷：前回からの増減 ▲5 (今月の数値 19)
卸：前回からの増減 ▲2 (今月の数値 20)
小売等：前回からの増減 ▲6 (今月の数値 29)

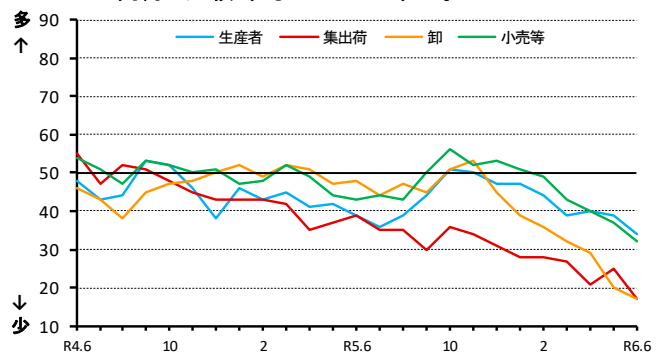
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減 ▲5 (今月の数値 34)
集出荷：前回からの増減 ▲8 (今月の数値 17)
卸：前回からの増減 ▲3 (今月の数値 17)
小売等：前回からの増減 ▲5 (今月の数値 32)

③-ア-a 貴社の“今月”の主食用米の“在庫量”について、“先月と比較”するといかがですか。



③-ア-b 貴社の“今月”の主食用米の“在庫量”は、“前年同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の在庫量に関する見通しD I

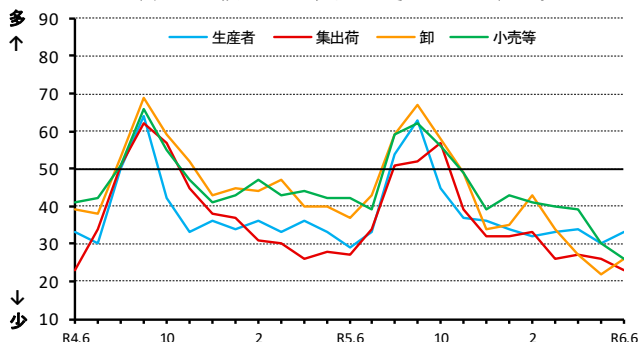
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減 +3 (今月の数値 33)
集出荷：前回からの増減 ▲3 (今月の数値 23)
卸：前回からの増減 +4 (今月の数値 26)
小売等：前回からの増減 ▲4 (今月の数値 26)

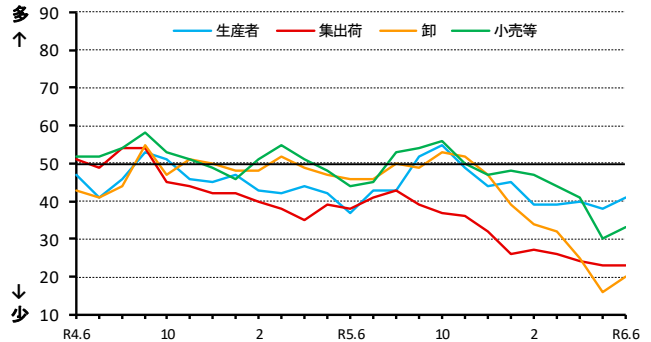
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減 +3 (今月の数値 41)
集出荷：前回からの増減 ±0 (今月の数値 23)
卸：前回からの増減 +4 (今月の数値 20)
小売等：前回からの増減 +3 (今月の数値 33)

③-イ-a 貴社の“来月”の主食用米の“在庫量”について、“今月と比較”してどうなると考えていますか。



③-イ-b 貴社の“来月”の主食用米の“在庫量”について、“前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



取引関係者が1の①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の 在庫水準	国の政策	米穀の 調達状況	消費者の 動向	競合商品の 販売動向	その他
R4.6	1%	34%	9%	36%	12%	6%	2%
R4.7	3%	32%	9%	36%	11%	6%	4%
R4.8	7%	24%	8%	39%	10%	6%	7%
R4.9	8%	23%	8%	42%	10%	6%	3%
R4.10	17%	19%	6%	39%	10%	6%	3%
R4.11	12%	18%	4%	42%	14%	8%	1%
R4.12	12%	23%	3%	44%	11%	6%	1%
R5.1	5%	28%	4%	42%	14%	6%	1%
R5.2	2%	25%	5%	45%	16%	5%	1%
R5.3	1%	29%	3%	41%	16%	8%	1%
R5.4	1%	27%	4%	44%	14%	9%	1%
R5.5	2%	28%	3%	37%	22%	6%	2%

	作柄	国内の 在庫水準	国の政策	米穀の 調達状況	消費者の 動向	競合商品の 販売動向	その他
R5.6	1%	30%	3%	45%	12%	8%	1%
R5.7	3%	30%	1%	48%	14%	3%	1%
R5.8	11%	26%	3%	44%	8%	3%	5%
R5.9	20%	18%	1%	44%	9%	5%	2%
R5.10	24%	21%	1%	42%	8%	3%	1%
R5.11	22%	19%	1%	44%	10%	4%	0%
R5.12	12%	23%	3%	46%	12%	4%	0%
R6.1	9%	28%	2%	46%	10%	3%	2%
R6.2	9%	27%	1%	51%	8%	4%	0%
R6.3	7%	29%	0%	53%	8%	2%	1%
R6.4	3%	29%	2%	52%	9%	3%	1%
R6.5	6%	30%	1%	55%	4%	2%	1%
R6.6	5%	34%	1%	49%	7%	3%	1%

《アンケート方法等》

- 調査期間：毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答
- 調査方法：電子メールを利用したアンケート調査
- 調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の180客体

※ 米取引関係者の動向をより適切に反映したものとなるよう、令和5年4月にアンケート対象事業者の一部入替を行いました。

○有効回答数：144客体

生産者・・・・・・・・・・27
集出荷業者／団体・・・・・・・・24
卸売業者（主に主食用米）・・・・28
小売業者／中食・外食業者・・・・52
その他・・・・・・・・・・13

※「その他」は以下の業者です。
・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
・加工原材料米穀を使用し、加工食品（酒類を含む）を製造・販売する者

○結果公表：翌月上旬（公表日時は半期ごとにホームページに掲載）

《利用上の注意》

○表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《D I の算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断（評価）にそれぞれ点数（評価点）を与え、これらを各回答区分の構成比（％）に乗じてD I を算出します。

ただし、D I の推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ（量感）を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じD I が観測されることに注意が必要です。

（D I の算出例）

問：国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

3 米の契約・販売情報

1 令和6年産備蓄米の政府買入入札結果

令和6年産備蓄米の政府買入入札は、全7回を実施し、買入予定数量205,509トンに対して、172,016トン（83.7%）の落札となりました。

－ 円滑な備蓄運営へのご協力ありがとうございました。 －

令和6年産備蓄米の買入入札結果

(単位:トン)

産地	買入予定数量 (優先枠) ①	落札数量 ②	落札率 ②/①
北海道	4,686	4,686	100.0%
青森	28,586	24,416	85.4%
岩手	3,415	3,415	100.0%
宮城	11,276	11,276	100.0%
秋田	21,322	14,512	68.1%
山形	20,195	20,195	100.0%
福島	26,313	26,313	100.0%
茨城	1,086	616	56.7%
栃木	6,184	5,773	93.4%
群馬			
埼玉	204	204	100.0%
千葉	662	642	97.0%
東京			
神奈川			
新潟	24,499	24,499	100.0%
富山	11,880	10,261	86.4%
石川	7,841	874	11.1%
福井	4,597	2,500	54.4%
山梨			
長野	1,449	1,352	93.3%
岐阜	423	423	100.0%
静岡	19	19	100.0%
愛知	835	722	86.5%
三重	262	－	0.0%
滋賀	1,327	1,159	87.3%
京都			
大阪			

産地	買入予定数量 (優先枠) ①	落札数量 ②	落札率 ②/①
兵庫			
奈良			
和歌山			
鳥取	389	389	100.0%
島根	126	126	100.0%
岡山	822	191	23.2%
広島	28	28	100.0%
山口			
徳島	933	235	25.2%
香川			
愛媛			
高知	10	10	100.0%
福岡	52	35	67.3%
佐賀	214	－	0.0%
長崎			
熊本	274	－	0.0%
大分	91	91	100.0%
宮崎			
鹿児島			
優先枠計 ①	180,000	154,962	86.1%
一般枠 ②	25,509	17,054	66.9%
合計 (①+②)	205,509	172,016	83.7%
うちCPTPP分		5,509	

(参考) 買入入札結果の推移

(単位:トン)

年産	買入予定数量 ①	落札数量 ②	落札率 ②/①
平成23年産	200,000	67,638	33.8%
平成24年産	200,000	83,390	41.7%
平成25年産	250,000	183,092	73.2%
平成26年産	250,000	250,000	100.0%
平成27年産	250,000	250,000	100.0%
平成28年産	225,000	225,000	100.0%
平成29年産	200,000	197,728	98.9%
平成30年産	200,000	122,949	61.5%
令和元年産	209,140	185,314	88.6%
令和2年産	207,000	207,000	100.0%
令和3年産	207,000	207,000	100.0%
令和4年産	207,000	207,000	100.0%
令和5年産	208,000	201,725	97.0%
令和6年産	205,509	172,016	83.7%

2 令和5年産米の産地別契約・販売状況 (累計、うるち米、令和6年5月末現在) (速報)

集荷・契約・販売数量(北海道から静岡まで)

(単位:千玄米トン)

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約 比率 ②/①	販売数量 ③	販売 比率 ③/①	参考:前年同月比 (4年産の同時期との比較)		
							集荷数量	契約数量	販売数量
北海道	104	288.7	274.4	95%	205.7	71%	93%	93%	109%
ななつぼし		133.8	130.1	97%	91.8	69%	93%	93%	99%
ゆめぴりか		79.6	69.2	87%	50.6	64%	84%	77%	93%
きらら397		18.6	18.5	99%	6.9	37%	87%	89%	85%
青森	102	112.3	106.0	94%	68.7	61%	101%	104%	126%
まっしぐら		83.5	79.0	95%	48.3	58%	99%	102%	130%
つがるロマン		8.3	7.5	90%	5.8	70%	62%	66%	72%
岩手	104	112.0	105.9	95%	55.2	49%	99%	99%	115%
ひとめぼれ		84.3	79.7	95%	39.3	47%	98%	98%	105%
あきたこまち		8.2	7.9	96%	4.7	58%	74%	71%	134%
銀河のしずく		14.9	13.8	93%	8.3	56%	166%	162%	191%
宮城	105	156.0	149.2	96%	85.2	55%	102%	101%	143%
ひとめぼれ		118.5	113.5	96%	61.7	52%	100%	99%	146%
つや姫		14.9	14.3	96%	8.2	55%	109%	110%	124%
ササニシキ		9.3	9.1	98%	6.1	66%	102%	103%	140%
秋田	97	220.8	238.3	108%	152.7	69%	95%	103%	105%
あきたこまち		181.6	199.6	110%	130.0	72%	93%	103%	102%
ひとめぼれ		17.0	17.5	103%	8.7	51%	96%	91%	128%
めんこいな		6.5	6.4	98%	5.0	76%	100%	98%	131%
山形	100	179.7	160.2	89%	112.1	62%	96%	97%	113%
はえぬき		94.6	84.6	89%	56.6	60%	93%	94%	118%
つや姫		41.6	39.8	96%	30.4	73%	100%	103%	107%
雪若丸		21.9	17.0	78%	10.9	49%	104%	102%	123%
福島	102	123.5	126.5	102%	59.2	48%	107%	119%	135%
コシヒカリ(中通り)		39.0	34.6	89%	21.4	55%	108%	105%	135%
コシヒカリ(会津)		29.3	39.9	136%	10.5	36%	100%	126%	129%
コシヒカリ(浜通り)		5.1	7.0	139%	2.0	40%	103%	168%	123%
ひとめぼれ		22.2	20.1	91%	9.0	40%	105%	108%	111%
天のつぶ		17.1	17.0	99%	10.6	62%	134%	159%	222%
茨城	101	63.5	63.8	100%	47.2	74%	92%	89%	113%
コシヒカリ		44.0	44.3	101%	32.0	73%	88%	89%	106%
あきたこまち		7.3	7.3	99%	6.6	91%	83%	82%	92%
ふくまる		2.9	2.9	100%	2.0	69%	119%	118%	332%
栃木	104	106.5	91.2	86%	50.4	47%	103%	109%	116%
コシヒカリ		84.8	73.4	86%	40.4	48%	102%	108%	116%
とちぎの星		12.4	10.9	88%	5.0	40%	127%	134%	119%
あさひの夢		3.5	2.6	75%	1.2	34%	91%	106%	147%
群馬	102	17.2	13.7	80%	8.7	50%	91%	89%	113%
あさひの夢		11.7	9.6	82%	5.9	51%	88%	87%	103%
ゆめまつり		1.5	1.2	76%	0.6	39%	53%	53%	75%
埼玉	99	16.2	15.3	94%	11.0	68%	81%	82%	104%
彩のかがやき		4.5	4.5	99%	2.9	64%	60%	65%	72%
彩のきずな		6.2	5.4	88%	3.5	57%	99%	91%	124%
コシヒカリ		3.2	3.1	97%	2.4	75%	81%	85%	149%
千葉	103	55.6	56.0	101%	48.1	86%	96%	105%	104%
コシヒカリ		28.8	29.5	103%	24.9	87%	93%	104%	106%
ふさがね		10.2	10.3	101%	8.8	86%	110%	124%	115%
ふさおとめ		10.0	9.6	96%	8.4	84%	94%	96%	88%
東京	102	-	-	-	-	-	...	...	...
神奈川	102	3.4	2.5	72%	2.5	72%	127%	140%	140%
山梨	100	5.5	3.4	62%	3.4	62%	100%	123%	123%
コシヒカリ		4.8	2.8	58%	2.8	58%	102%	126%	126%
長野	100	62.9	62.7	100%	32.1	51%	98%	98%	115%
コシヒカリ		50.5	50.3	100%	24.2	48%	99%	98%	114%
あきたこまち		6.0	6.0	99%	3.3	54%	90%	89%	106%
静岡	100	7.7	7.7	100%	5.5	72%	100%	161%	116%
コシヒカリ		4.6	4.6	100%	3.8	83%	109%	162%	135%
きぬむすめ		1.4	1.4	100%	0.7	55%	90%	167%	92%
にこまる		0.4	0.4	100%	0.3	66%	...	...	...

注: 本表の注意点は次々頁の脚注を参照

集荷・契約・販売数量（新潟から広島まで）

（単位：千玄米トン）

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約 比率 ②/①	販売数量 ③	販売 比率 ③/①	参考：前年同月比 （4年産の同時期との比較）		
							集荷数量	契約数量	販売数量
新 潟	95	271.4	266.5	98%	179.4	66%	101%	103%	112%
コシヒカリ（一般）		135.3	133.5	99%	83.7	62%	98%	101%	111%
コシヒカリ（魚沼）		32.5	30.3	93%	23.0	71%	110%	117%	128%
コシヒカリ（佐渡）		12.8	13.0	102%	8.1	64%	88%	90%	94%
コシヒカリ（岩船）		11.3	11.4	102%	8.3	74%	109%	111%	128%
こしいぶき		36.0	35.0	97%	24.7	69%	95%	95%	98%
富 山	98	78.3	77.5	99%	46.4	59%	93%	95%	104%
コシヒカリ		55.1	54.7	99%	34.2	62%	90%	93%	99%
てんたかく		6.8	6.8	99%	4.3	63%	90%	90%	112%
石 川	100	31.5	31.4	100%	17.0	54%	96%	104%	120%
コシヒカリ		14.8	14.9	101%	7.4	50%	87%	91%	114%
ゆめみづほ		4.4	4.2	95%	2.3	52%	96%	98%	130%
福 井	98	47.8	46.2	97%	34.7	73%	91%	95%	104%
コシヒカリ		18.8	18.7	100%	13.6	72%	89%	102%	110%
ハナエチゼン		13.1	13.1	100%	10.6	81%	89%	92%	92%
あきさかり		4.8	4.8	99%	2.7	56%	92%	115%	94%
岐 阜	100	20.4	20.3	100%	12.8	63%	98%	93%	119%
ハツシモ		8.9	9.1	102%	4.9	55%	86%	90%	124%
コシヒカリ		4.9	4.6	94%	3.2	66%	95%	93%	110%
ほしじるし		2.2	2.7	120%	1.7	75%	133%	89%	147%
愛 知	96	33.1	33.1	100%	21.9	66%	89%	89%	99%
あいちのかおり		17.1	17.1	100%	10.1	59%	86%	86%	99%
コシヒカリ		9.7	9.7	100%	7.6	78%	92%	92%	101%
大地の風		1.0	1.0	100%	0.7	69%	74%	74%	117%
三 重	101	22.6	22.9	101%	17.0	75%	85%	81%	89%
コシヒカリ（一般）		10.2	10.5	103%	7.8	77%	79%	71%	75%
コシヒカリ（伊賀）		5.9	5.9	100%	3.9	65%	91%	91%	95%
キヌヒカリ		1.1	1.1	100%	0.9	78%	70%	69%	109%
滋 賀	97	55.6	46.4	84%	38.7	70%	96%	83%	106%
コシヒカリ		19.5	16.8	86%	14.5	74%	96%	85%	114%
キヌヒカリ		9.8	8.0	81%	6.9	70%	91%	80%	112%
みずかがみ		11.5	9.8	85%	8.1	70%	101%	89%	85%
京 都	99	8.5	8.0	95%	5.9	69%	93%	89%	96%
コシヒカリ		4.8	4.6	95%	3.4	70%	98%	104%	91%
ヒノヒカリ		1.1	1.1	100%	0.8	71%	74%	74%	86%
キヌヒカリ		1.4	1.2	84%	1.0	72%	91%	64%	111%
大 阪	102	-	-	-	-	-	...	...	...
兵 庫	100	24.4	21.7	89%	14.6	60%	55%	50%	55%
コシヒカリ		11.0	10.7	97%	7.3	67%	72%	72%	74%
ヒノヒカリ		4.5	3.5	76%	2.2	49%	81%	72%	81%
キヌヒカリ		3.4	2.9	85%	2.3	68%	76%	71%	101%
奈 良	101	10.0	6.4	64%	6.4	64%	92%	119%	119%
ヒノヒカリ		8.4	5.3	63%	5.3	63%	92%	115%	115%
和歌山	103	1.6	1.6	100%	1.0	62%	91%	91%	57%
鳥 取	95	25.1	21.1	84%	18.4	73%	85%	70%	89%
きぬむすめ		7.8	6.4	81%	5.7	72%	77%	61%	87%
コシヒカリ		6.7	5.6	84%	4.8	72%	84%	70%	89%
ひとめぼれ		3.6	3.1	87%	2.8	79%	86%	72%	76%
島 根	101	31.5	30.8	98%	21.9	69%	95%	114%	124%
きぬむすめ		13.6	13.1	96%	9.3	68%	101%	121%	145%
コシヒカリ		11.2	11.0	99%	8.1	72%	88%	106%	109%
つや姫		5.1	5.1	99%	3.1	62%	96%	115%	116%
岡 山	99	36.9	30.7	83%	18.5	50%	89%	91%	91%
アケボノ		7.0	6.4	91%	2.9	42%	93%	90%	116%
きぬむすめ		7.4	5.4	72%	3.1	41%	91%	93%	111%
コシヒカリ		5.5	4.4	80%	3.7	67%	76%	82%	77%
広 島	103	33.2	32.9	99%	24.1	73%	99%	84%	118%
コシヒカリ		13.1	12.4	95%	9.3	71%	99%	77%	113%
あきさかり		6.5	7.4	113%	5.1	78%	91%	85%	112%
あきろまん		3.1	3.2	106%	2.4	78%	100%	83%	117%

注：本表の注意点は次頁の脚注を参照

集荷・契約・販売数量（山口から沖縄まで、全国計）

（単位：千玄米トン）

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約 比率 ②/①	販売数量 ③	販売 比率 ③/①	参考：前年同月比 （4年産の同時期との比較）		
							集荷数量	契約数量	販売数量
山 口	103	40.6	39.8	98%	28.5	70%	97%	104%	116%
コシヒカリ		10.4	10.2	98%	7.7	74%	93%	97%	114%
ひとめぼれ		10.3	10.0	97%	7.2	70%	104%	117%	125%
きぬむすめ		8.1	8.0	99%	5.4	66%	...	...	...
徳 島	99	4.8	4.7	99%	3.8	79%	84%	83%	93%
コシヒカリ		2.0	2.0	100%	1.6	80%	87%	87%	95%
あきさかり		2.3	2.2	98%	1.7	77%	81%	79%	92%
香 川	101	19.4	21.0	108%	14.6	75%	93%	90%	126%
コシヒカリ		5.4	6.0	110%	4.2	78%	91%	93%	123%
ヒノヒカリ		5.3	6.0	113%	3.8	71%	91%	91%	122%
あきさかり		3.9	4.0	103%	3.0	77%	...	...	...
愛 媛	103	11.3	10.6	94%	5.6	50%	91%	89%	89%
コシヒカリ		3.9	3.8	97%	2.3	60%	92%	90%	82%
ヒノヒカリ		1.7	1.3	81%	0.8	50%	76%	67%	113%
あきたこまち		0.9	1.0	111%	0.5	54%	66%	74%	88%
高 知	100	9.1	9.1	100%	8.9	98%	95%	99%	96%
コシヒカリ		6.2	6.2	100%	6.2	100%	96%	96%	96%
ヒノヒカリ		1.3	1.3	100%	1.2	93%	95%	99%	92%
福 岡	100	53.0	50.8	96%	33.9	64%	102%	101%	121%
夢つくし		17.0	16.1	95%	12.5	74%	96%	94%	136%
ヒノヒカリ		13.6	13.2	97%	8.0	59%	108%	106%	124%
元気つくし		17.3	16.3	94%	10.7	62%	104%	103%	107%
佐 賀	103	35.2	35.3	100%	21.0	60%	106%	108%	141%
さがびより		15.2	15.6	103%	8.0	52%	118%	122%	178%
夢しずく		11.3	11.5	101%	7.3	65%	100%	101%	137%
ヒノヒカリ		5.4	5.3	99%	3.1	57%	96%	95%	114%
長 崎	102	9.7	9.6	99%	6.0	62%	109%	108%	129%
にこまる		4.2	4.1	99%	2.2	53%	122%	116%	115%
なつほのか		2.2	2.2	100%	1.6	71%	104%	89%	171%
ヒノヒカリ		1.6	1.6	100%	0.8	51%	120%	127%	115%
熊 本	104	31.4	21.2	68%	21.2	68%	104%	115%	115%
ヒノヒカリ		11.5	7.7	67%	7.7	67%	96%	112%	112%
森のくまさん		4.3	2.4	57%	2.4	57%	98%	88%	88%
コシヒカリ		5.5	4.3	79%	4.3	79%	96%	118%	118%
大 分	101	13.6	10.4	76%	9.0	66%	90%	65%	108%
ヒノヒカリ		6.0	4.6	77%	4.0	66%	87%	64%	108%
ひとめぼれ		1.9	1.7	89%	1.2	63%	84%	75%	86%
つや姫		1.8	1.6	85%	1.5	80%	82%	70%	93%
宮 崎	99	10.0	9.3	93%	9.3	93%	79%	85%	86%
コシヒカリ		4.6	4.6	100%	4.6	100%	83%	83%	83%
ヒノヒカリ		4.4	3.7	83%	3.7	83%	83%	102%	102%
鹿児島	101	12.3	12.3	100%	11.4	92%	97%	97%	122%
ヒノヒカリ		4.0	4.0	100%	3.6	90%	93%	93%	145%
あきほなみ		3.1	3.1	100%	2.6	83%	111%	111%	182%
コシヒカリ		3.0	3.0	100%	3.0	100%	107%	107%	107%
沖 縄	104	1.2	1.2	100%	1.2	100%	94%	94%	95%
全 国 ①	101	2,562	2,456	96%	1,647	64%	95%	97%	109%
参 考	前年同月(4年産)②	2,691	2,543	95%	1,516	56%			
	前年同月差(①-②)	▲ 129	▲ 87	+ 1%	+ 131	+ 8%			

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 報告対象米穀は、水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。

3 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

4 契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）した数量である。

5 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。

6 銘柄ごとの集荷数量、契約数量、販売数量は、当該産地の内数として掲載している。

7 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

8 「－」は、集荷数量、契約数量、販売数量に該当がないものである。

9 「参考：前年同月比」で、令和5年産又は令和4年産の同時期に数量がなかった場合は、「…」としている。

3 事前契約（播種前契約）の取組状況

（1）近年の事前契約（播種前契約）数量の推移（令和3年産～令和5年産）

米の事前契約について、農林水産省では需要に応じた生産・販売に繋げていく観点から、「米取引の事前契約研究会」での議論等も踏まえ、「収穫前契約から播種前契約への転換」、「実需と結びついた契約の拡大」を推進しています。

これに伴い、今後の事前契約の取組状況については、従来の「収穫前契約」に代えて、「播種前契約」に関する取組状況を掲載することとします。

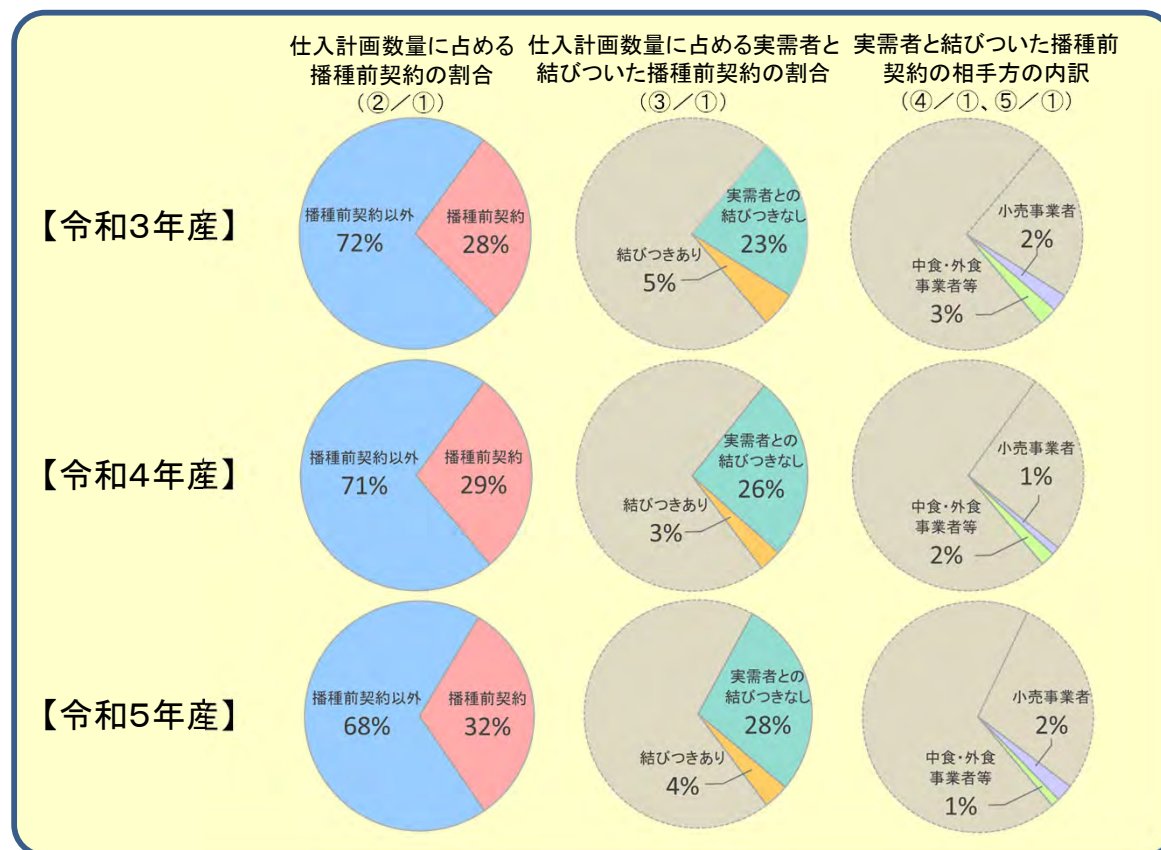
【米取引の事前契約研究会ページ】

<https://www.maff.go.jp/j/syoutan/keikaku/soukatu/jizenn.html>

- 事前契約（播種前契約）の取組状況について、一定規模以上の集出荷業者を対象に調査を実施。
- 5年産の仕入計画数量に占める播種前契約（複数年契約を含む）の割合は32%。
5年産の仕入計画数量に占める実需者と結びついた播種前契約の割合は4%。

○ 近年の播種前契約の状況

年産	仕入計画 数量 ①	播種前契約 数量 ②	うち実需者との結びつき		
			計	中食・外食等	小売
			③	④	⑤
3年産	3,699	1,026 (28%)	184 (5%)	95 (3%)	89 (2%)
4年産	3,451	1,001 (29%)	108 (3%)	69 (2%)	40 (1%)
5年産	3,504	1,115 (32%)	127 (4%)	42 (1%)	85 (2%)



注1：調査対象は、年間取扱数量500トン以上の集出荷業者。

注2：仕入計画数量は、卸売業者や小売事業者等へ独自に販売を行う米穀の生産年の3月末時点の仕入(集荷)計画数量(見込含む)として調査。

注3：播種前契約数量は、生産年の3月末までに締結した事前契約(確認書等により販売数量が決定しているもの)の数量をいう。

注4：中食・外食等には、小売以外の実需者(学校給食や事業所給食など)との契約を含む。

注5：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(2) 令和4・5年産米の産地別事前契約（播種前契約）の取組状況（速報）

(単位：千玄米トン)

	4 年 産				5 年 産			
	仕入(集荷) 計画数量	うち事前(播種前)契約		うち 複数年契約	仕入(集荷) 計画数量	うち事前(播種前)契約		うち複数年契約
		契約数量	契約比率	契約数量		契約数量 (前年差)	契約比率 (前年差)	契約数量 (前年差)
	①	②	②／①	③	④	⑤	⑤／④	⑥
北海道	345	160	46%	157	369	164 (+4)	44% (▲2%)	162 (+5)
青森	154	14	9%	5	171	36 (+21)	21% (+12%)	29 (+24)
岩手	137	52	38%	50	157	65 (+13)	41% (+4%)	65 (+15)
宮城	192	106	55%	106	184	143 (+37)	78% (+23%)	93 (▲12)
秋田	276	134	48%	113	299	142 (+8)	47% (▲1%)	109 (▲4)
山形	239	46	19%	39	242	60 (+15)	25% (+6%)	45 (+6)
福島	171	43	25%	41	172	31 (▲12)	18% (▲7%)	31 (▲10)
茨城	151	5	3%	1	131	33 (+28)	25% (+22%)	3 (+2)
栃木	129	64	49%	61	136	72 (+8)	53% (+3%)	59 (▲2)
群馬	25	5	20%	1	27	7 (+2)	24% (+4%)	－ －
埼玉	42	8	18%	1	53	8 (+0)	15% (▲3%)	1 (+0)
千葉	108	10	9%	9	111	15 (+5)	13% (+4%)	8 (▲2)
東京	－	－	－	－	－	－ －	－ －	－ －
神奈川	3	－	－	－	3	－ －	－ －	－ －
山梨	6	－	－	－	5	－ －	－ －	－ －
長野	87	38	44%	34	87	38 (▲1)	43% (▲1%)	37 (+3)
静岡	12	－	－	－	13	－ －	－ －	－ －
新潟	366	113	31%	84	369	109 (▲4)	30% (▲1%)	73 (▲11)
富山	97	1	1%	1	100	－ －	－ －	－ －
石川	58	8	13%	－	65	11 (+4)	17% (+4%)	－ －
福井	55	8	14%	8	51	7 (▲1)	13% (▲1%)	5 (▲3)
岐阜	33	7	21%	5	18	11 (+4)	63% (+42%)	5 (▲1)
愛知	44	3	7%	2	43	2 (▲1)	4% (▲3%)	1 (▲1)
三重	46	32	69%	－	45	30 (▲2)	67% (▲2%)	－ －
滋賀	66	38	58%	8	46	28 (▲10)	61% (+4%)	5 (▲4)
京都	15	6	42%	1	18	5 (▲1)	28% (▲14%)	1 (+0)
大阪	3	－	－	－	3	－ －	－ －	－ －
兵庫	60	18	30%	－	60	17 (▲1)	29% (▲1%)	－ －
奈良	11	－	－	－	10	－ －	－ －	－ －
和歌山	2	0	1%	－	2	－ －	－ －	－ －
鳥取	25	16	66%	－	26	2 (▲14)	8% (▲58%)	－ －
島根	35	－	－	－	33	－ －	－ －	－ －
岡山	55	6	10%	－	39	－ －	－ －	－ －
広島	35	0	1%	－	36	22 (+22)	61% (+60%)	－ －
山口	38	0	1%	0	41	19 (+19)	47% (+46%)	0 (▲0)
徳島	16	2	14%	－	16	4 (+1)	23% (+9%)	－ －
香川	20	19	99%	7	20	－ －	－ －	－ －
愛媛	16	－	－	－	16	7 －	44% －	－ －
高知	10	－	－	－	12	－ －	－ －	－ －
福岡	59	1	2%	－	63	1 (▲0)	2% (▲1%)	－ －
佐賀	37	28	77%	－	35	14 (▲15)	39% (▲38%)	12 －
長崎	11	7	64%	－	10	7 (+0)	76% (+12%)	－ －
熊本	58	－	－	－	57	－ －	－ －	－ －
大分	18	2	10%	0	20	4 (+3)	23% (+13%)	1 (+1)
宮崎	26	－	－	－	26	－ －	－ －	－ －
鹿児島	21	－	－	－	21	－ －	－ －	－ －
沖縄	1	－	－	－	1	－ －	－ －	－ －
全 国	3,451	1,001	29%	736	3,504	1,115 (+114)	32% (+3%)	745 (+8)

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、年間の玄米仕入数量が500トン以上の出荷業者。

2 仕入計画数量は、卸売業者や小売業者等へ独自に販売を行う米穀の生産年の3月末時点の仕入（集荷）計画数量（見込含む）として調査。

3 播種前契約は、生産年の3月末までに締結した事前契約（確認書等により販売数量が決定しているもの。）をいう。

4 複数年契約は、播種前契約のうち、複数年にわたる契約をいう。

5 ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

6 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

4 水田における作付意向について (令和6年産第2回中間的取組状況(令和6年4月末時点))

- 農林水産省では産地・生産者が主体的に作付を判断し、需要に応じた生産・販売を行うことができるよう、都道府県別の作付意向を聞き取り、公表。
- 5年産実績との比較による各都道府県の主食用米の作付意向は、4月末時点では、増加傾向11県、前年並み25県、減少傾向11県。1月末時点と比較して、増加傾向が5県から11県に増加。
- 戦略作物については、加工用米、新市場開拓用米（輸出用米等）、米粉用米、WCS用稲及び麦において増加傾向又は前年並みとしている県が多い一方、飼料用米については、前年並み又は減少傾向とする県が多い。

(1) 令和6年産米等の作付意向 (前年産実績との比較、令和6年4月末時点)

下段〔 〕は1月末時点の作付意向

	主食用米	戦略作物							備蓄米
		加工用米	新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉用米	飼料用米	WCS用稲 (稲発酵粗 飼料用稲)	麦	大豆	
前年より 増加傾向	11県 〔5県〕	20県 〔17県〕	26県 〔19県〕	20県 〔17県〕	1県 〔3県〕	25県 〔18県〕	24県 〔17県〕	7県 〔5県〕	5県 〔2県〕
前年並み	25県 〔30県〕	10県 〔18県〕	6県 〔17県〕	9県 〔22県〕	9県 〔17県〕	15県 〔23県〕	10県 〔16県〕	12県 〔19県〕	5県 〔10県〕
前年より 減少傾向	11県 〔11県〕	14県 〔8県〕	6県 〔1県〕	16県 〔5県〕	36県 〔25県〕	6県 〔4県〕	11県 〔11県〕	26県 〔20県〕	21県 〔18県〕

注1：令和6年産の意向（増加傾向、前年並み、減少傾向）は、5年産実績との比較。
2：比較している主食用米の5年産実績は、令和5年12月統計部公表の主食用作付面積。
3：加工用米、新市場開拓用米、米粉用米、飼料用米及びWCS用稲の5年産実績は、取組計画認定面積。
4：麦・大豆の5年産実績は、地方農政局等が令和5年9月30日時点で都道府県再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。
5：備蓄米の5年産実績は、地域農業再生協議会が把握した面積。

(2) 水田における作付意向について（都道府県別） （令和6年産第2回中間的取組状況（令和6年4月末時点））

都道府県	主食用米			戦略作物												備蓄米	
	5年産実績	6年産意向(対前年実績)		加工用米		新市場開拓用米 (輸出用米等)		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 (稲免耕稲飼料用稲)		麦		大豆	
		4月末時点 (今回公表)	1月末時点 (前回公表)	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)	5年産実績	6年産意向 (対前年実績)
全国計	124.2万			48,797		9,091		7,587		133,925		53,055		104,526		87,973	
北海道	82,200	↗	↗	6,920	↘	1,974	↗	143	↘	6,788	↘	1,594	↗	33,869	↘	17,865	↘
青森	33,800	↗	↗	787	↘	321	↗	12	↗	7,930	↘	788	↗	561	↘	4,801	↘
岩手	42,800	→	→	1,283	→	417	↗	30	↘	5,739	↘	2,396	↗	3,491	↗	4,196	↘
宮城	57,200	↗	→	626	↗	894	↗	103	↗	9,801	↘	2,757	↗	2,186	↗	9,525	→
秋田	69,900	→	→	8,264	↗	500	↗	329	↗	4,265	↘	1,235	↗	182	↘	8,701	→
山形	52,400	→	→	4,516	→	440	↗	112	↘	5,138	↘	1,239	↗	73	↗	4,655	↘
福島	53,100	↗	→	448	↘	142	↗	12	↗	11,722	↘	1,079	↗	333	↗	907	→
茨城	57,800	↗	→	947	↗	762	↗	55	↗	13,886	↘	653	↘	4,037	↗	776	↘
栃木	47,200	↗	↘	1,513	↗	70	↘	1,418	↘	15,069	↘	2,177	↗	7,442	↗	419	↘
群馬	12,400	↗	→	1,389	↘	0	↗	168	↘	1,661	↘	621	↘	2,185	↗	118	↗
埼玉	27,500	→	→	144	↗	52	↗	769	↗	3,605	↘	124	↘	1,877	↗	383	↗
千葉	45,800	↗	→	1,672	↗	35	↗	135	↗	10,154	↘	1,316	↘	440	↘	262	↘
東京	111	→	→	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	2,850	→	→	-	-	-	-	-	-	13	→	2	→	4	→	6	→
新潟	100,600	→	→	7,093	↘	1,586	↗	1,784	↘	4,032	↘	533	↗	189	↗	3,996	↘
富山	31,200	→	→	1,220	↘	342	↗	266	↗	2,096	↘	480	↗	2,834	→	4,165	↘
石川	20,800	→	-	481	↗	65	↗	371	↘	1,131	↘	127	↗	1,198	↗	981	→
福井	21,500	↗	↗	322	↗	132	↗	213	↗	1,976	↘	160	→	5,210	↘	76	→
山梨	4,660	↘	↘	62	→	-	-	29	↘	21	↘	18	↗	62	→	99	→
長野	29,300	→	→	733	↘	245	↗	24	↗	429	↘	265	↗	2,543	↘	670	↘
岐阜	19,700	→	→	741	↗	78	↗	65	↗	3,496	↘	303	↘	3,689	↗	359	→
静岡	15,000	→	→	105	↘	1	→	8	↘	1,011	↘	330	→	244	↗	38	↗
愛知	24,700	↗	→	573	↗	44	↗	278	↗	2,040	↘	182	→	5,646	→	70	↘
三重	24,900	→	→	168	↗	54	↘	95	↘	2,426	→	303	→	7,050	↗	188	↘
滋賀	27,000	→	↗	608	↘	205	↗	58	↗	2,033	↘	310	↗	8,222	↗	591	↗
京都	13,200	→	→	551	→	25	↘	10	→	133	↘	158	→	290	→	266	→
大阪	4,430	↘	↘	0	↗	-	-	5	→	6	↘	4	↗	2	↗	8	↗
兵庫	32,500	↘	→	674	→	185	↗	48	↘	819	→	972	↗	1,931	→	1,658	↗
奈良	8,200	→	→	19	→	-	-	36	→	50	→	43	→	68	→	22	→
和歌山	5,780	→	→	-	-	-	-	1	→	3	→	4	↘	4	↘	11	↘
鳥取	11,700	→	→	25	↘	33	↗	0	↗	821	↘	392	↗	68	↗	619	↘
島根	15,900	↘	↘	252	↘	2	→	7	↘	804	↘	745	↗	281	↘	629	↘
岡山	26,900	↘	↘	295	↘	189	→	120	↘	1,824	↘	475	↗	1,269	→	1,116	↘
広島	20,500	→	→	351	→	44	↗	96	↗	443	→	708	→	318	↘	226	↘
山口	16,000	↘	↘	976	→	86	→	43	↘	1,108	↘	410	↗	711	↗	816	↘
徳島	9,480	↗	→	20	↗	40	→	11	↗	1,007	↘	247	→	55	↗	7	↘
香川	10,100	↘	↘	48	↗	28	↗	7	→	195	↗	269	↗	1,322	↗	39	↘
愛媛	12,800	→	→	34	↗	-	-	6	→	344	↘	217	↗	430	↗	313	↗
高知	10,200	→	→	84	↗	-	-	18	→	1,135	→	321	→	5	→	54	→
福岡	32,300	→	↗	224	↗	12	↗	322	↗	2,475	↘	2,068	↗	1,140	↘	7,773	→
佐賀	21,700	→	→	406	↘	8	→	19	↘	829	↘	2,246	→	1,411	↗	6,241	↘
長崎	10,000	↘	↘	6	→	10	↘	4	↗	117	→	1,549	→	78	↘	256	↘
熊本	28,900	→	→	672	→	41	↘	309	→	1,646	↘	9,167	→	795	→	2,238	↘
大分	18,100	↘	↘	148	↗	2	↗	13	↘	1,932	↘	2,758	→	693	↗	1,317	↘
宮崎	12,700	↘	↘	1,978	↗	22	↗	22	↗	887	↘	7,207	↗	18	↗	207	↘
鹿児島	15,800	↘	↘	1,389	↗	1	↘	12	↗	880	↘	4,081	→	75	↗	310	↘
沖縄	544	→	→	30	↗	-	-	2	→	3	→	22	↗	-	-	-	-

- 注1: 主食用米、戦略作物及び備蓄米の「6年産意向(対前年実績)」は、5年産実績と比較し、「↗: 増加傾向」(1%超増加)、「→: 前年並み」(増減1%以内)、「↘: 減少傾向」(1%超減少)で分類。
- 2: 主食用米の5年産実績は、令和5年12月統計部公表の主食用作付面積。
- 3: 加工用米、新市場開拓用米、米粉用米、飼料用米及びWCS用稲の5年産実績は、取組計画認定面積。
- 4: 麦・大豆の5年産実績は、地方農政局等が令和5年9月30日時点で都道府県再生協議会等に聞き取った面積(基幹作)。
- 5: 備蓄米の5年産実績は、地域農業再生協議会が把握した面積。

4 消費の動向

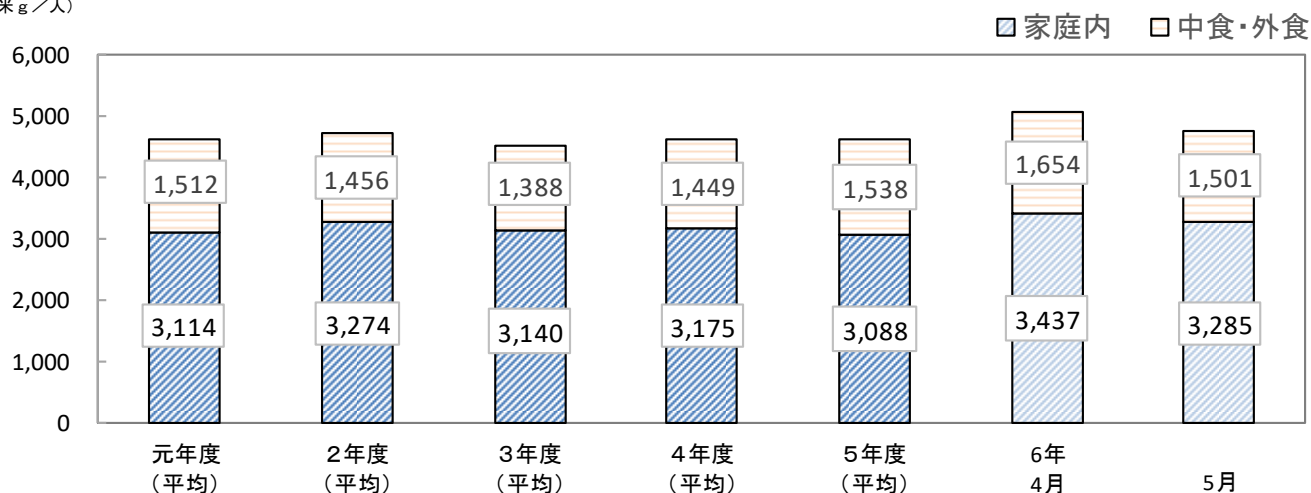
1 米の消費動向（米穀機構による調査）

調査結果の概要につきましては、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。
【 <https://www.komenet.jp/> 】

- 米穀機構が公表している「米の消費動向調査」（令和6年5月分）によると、1人1ヵ月当たりの精米消費量は、対前年同月比＋1.6%。
- このうち、家庭内での消費量は対前年同月比＋4.3%、中食・外食では▲3.9%。

（1）1人1ヵ月当たり精米消費量

（精米g／人）



（精米g／人、%）

	精米消費量（g）					内訳比率（%）					前年同月比（%）				
	合計					合計					合計				
		家庭内	中・外食	中食	外食		家庭内	中・外食	中食	外食		家庭内	中・外食	中食	外食
令和元年度	4,626	3,114	1,512	885	627	100.0	67.3	32.7	19.1	13.6	4.5	0.5	14.0	13.1	15.3
2年度	4,730	3,274	1,456	954	502	100.0	69.2	30.8	20.2	10.6	2.2	5.1	▲3.7	7.8	▲19.9
3年度	4,529	3,140	1,388	906	482	100.0	69.3	30.6	20.0	10.6	▲4.2	▲4.1	▲4.7	▲5.0	▲4.0
4年度	4,625	3,175	1,449	918	531	100.0	68.6	31.3	19.8	11.5	2.1	1.1	4.4	1.3	10.2
5年度	4,626	3,088	1,538	963	574	100.0	66.8	33.2	20.8	12.4	0.0	▲2.7	6.1	4.9	8.1
令和6年 4月	5,091	3,437	1,654	1,007	647	100.0	67.5	32.5	19.8	12.7	2.6	2.3	3.1	▲0.6	9.5
5月	4,785	3,285	1,501	900	601	100.0	68.7	31.4	18.8	12.6	1.6	4.3	▲3.9	▲8.8	4.5

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注1：令和6年5月分の有効調査世帯数は1,655世帯。

注2：令和元～5年度は各年4月から翌年3月までの平均値である。

注3：調査対象世帯の入れ替えや補充による調査結果の補正は行っていないため、調査結果の経年比較等の際には、留意が必要である。

注4：家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握、中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計。

注5：集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が令和元～令和3年度は平成27年国勢調査、令和4～6年度は令和2年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うようウェイトバック集計を実施した上で推計。

注6：四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

- ・ 精米購入時の動向について、入手経路は「スーパーマーケット」が最も多く、次いで「家族・知人などから無償で入手」、「ドラッグストア」の順となっている。
- ・ 精米購入経路別の購入単価は、「デパート」が最も高く、次いで、「インターネットショップ」、「米穀専門店」の順となっている※。
※購入割合が有効調査世帯数の1%に満たない精米購入経路を除いた順である。
- ・ 令和6年5月の家庭内の月末在庫数量は、5.7kgとなっている。

(2) 精米購入時の動向

(ア) 入手経路(複数回答)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウストア	コンビニエンスストア	生協(店舗・共同購入含む)	農協(店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	家族・知人などから無償で入手	その他	有効調査世帯数
令和元年度	1.0	50.1	5.9	3.2	0.2	5.9	1.3	2.4	1.0	5.9	8.1	17.8	3.4	－
令和2年度	1.5	49.8	5.7	3.9	0.3	7.0	1.1	2.4	1.1	5.0	9.7	15.2	4.1	－
令和3年度	1.6	50.5	6.6	3.9	0.2	6.3	0.8	2.3	1.2	5.5	8.6	15.0	4.3	－
令和4年度	1.2	50.1	5.5	4.8	0.4	6.0	1.0	2.3	1.4	4.6	8.9	15.3	4.4	－
令和5年度	1.4	50.1	6.9	4.4	0.3	5.2	1.0	2.4	1.9	4.8	8.6	15.3	4.6	－
令和6年4月	0.9	53.1	10.4	3.5	0.3	5.0	1.0	2.5	1.7	5.3	7.8	11.7	2.9	1,023
5月	1.5	52.5	9.0	3.1	0.1	6.0	1.4	2.9	2.3	4.0	8.3	12.0	3.4	1,016

注：令和元～5年度は各年4月から翌年3月までの平均値。

(イ) 精米購入経路別の購入単価(複数回答)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウストア	コンビニエンスストア	(生協)店舗・共同購入	(農協)店舗・共同購入	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	有効調査世帯数
令和3年度	541	373	357	315	※612	412	※417	485	451	358	471	－
令和4年度	505	371	328	313	※466	395	393	468	424	347	437	－
令和5年度	498	400	361	325	※427	414	406	515	435	338	513	－
令和6年4月	※452	416	366	383	※441	384	379	523	388	325	566	1,799
5月	659	410	403	349	※678	454	415	556	393	357	607	1,655

- 注：1 デパート、スーパーマーケット、生協は、実店舗の購入単価であり、インターネットを利用した購入は含まない。
 2 購入単価は消費税を除く本体価格である。
 3 表中の※付きの単価は、当該経路での購入割合が有効調査世帯数の1%に満たないため参考値とする。
 4 令和3～5年度は4月から翌年3月までの平均値である。

(ウ) 家庭内の月末在庫数量

(kg/世帯、%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年比
令和 元年度	月末在庫数量	6.0	6.2	5.9	5.7	6.0	6.2	6.2	6.5	6.6	6.3	6.3	6.5	6.2	▲3.1
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.33	—
2年度	月末在庫数量	7.1	6.5	6.6	6.2	6.0	6.3	6.4	6.8	6.7	6.6	6.5	6.4	6.5	4.8
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	—
3年度	月末在庫数量	6.2	6.1	5.8	5.8	5.7	6.2	6.9	7.1	6.9	6.8	6.8	6.7	6.4	▲1.5
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.33	—
4年度	月末在庫数量	6.6	6.6	6.4	6.5	6.4	6.3	6.6	6.8	7.0	6.8	6.5	6.6	6.6	3.1
	平均世帯人員	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.22	2.22	2.22	2.22	2.22	2.22	2.22	—
5年度	月末在庫数量	6.0	6.1	6.1	6.0	5.8	5.8	5.9	6.0	6.1	6.0	5.9	5.6	5.9	▲10.6
	平均世帯人員	2.21	2.21	2.21	2.21	2.22	2.22	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	—
6年度	月末在庫数量	5.9	5.7											5.8	▲1.7
	平均世帯人員	2.21	2.21											2.21	—

注：1 地域ごとの世帯人員構成比が令和元～令和3年度は平成27年国勢調査、令和4～6年度は令和2年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うようウェイトバック集計を実施した上で集計した。

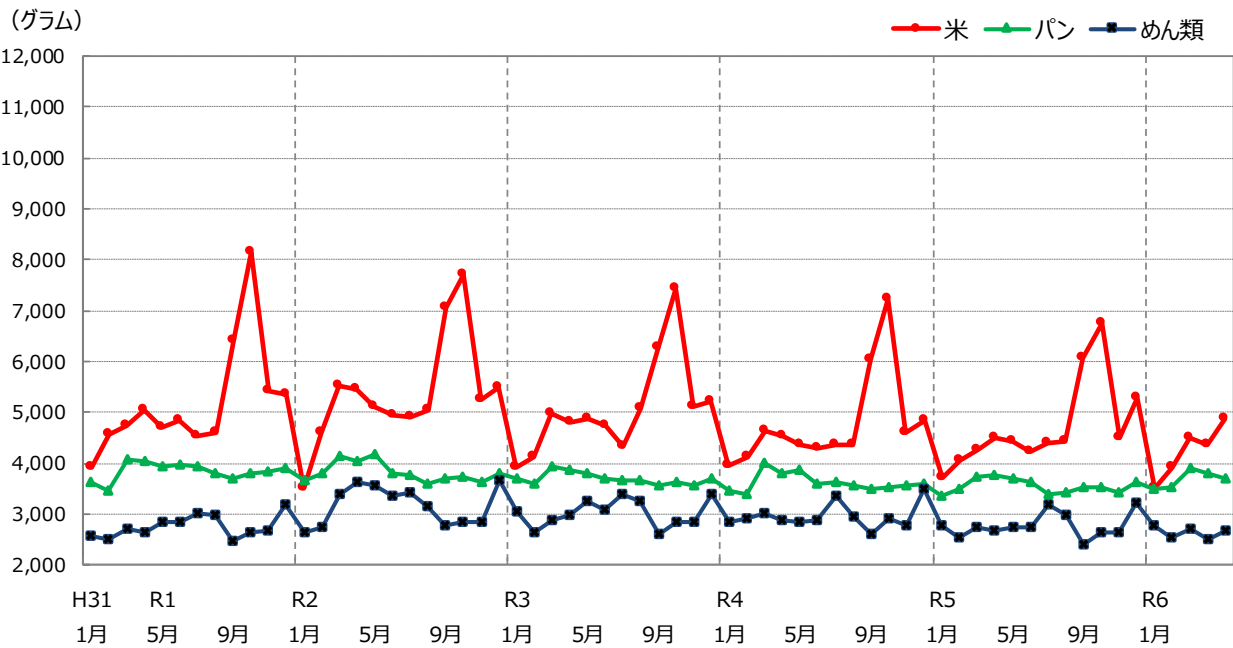
注：2 平均世帯人員は、各月の有効調査世帯の平均人員数である。

2 購入数量・支出金額の推移（家計調査）

家計調査、消費者物価指数、小売物価統計の累年データについては、総務省統計局HPから御覧いただけます。【 <https://www.stat.go.jp/data/index.html> 】

- 総務省が公表している家計調査によると、令和6年5月の米の購入数量は、対前年同月比+9.4%の4.9kg、パンは▲0.3%の3.7kg、めん類は▲2.3%の2.7kg。

1世帯当たり1か月間の購入数量の推移



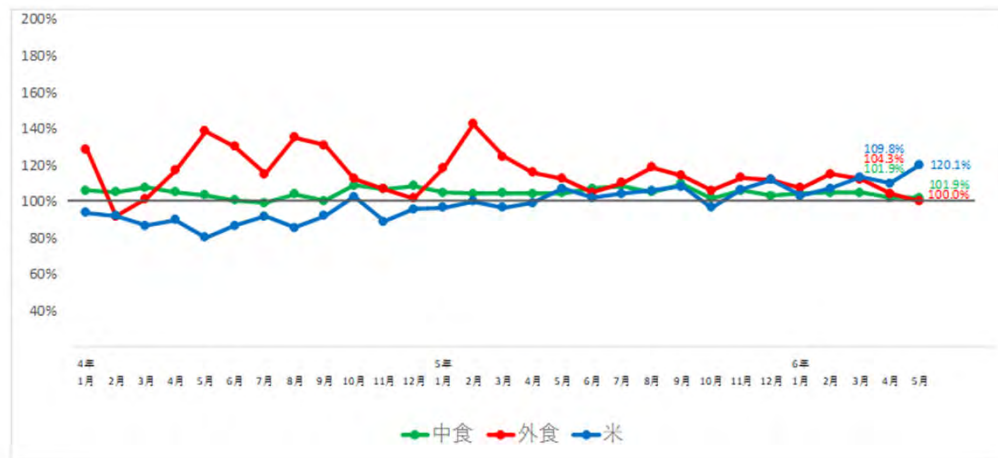
(グラム)

	米		パン		めん類	
	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比
令和元年	62,200	94.6%	46,011	103.3%	33,169	97.9%
2年	64,530	103.7%	45,857	99.7%	38,021	114.6%
3年	60,800	94.2%	44,345	96.7%	36,208	95.2%
4年	57,380	94.4%	43,571	98.3%	35,557	98.2%
5年	56,650	98.7%	42,680	98.0%	33,345	93.8%
令和6年 1月	3,520	94.6%	3,502	103.9%	2,773	99.2%
2月	3,920	96.6%	3,546	101.2%	2,555	100.0%
3月	4,490	105.6%	3,894	104.0%	2,721	99.6%
4月	4,380	97.1%	3,814	101.4%	2,515	94.1%
5月	4,870	109.4%	3,685	99.7%	2,678	97.7%

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯
注1：米は精米ベースである。

- 総務省が公表している家計調査によると、1世帯当たり1か月間の令和6年5月の中食の支出金額は、対前年同月比+1.9%、外食は±0.0%。

1世帯当たり1か月間の支出金額の推移（前年同月比）



	穀類	中食 (主食的調理食品)					弁当 (弁当)	すし (弁当)	おにぎり・その他	調理パン	他の主食的調理食品
		米	パン	麺類	他の穀類	中食					
4年 1月	97.5%	93.7%	99.6%	98.7%	94.3%	106.0%	102.9%	104.3%	112.1%	114.2%	106.4%
2月	101.1%	92.1%	102.3%	107.6%	104.7%	105.1%	101.6%	104.6%	105.5%	107.5%	108.1%
3月	98.8%	86.6%	103.2%	104.0%	104.5%	107.6%	104.8%	105.1%	107.0%	108.0%	112.9%
4月	97.6%	89.8%	100.8%	99.6%	101.3%	105.0%	104.3%	105.8%	109.9%	99.6%	105.7%
5月	93.9%	80.1%	102.2%	95.7%	92.1%	103.3%	98.8%	102.1%	111.9%	96.9%	109.8%
6月	95.9%	86.6%	103.7%	94.8%	91.6%	100.5%	98.5%	95.1%	105.9%	103.7%	104.6%
7月	100.2%	91.9%	104.1%	101.1%	104.8%	99.2%	90.8%	97.9%	105.1%	98.9%	108.6%
8月	98.6%	85.6%	105.0%	102.6%	98.2%	104.0%	103.6%	101.0%	107.1%	102.7%	106.7%
9月	99.2%	91.9%	103.1%	101.9%	104.6%	100.1%	100.1%	92.3%	105.5%	96.7%	106.5%
10月	105.8%	102.4%	107.5%	107.3%	109.1%	108.7%	107.7%	106.8%	112.7%	108.1%	110.2%
11月	101.5%	88.9%	107.7%	105.1%	105.6%	106.8%	106.7%	101.2%	112.6%	105.5%	109.7%
12月	103.0%	95.6%	104.9%	109.4%	100.2%	108.4%	105.3%	107.7%	112.1%	104.6%	111.8%
5年 1月	102.8%	96.7%	105.5%	104.0%	102.8%	104.8%	105.3%	96.6%	113.2%	106.4%	109.1%
2月	100.0%	100.1%	102.8%	96.2%	96.7%	104.3%	100.2%	103.6%	116.7%	106.7%	105.0%
3月	100.3%	96.6%	102.8%	99.4%	100.9%	104.4%	104.3%	103.7%	111.0%	106.5%	102.4%
4月	102.6%	99.1%	103.1%	103.6%	109.0%	104.3%	99.8%	105.6%	113.9%	110.8%	102.6%
5月	103.8%	107.1%	102.2%	103.0%	107.0%	104.6%	105.4%	98.3%	118.5%	110.4%	103.2%
6月	103.3%	102.0%	104.8%	101.3%	107.5%	107.0%	105.9%	106.1%	121.0%	102.2%	106.8%
7月	104.1%	104.1%	103.0%	106.8%	98.1%	108.4%	108.4%	106.1%	114.2%	105.6%	109.3%
8月	104.4%	105.9%	103.0%	107.2%	95.2%	105.1%	100.5%	101.2%	121.5%	103.0%	109.0%
9月	103.8%	108.3%	103.9%	101.2%	91.4%	109.7%	103.7%	116.9%	118.4%	111.4%	107.3%
10月	100.9%	96.7%	105.0%	102.7%	92.3%	101.8%	98.7%	97.8%	108.0%	102.2%	105.6%
11月	106.0%	106.6%	106.4%	105.8%	102.6%	105.8%	102.3%	103.7%	108.4%	106.7%	109.6%
12月	105.9%	111.9%	108.3%	101.3%	99.9%	103.1%	102.2%	99.9%	108.4%	107.8%	104.2%
6年 1月	103.2%	103.0%	105.2%	101.7%	98.1%	104.3%	101.0%	107.0%	103.8%	101.6%	106.2%
2月	106.8%	107.2%	107.3%	105.7%	107.1%	104.8%	100.3%	102.4%	109.1%	108.5%	109.3%
3月	108.8%	113.3%	107.2%	108.5%	105.6%	104.7%	96.5%	100.2%	112.5%	101.0%	116.2%
4月	103.6%	109.8%	103.0%	100.2%	96.9%	101.9%	99.9%	96.4%	104.7%	103.3%	106.8%
5月	105.7%	120.1%	100.8%	101.8%	100.3%	101.9%	99.2%	100.2%	102.9%	103.9%	104.7%

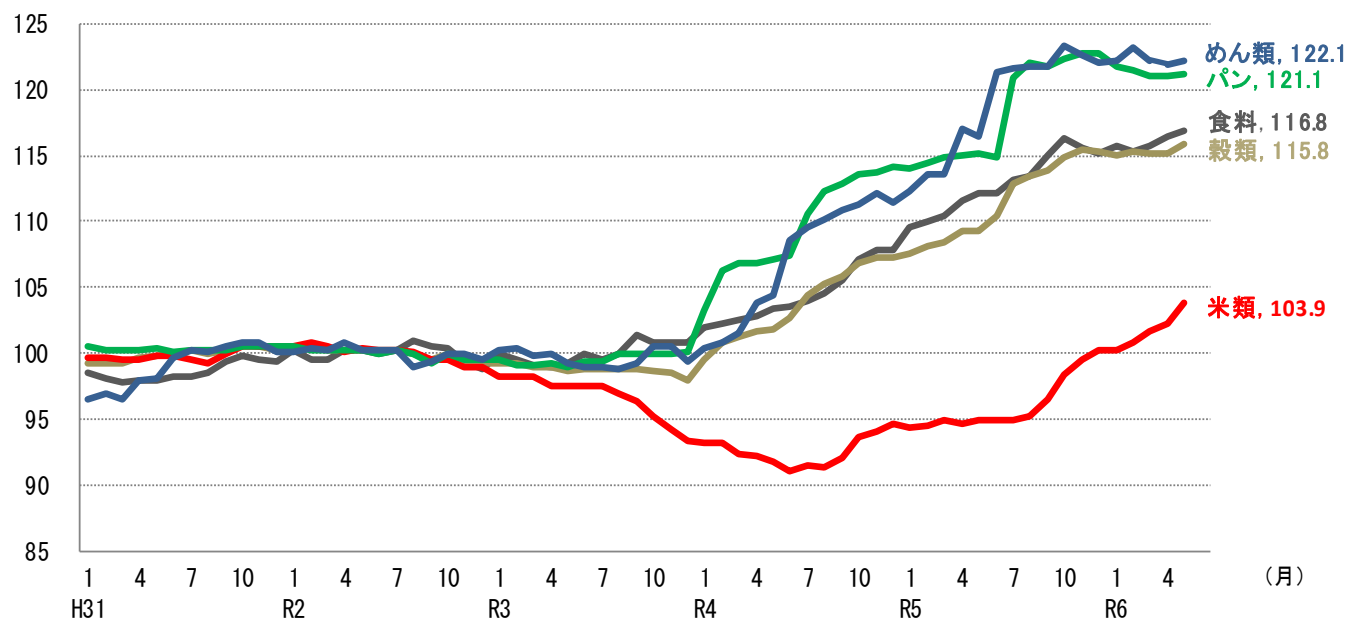
	外食 (食事代)	外食									
		日本そば、 うどん	中華そば	他の麺 類外食	すし (外食)	和食	中華食	洋食	焼肉	ハンバー ガー	他の主食 的外食
4年 1月	128.6%	128.6%	122.5%	119.3%	119.3%	142.6%	131.5%	129.8%	162.6%	97.1%	128.6%
2月	91.8%	99.1%	98.2%	89.3%	82.6%	90.5%	90.5%	94.0%	69.1%	112.2%	93.7%
3月	101.3%	107.4%	102.5%	124.2%	98.8%	99.9%	98.2%	100.1%	92.1%	105.9%	102.6%
4月	117.1%	126.8%	98.3%	120.7%	103.5%	116.5%	116.7%	114.5%	111.0%	109.3%	127.1%
5月	138.4%	134.8%	121.2%	140.5%	112.6%	138.1%	129.3%	164.5%	220.4%	91.4%	146.7%
6月	130.1%	126.8%	115.7%	121.6%	111.9%	132.0%	117.0%	129.8%	133.9%	95.8%	145.7%
7月	115.1%	108.5%	106.6%	128.8%	108.6%	110.4%	103.8%	130.7%	101.6%	103.6%	123.3%
8月	135.1%	136.5%	134.0%	165.6%	118.9%	133.5%	121.9%	145.9%	145.8%	100.6%	144.9%
9月	130.8%	125.3%	125.5%	120.4%	118.0%	133.1%	107.2%	140.0%	179.4%	90.2%	139.4%
10月	112.3%	116.2%	129.9%	116.3%	107.5%	122.4%	112.7%	106.8%	105.9%	104.6%	109.6%
11月	106.9%	110.2%	106.8%	106.3%	104.1%	104.2%	113.0%	117.2%	102.5%	110.0%	106.1%
12月	101.7%	107.8%	112.6%	93.1%	102.8%	101.9%	103.6%	100.9%	98.3%	117.2%	98.3%
5年 1月	118.3%	114.1%	137.4%	119.3%	109.2%	117.2%	103.9%	137.3%	119.9%	115.7%	118.1%
2月	142.4%	137.4%	142.5%	142.7%	129.2%	143.9%	135.8%	147.1%	204.6%	97.5%	147.9%
3月	124.6%	127.2%	127.7%	119.5%	115.4%	126.8%	125.6%	127.0%	108.0%	98.6%	132.1%
4月	115.8%	115.4%	130.8%	125.4%	103.8%	110.6%	134.5%	121.8%	127.7%	108.5%	115.7%
5月	112.4%	110.3%	125.1%	106.3%	111.0%	114.4%	110.3%	108.0%	100.5%	100.7%	115.8%
6月	104.7%	111.7%	120.2%	108.9%	100.9%	107.4%	106.3%	106.8%	114.6%	101.3%	99.9%
7月	110.0%	119.7%	122.2%	116.9%	110.0%	112.6%	118.7%	119.0%	119.6%	104.1%	102.4%
8月	118.8%	122.1%	117.0%	134.9%	112.4%	121.8%	119.6%	122.4%	130.8%	100.7%	118.0%
9月	114.0%	105.8%	116.9%	123.5%	112.9%	117.7%	124.0%	121.2%	111.1%	110.2%	111.4%
10月	106.0%	103.5%	107.5%	104.1%	99.6%	108.0%	99.0%	112.9%	98.2%	107.9%	107.5%
11月	113.0%	113.7%	125.8%	113.2%	100.0%	117.1%	117.1%	109.9%	114.5%	107.4%	113.5%
12月	112.0%	111.9%	105.1%	116.9%	110.0%	104.4%	110.8%	117.8%	102.4%	101.3%	119.1%
6年 1月	107.3%	118.0%	109.9%	126.0%	93.6%	104.9%	122.5%	98.7%	115.1%	96.5%	112.5%
2月	115.1%	113.2%	116.8%	143.1%	106.6%	119.0%	112.9%	116.1%	131.8%	117.7%	111.4%
3月	112.3%	111.1%	115.9%	127.8%	100.1%	118.9%	104.3%	125.5%	132.2%	124.7%	105.4%
4月	104.3%	114.3%	107.1%	104.2%	102.7%	112.0%	99.1%	103.4%	81.9%	103.6%	104.2%
5月	100.0%	104.7%	103.3%	121.3%	90.5%	109.3%	100.5%	101.2%	85.0%	110.9%	97.5%

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯

注1：米は精米ベースである。

3 消費者物価指数の推移

・ 総務省が公表している消費者物価指数（令和2年基準）によると、令和6年5月の米類の指数は対前年同月比 +9.5%の103.9ポイント。



(令和2年=100、指数)

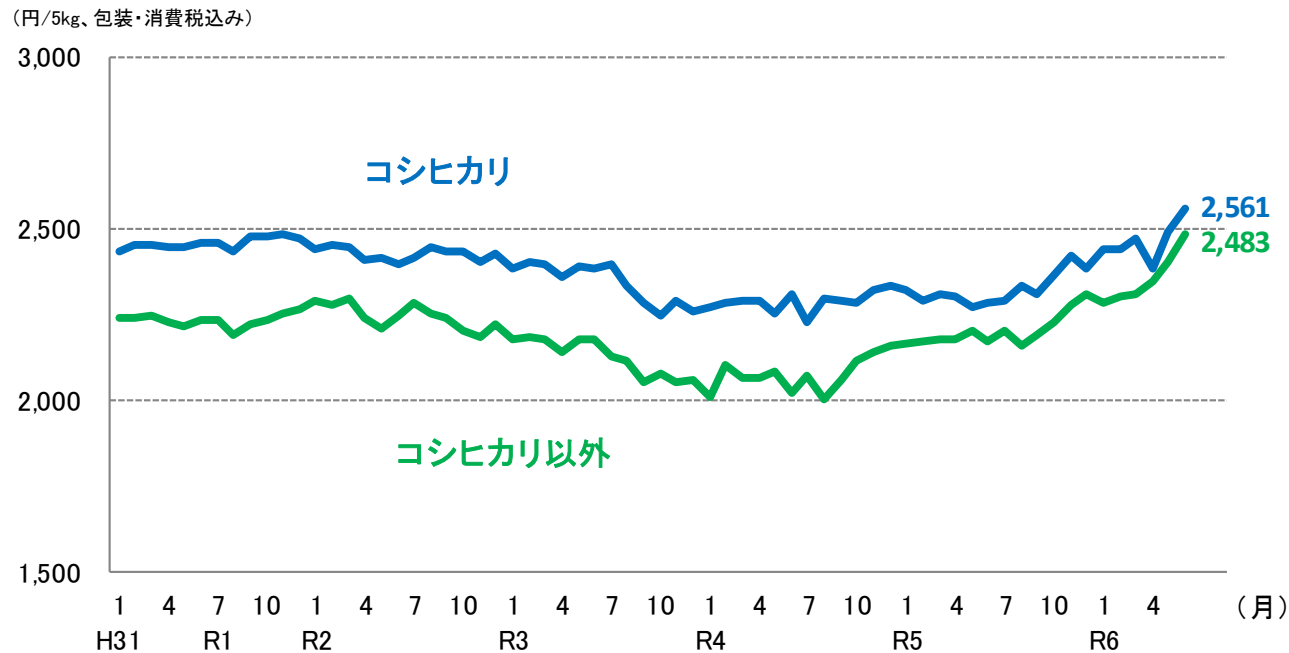
	食料		穀類		米類 (うるち米)		うるち米 (コシヒカリ)		パン	めん類
	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比		
令和元年 (平均)	98.7	0.4%	99.9	0.9%	99.9	0.2%	100.1	0.9%	100.3	99.1
2年 (平均)	100.0	1.4%	100.0	0.1%	100.0	0.1%	100.0	▲0.1%	100.0	100.0
3年 (平均)	100.0	0.0%	98.8	▲1.2%	96.8	▲3.2%	96.7	▲3.3%	99.5	99.7
4年 (平均)	104.5	4.5%	103.7	5.0%	92.6	▲4.3%	93.3	▲3.5%	109.6	107.1
5年 (平均)	112.9	8.1%	111.5	7.5%	96.1	3.8%	96.3	3.2%	118.4	118.9
令和6年 1月	115.7	5.7%	115.0	7.0%	100.3	6.2%	100.1	5.3%	121.8	122.1
2月	115.3	4.8%	115.3	6.6%	100.9	6.8%	100.2	5.3%	121.4	123.1
3月	115.7	4.8%	115.2	6.3%	101.7	7.2%	100.8	5.8%	121.0	122.2
4月	116.4	4.3%	115.1	5.3%	102.2	7.9%	100.8	5.8%	121.0	121.9
5月	116.8	4.1%	115.8	6.0%	103.9	9.5%	102.0	8.1%	121.1	122.1

資料：総務省「消費者物価指数」2020年基準、品目別価格指数（全国）

注1：食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。
注2：穀類は、米類（うるち米）、パン、めん類、他の穀類からなる。
注3：令和元年～5年のデータは年平均、6年は月次データである。

4 小売物価統計の推移

- 総務省が公表している小売物価統計によると、令和6年6月のうるち米の小売価格（5kg当たり）は、コシヒカリで対前年同月比+12.2%の2,561円。
- コシヒカリ以外の銘柄の平均では、対前年同月比+14.4%の2,483円。



(円/5kg、包装・消費税込み)

年平均	R1	R2	R3	R4	R5
コシヒカリ	2,457	2,426	2,344	2,288	2,323
前年比	0.2%	▲1.3%	▲3.4%	▲2.4%	1.5%
コシヒカリ以外	2,234	2,246	2,127	2,076	2,203
前年比	0.1%	0.5%	▲5.3%	▲2.4%	6.1%

月次(令和4年)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
コシヒカリ	2,272	2,287	2,290	2,292	2,253	2,308	2,227	2,294	2,292	2,284	2,323	2,336
前年同月比	▲4.6%	▲4.9%	▲4.5%	▲2.8%	▲5.8%	▲3.2%	▲7.1%	▲1.8%	0.2%	1.6%	1.5%	3.5%
コシヒカリ以外	2,010	2,103	2,068	2,067	2,086	2,020	2,072	2,004	2,061	2,114	2,143	2,161
前年同月比	▲7.8%	▲3.6%	▲5.0%	▲3.5%	▲4.3%	▲7.1%	▲2.8%	▲5.2%	0.3%	1.8%	4.4%	5.0%

月次(令和5年)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
コシヒカリ	2,319	2,292	2,306	2,303	2,271	2,283	2,289	2,333	2,310	2,367	2,422	2,386
前年同月比	2.1%	0.2%	0.7%	0.5%	0.8%	▲1.1%	2.8%	1.7%	0.8%	3.6%	4.3%	2.1%
コシヒカリ以外	2,165	2,169	2,177	2,177	2,201	2,171	2,205	2,162	2,188	2,225	2,279	2,311
前年同月比	7.7%	3.1%	5.3%	5.3%	5.5%	7.5%	6.4%	7.9%	6.2%	5.3%	6.3%	6.9%

月次(令和6年)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
コシヒカリ	2,440	2,441	2,470	2,384	2,490	2,561						
前年同月比	5.2%	6.5%	7.1%	3.5%	9.6%	12.2%						
コシヒカリ以外	2,283	2,300	2,306	2,347	2,403	2,483						
前年同月比	5.5%	6.0%	5.9%	7.8%	9.2%	14.4%						

資料：総務省「小売物価統計」動向編
注：東京都都区における精米価格である（7日以内の特売分を除く）。

5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向（速報）

- 米穀販売事業者における令和6年5月の販売数量は、対前年同月比で小売事業者向けが106%、中食・外食事業者等向けが103%で、全体としては105%となっている。
- なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じているが、令和元年5月の販売数量と比較すると108%となる。
- 前年同月を基準にした令和6年5月の販売価格の値動きは、小売事業者向け112.7、中食・外食事業者等向け113.7。

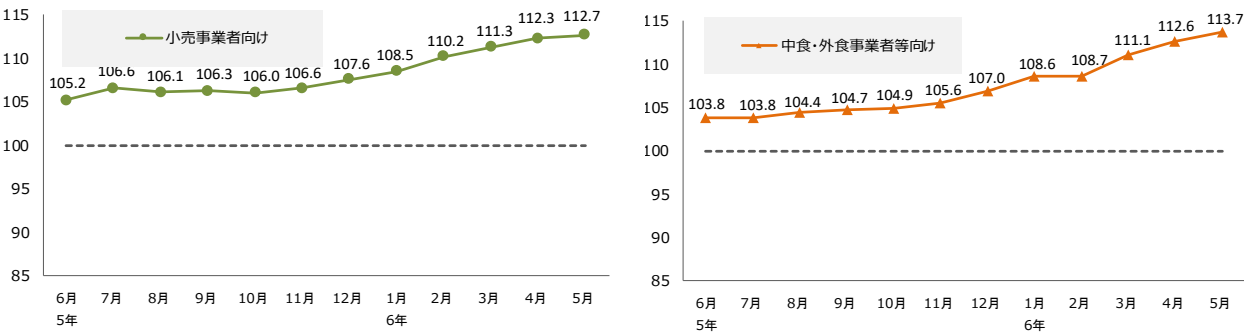
1 販売数量の動向（前年同月比）

	5年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5年1月 ～12月計
小売事業者向け	100%	101%	98%	101%	107%	100%	102%	104%	103%	105%	105%	104%	102%
(※令和元年との比較)	(104%)	(103%)	(102%)	(101%)	(108%)	(101%)	(99%)	(107%)	(100%)	(102%)	(104%)	(108%)	(103%)
中食・外食事業者等向け	103%	107%	103%	102%	106%	104%	107%	106%	105%	105%	105%	102%	105%
(※令和元年との比較)	(93%)	(94%)	(94%)	(95%)	(99%)	(99%)	(97%)	(97%)	(102%)	(100%)	(100%)	(98%)	(97%)
販売数量計	101%	104%	100%	101%	107%	102%	104%	105%	104%	105%	105%	103%	103%
(※令和元年との比較)	(99%)	(99%)	(98%)	(98%)	(104%)	(101%)	(98%)	(102%)	(101%)	(101%)	(102%)	(103%)	(101%)

	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年1月 ～12月計
小売事業者向け	106%	108%	107%	108%	106%								
(※令和元年との比較)	(110%)	(111%)	(108%)	(109%)	(114%)								
中食・外食事業者等向け	103%	106%	100%	99%	103%								
(※令和元年との比較)	(96%)	(100%)	(95%)	(94%)	(102%)								
販売数量計	105%	107%	104%	104%	105%								
(※令和元年との比較)	(103%)	(106%)	(102%)	(102%)	(108%)								

※令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じていることから、参考として令和元年（4月までは平成31年）の同月との比較をした値を記載。

2 販売価格の動向（前年同月の価格を基準にした値動き）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、年間玄米仕入数量50,000㌧以上の販売事業者である。

注2：上記の数値については、報告対象者が販売している精米の全体の価格・数量の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。

注3：速報値であるため、公表後の数値修正が生じる場合がある。

6 小売価格の推移（POSデータ）

うるち精米の主な銘柄の月別価格・販売数量

単位：円/5kg袋販売時換算（消費税込み）、トン

	販 売 価 格																販売数量	
	5年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	前月差	前年 同月差	6年 5月	5年6月 ～6年5月	
北海道 ななつぼし	1,909	1,917	1,917	1,902	1,877	1,955	1,966	1,940	2,034	2,044	2,090	2,111	2,098	▲ 13	+ 189	429	3,946	
北海道 ゆめびりか	2,259	2,186	2,193	2,200	2,235	2,288	2,357	2,408	2,446	2,469	2,502	2,538	2,524	▲ 14	+ 265	188	2,507	
北海道 ふっくりんこ	2,178	2,185	2,196	2,189	2,151	2,201	2,242	2,217	2,277	2,329	2,355	2,367	2,374	+ 7	+ 196	24	291	
北海道 きらら397	1,887	1,868	1,867	1,870	1,828	2,066	2,057	2,003	2,056	2,017	2,075	2,152	2,178	+ 26	+ 291	7	113	
北海道 きたりん	1,884	1,914	1,897	1,923	1,947	1,918	1,961	1,965	2,002	2,035	1,919	1,933	2,022	+ 89	+ 138	10	157	
青森 青天の霹靂	2,098	2,168	2,202	2,263	2,221	2,341	2,283	2,263	2,275	2,276	2,287	2,288	2,193	▲ 95	+ 95	34	310	
青森 まっしぐら	1,565	1,619	1,651	1,647	1,641	1,722	1,820	1,818	1,810	1,782	1,808	1,871	1,956	+ 85	+ 391	29	364	
青森 つがるロマン	1,801	1,806	1,819	1,826	1,807	1,990	2,021	2,005	1,966	1,992	1,972	2,005	2,002	▲ 3	+ 201	6	158	
岩手 ひとめぼれ	1,847	1,835	1,829	1,852	1,810	1,979	2,035	2,055	2,063	2,060	2,022	2,021	2,045	+ 24	+ 198	90	661	
岩手 銀河のしずく	1,964	1,924	1,917	1,935	1,885	2,036	2,036	2,057	2,057	2,056	2,051	2,056	2,092	+ 36	+ 128	62	579	
宮城 ひとめぼれ	1,764	1,747	1,772	1,789	1,814	1,985	1,983	1,954	1,934	1,903	1,948	2,002	2,030	+ 28	+ 266	143	1,642	
宮城 つや姫	1,907	1,910	1,957	1,928	1,953	2,028	2,076	2,084	2,079	2,068	2,080	2,143	2,122	▲ 21	+ 215	34	248	
宮城 だて正夢	2,089	2,083	2,098	2,072	2,089	2,222	2,204	2,239	2,232	2,222	2,222	2,237	2,217	▲ 20	+ 128	17	137	
秋田 あきたこまち	1,872	1,840	1,846	1,855	1,871	1,968	2,000	2,017	2,011	2,031	2,058	2,039	2,112	+ 73	+ 240	211	2,165	
山形 つや姫	2,276	2,327	2,324	2,313	2,335	2,332	2,344	2,380	2,371	2,425	2,408	2,428	2,405	▲ 23	+ 129	104	991	
山形 はえぬき	1,656	1,669	1,674	1,668	1,574	1,672	1,698	1,689	1,691	1,767	1,780	1,843	1,941	+ 98	+ 285	59	874	
山形 雪若丸	1,945	1,942	1,853	1,871	1,990	2,052	2,048	2,007	1,989	2,005	2,039	2,102	2,093	▲ 9	+ 148	18	219	
茨城 コシヒカリ	1,611	1,668	1,626	1,634	1,814	1,903	1,906	1,926	1,970	1,862	1,887	2,056	2,112	+ 56	+ 501	47	810	
茨城 あきたこまち	1,653	1,677	1,709	1,731	1,802	1,772	1,820	1,816	1,813	1,858	1,716	1,897	1,970	+ 73	+ 317	13	260	
栃木 コシヒカリ	1,811	1,848	1,799	1,844	1,840	1,963	1,993	1,989	1,715	1,993	1,989	2,004	2,085	+ 81	+ 274	42	376	
栃木 とちぎの星	1,443	1,428	1,733	1,464	1,708	1,919	1,942	1,631	1,861	1,980	1,653	1,900	1,809	▲ 91	+ 366	28	210	
千葉 ふさおとめ	1,708	1,588	1,719	1,766	1,803	1,843	1,863	1,905	1,949	1,943	1,892	2,084	2,149	+ 65	+ 441	23	373	
千葉 コシヒカリ	1,822	1,809	1,826	1,853	1,993	1,998	1,989	1,992	2,054	2,034	2,047	2,137	2,235	+ 98	+ 413	28	343	
千葉 ふさこがね	1,536	1,637	1,658	1,577	1,599	1,709	1,728	1,730	1,750	1,744	1,714	1,844	1,896	+ 52	+ 360	12	150	
山梨 コシヒカリ	2,278	2,266	2,264	2,283	2,234	2,248	2,246	2,290	2,286	2,266	2,291	2,334	2,354	+ 20	+ 76	20	158	
長野 コシヒカリ	1,796	1,744	1,817	1,789	1,771	1,875	1,934	1,814	1,856	1,809	1,817	1,811	1,925	+ 114	+ 129	76	656	
新潟 コシヒカリ 一般	2,145	2,090	2,063	2,072	2,066	2,116	2,127	2,108	2,093	2,085	2,087	2,054	2,144	+ 90	▲ 1	341	2,912	
新潟 コシヒカリ 魚沼	2,601	2,633	2,622	2,590	2,614	2,660	2,689	2,593	2,582	2,667	2,727	2,653	2,644	▲ 9	+ 43	56	528	
新潟 コシヒカリ 佐渡	2,175	2,133	2,186	2,136	2,274	2,144	2,182	2,225	2,232	2,234	2,164	2,224	2,270	+ 46	+ 95	13	135	
新潟 みずほの輝き	1,876	1,883	1,901	1,949	1,946	1,949	1,982	1,987	1,996	1,992	2,051	2,101	2,123	+ 22	+ 247	64	740	
新潟 こしいぶき	1,754	1,684	1,699	1,715	1,769	1,930	1,953	1,913	1,867	1,759	1,880	2,032	2,130	+ 98	+ 376	22	360	
新潟 新之助	2,344	2,426	2,406	2,433	2,420	2,532	2,455	2,502	2,380	2,448	2,692	2,671	2,637	▲ 34	+ 293	25	332	
富山 コシヒカリ	1,929	1,926	1,912	1,925	1,970	2,027	1,977	2,040	2,039	2,060	2,027	2,088	2,076	▲ 12	+ 147	127	1,363	
富山 てんたくく	1,836	1,897	1,830	1,930	1,919	1,987	1,972	1,850	1,969	1,895	2,000	1,996	2,053	+ 57	+ 217	17	152	
石川 コシヒカリ	1,928	1,893	1,933	1,928	2,055	2,039	2,051	2,032	2,018	1,997	2,000	2,028	2,059	+ 31	+ 131	62	776	
石川 ひやくまん穀	2,082	2,078	2,082	2,078	2,072	2,103	2,108	2,102	2,103	2,113	2,115	2,113	2,124	+ 11	+ 42	29	316	
石川 ゆめみづほ	1,853	1,920	1,909	1,948	1,949	1,828	1,840	1,945	1,836	1,858	1,836	1,867	1,874	+ 7	+ 21	17	180	
福井 ハナエチゼン	1,748	1,771	1,801	1,874	1,762	1,472	1,308	1,280	1,543	1,455	1,698	1,831	2,033	+ 202	+ 285	6	185	
福井 いちほまれ	2,182	2,169	2,183	1,986	2,204	2,278	2,265	2,179	2,273	2,285	2,291	2,302	2,300	▲ 2	+ 118	20	236	
福井 コシヒカリ	1,950	1,888	1,896	1,981	2,081	2,039	2,070	2,077	2,056	2,108	2,113	2,049	2,014	▲ 35	+ 64	19	168	
愛知 コシヒカリ	2,015	2,032	1,964	1,946	2,016	2,041	2,121	2,096	2,096	2,008	2,120	2,210	2,258	+ 48	+ 243	9	203	
三重 コシヒカリ 一般	1,835	1,839	1,781	1,815	1,914	1,893	1,861	1,891	1,874	1,977	1,955	2,015	2,063	+ 48	+ 228	32	368	
三重 コシヒカリ 伊賀	1,972	1,968	1,970	2,050	2,077	2,111	2,082	2,117	2,131	2,107	2,120	2,104	2,178	+ 74	+ 206	24	265	
滋賀 みずかがみ	1,924	1,940	2,014	1,996	1,984	1,943	1,949	2,015	2,028	2,032	2,267	2,378	2,414	+ 36	+ 490	5	139	
徳島 あきさかり	1,765	1,736	1,782	1,739	1,810	1,841	1,781	1,790	1,822	1,789	1,979	2,014	2,025	+ 11	+ 260	4	88	
愛媛 コシヒカリ	1,965	1,945	1,939	1,947	2,056	2,059	2,063	2,083	2,079	2,085	2,121	2,121	2,144	+ 23	+ 179	11	115	
福岡 元氣つくし	1,940	1,952	1,885	1,891	1,995	2,056	2,029	2,011	2,095	2,094	2,045	2,071	2,131	+ 60	+ 191	40	338	
福岡 夢つくし	1,798	1,824	1,812	1,873	1,923	1,975	1,915	2,001	2,048	1,965	2,061	2,119	2,157	+ 38	+ 359	18	197	
佐賀 夢しずく	1,787	1,813	1,810	1,824	1,836	1,892	1,893	1,918	1,941	1,916	1,895	1,946	1,979	+ 33	+ 192	23	197	
佐賀 さがびより	1,854	1,851	1,822	1,823	1,808	1,804	1,904	1,975	1,961	1,973	1,949	2,039	1,999	▲ 40	+ 145	63	327	
大分 ヒノヒカリ	1,861	1,857	1,829	1,822	1,713	1,821	1,901	1,947	1,932	1,906	1,919	1,929	1,984	+ 55	+ 123	17	150	
宮崎 ヒノヒカリ	1,617	1,620	1,619	1,619	1,625	1,658	1,795	1,770	1,777	1,800	1,811	1,845	1,925	+ 80	+ 308	25	262	
宮崎 コシヒカリ	1,179	1,184	1,753	1,849	1,761	1,684	1,612	1,564	1,432	1,265	1,299	1,360	1,386	+ 26	+ 207	2	198	
全POS取引平均価格	1,890	1,880	1,887	1,904	1,905	1,968	2,003	2,013	2,030	2,029	2,042	2,083	2,122	+ 39	+ 232			
全POS取引数量（t）	3,286	3,333	3,445	3,679	3,582	3,427	3,096	3,691	3,161	3,372	3,897	3,786	3,951	+ 165	+ 665	3,951	42,418	

（参考：ドラッグストア）

全POS取引平均価格	1,658	1,668	1,673	1,704	1,734	1,782	1,813	1,836	1,847	1,836	1,875	1,921	1,961	+ 40	+ 303
------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------

資料：（株）KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：（株）KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等（ドラッグストアは約400店舗）から購入したデータに基づくものである。

注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

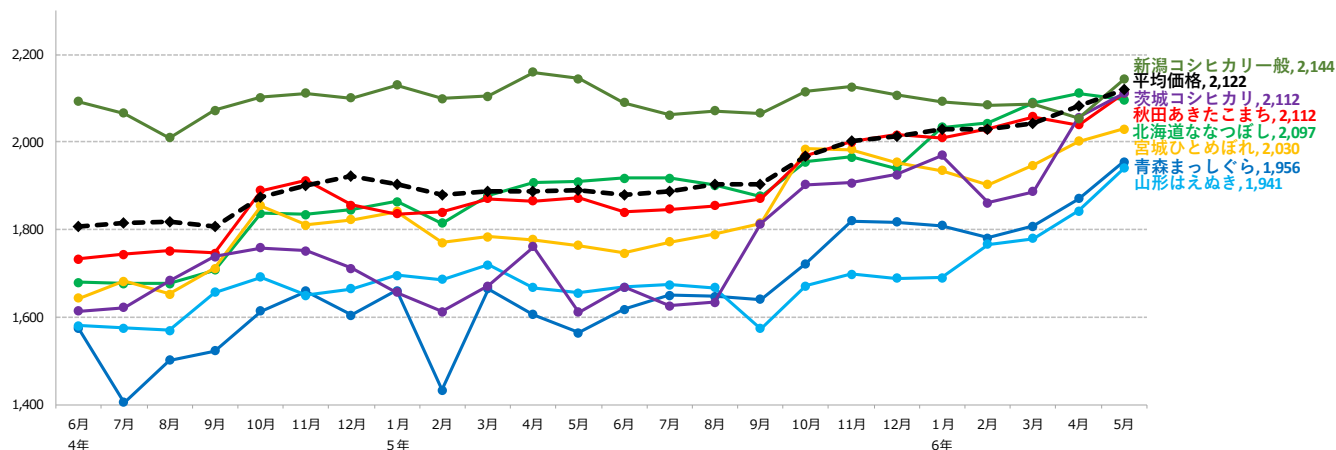
注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注4：全POS取引平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

注5：価格に含む消費税は8%である。

- 令和6年5月の小売価格(POSデータ)の平均価格(5kg当たり)は、対前月差+39円(+1.9%)、対前年同月差+232円(+12.3%)の2,122円。

円/5kg袋販売時換算(税込)



資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注4：全POS取引平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

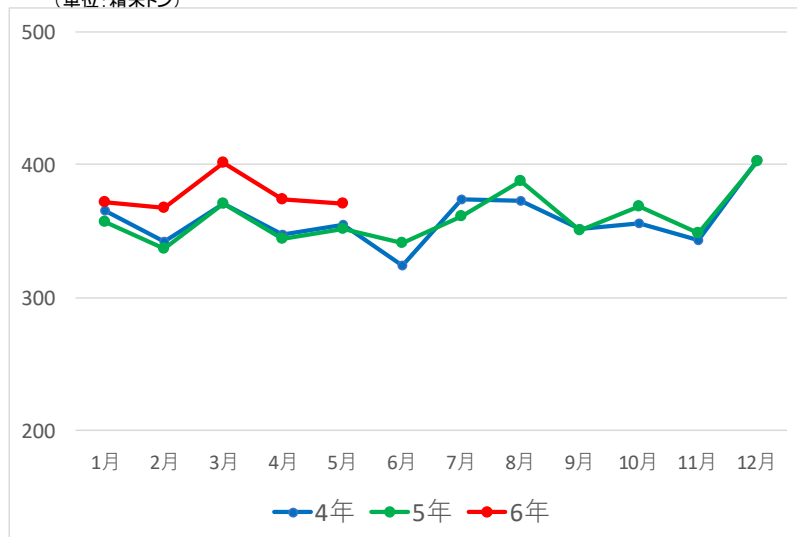
注5：価格に含む消費税は8%である。

【パックご飯の販売数量】

(単位：精米トン、%)

	4年	5年 ①	6年 ②	対前年 同月比 ②/①
1月	366	357	372	104%
2月	342	337	368	109%
3月	371	371	401	108%
4月	348	344	374	109%
5月	355	352	371	105%
6月	324	341		
7月	374	361		
8月	373	388		
9月	352	351		
10月	356	369		
11月	343	349		
12月	404	403		

(単位：精米トン)



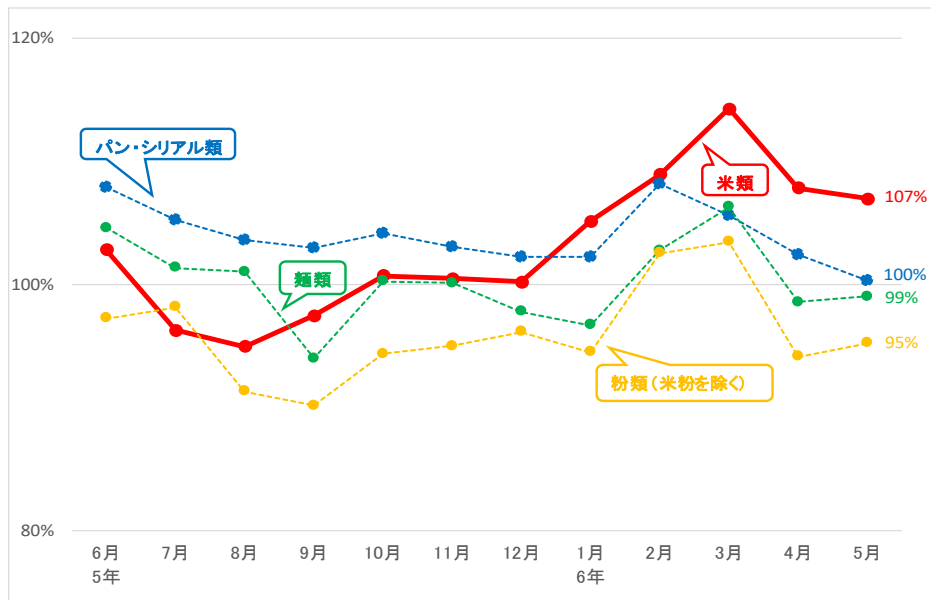
資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

【 POSデータ 分類別販売個数 対前年同期比 】



分類コード	分類名	主な分類基準	5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年1月	2月	3月	4月	5月
米類	米類		103%	96%	95%	97%	101%	100%	100%	105%	109%	114%	108%	107%
	米	精米、玄米、もち米	106%	107%	107%	105%	107%	109%	109%	109%	110%	117%	112%	117%
	包装餅	切り餅、板餅	102%	95%	95%	93%	89%	97%	99%	101%	103%	113%	99%	102%
	米飯加工品		107%	98%	94%	101%	105%	99%	98%	107%	111%	114%	106%	102%
	かゆ・雑炊	主にレトルトパウチ等で販売されるおかゆ、雑炊、リゾット	111%	95%	82%	101%	111%	97%	95%	111%	125%	128%	116%	106%
	無菌パック米飯	無菌パック(お米を加熱調理後に無菌包装したもの)で販売される白飯、赤飯、玄米、麦ごはん	113%	104%	105%	102%	103%	103%	99%	105%	109%	106%	104%	102%
	レトルト米飯	レトルト米飯(お米を容器に入れてから炊飯したもの)で販売される白飯、赤飯、玄米、麦ごはん	91%	87%	88%	97%	101%	93%	96%	103%	101%	119%	100%	101%
	冷凍米飯加工品		97%	92%	89%	95%	100%	98%	101%	102%	107%	109%	107%	105%
	冷凍ピラフ、炒飯	炒飯、焼めし、ピラフ、チキンライス、ドライカレーなどの米飯群	90%	86%	84%	91%	96%	93%	100%	101%	108%	107%	105%	102%
	冷凍おにぎり	おにぎり、焼きおにぎり	104%	97%	86%	88%	100%	104%	95%	95%	95%	104%	98%	103%
	その他冷凍米飯	白飯、赤飯、おこわ、炊き込みご飯、オムライス、カレーライス	90%	82%	89%	88%	97%	87%	94%	92%	110%	110%	115%	103%
	惣菜		111%	109%	106%	100%	96%	95%	97%	91%	88%	98%	99%	108%
	おにぎり	おにぎり、おにぎりセット、おにぎりとおかずがセットになった弁当	113%	107%	105%	98%	96%	97%	98%	91%	91%	107%	106%	118%
	寿司	にぎり、いなり、ちらし、助六寿司、細巻き、太巻き、恵方巻き	116%	109%	108%	102%	101%	111%	113%	93%	98%	94%	96%	104%
	弁当	幕の内、唐揚げ弁当、のり弁当、駅弁、オムライス、炒飯	106%	118%	109%	107%	89%	79%	87%	87%	68%	81%	85%	86%
パン・シリアル類	パン・シリアル類		108%	105%	104%	103%	104%	103%	102%	102%	108%	106%	102%	100%
	食パン	食パン、クロワッサン、フランスパン	109%	108%	108%	106%	106%	104%	104%	104%	106%	105%	101%	100%
	菓子パン	果物、チョコレート、クリーム・ジャムを使用したパン	106%	103%	102%	101%	101%	101%	100%	101%	107%	105%	101%	99%
	調理パン	サンドウィッチ、カレーパン、ホットドック	112%	105%	100%	103%	108%	106%	103%	102%	113%	108%	108%	105%
	シリアル類	グラノーラ、コーンフレーク	99%	103%	96%	100%	103%	105%	104%	110%	119%	110%	109%	108%
麺類	麺類		105%	101%	101%	94%	100%	100%	98%	97%	103%	106%	99%	99%
	インスタント袋麺	袋入りのインスタントラーメン、そば、うどん	109%	101%	101%	94%	102%	104%	101%	96%	104%	108%	94%	99%
	カップ麺	ラーメン、そば、うどん等の即席麺	110%	103%	103%	91%	101%	100%	97%	98%	103%	106%	97%	97%
	生麺・ゆで麺	生麺、ゆでうどん、中華そば・焼きそば	101%	101%	103%	99%	98%	99%	98%	95%	101%	104%	101%	99%
	スパゲッティ	乾スパゲッティ、ゆでスパゲッティ	103%	105%	100%	100%	112%	106%	104%	103%	107%	116%	105%	106%
	冷凍麺	冷凍パスタ、そば、うどんなどの麺類	99%	95%	92%	91%	97%	99%	97%	98%	104%	109%	101%	103%
粉類(米粉を除く)	粉類(米粉を除く)		97%	98%	91%	90%	94%	95%	96%	94%	103%	103%	94%	95%
	小麦粉	強力粉、薄力粉、中力粉	92%	98%	92%	89%	100%	97%	99%	98%	108%	106%	97%	101%
	パン粉	パン粉、生パン粉	96%	94%	88%	92%	95%	92%	94%	90%	98%	101%	95%	94%
	プレミックス	加糖ミックス(ホットケーキなどの素)、お好み焼き粉、たこ焼き粉	102%	101%	93%	89%	91%	96%	96%	96%	103%	104%	92%	92%
(参考)	味噌	ルータイプの味噌、出入り味噌	96%	99%	95%	96%	98%	97%	96%	95%	104%	104%	98%	99%
	米粉	白玉粉、上新粉、だんご粉	105%	103%	95%	93%	115%	114%	101%	109%	119%	113%	111%	110%
	米菓	煎餅、あられ、おかき	118%	119%	117%	111%	110%	103%	102%	106%	109%	112%	101%	104%
	清酒		97%	97%	94%	91%	96%	100%	99%	98%	103%	106%	98%	99%
	焼酎乙類		92%	93%	93%	89%	95%	98%	93%	94%	98%	101%	98%	97%

資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注4：POSデータの販売個数は、商品容量にかかわらず販売された商品の個数を単純にカウントしたものであることに留意が必要である。

5 輸出入の動向

1 コメ・コメ加工品の輸出実績

(1) コメ・コメ加工品の輸出実績の推移

2024年1～5月のコメ・コメ加工品の輸出額は241億円（対前年同期比+10%）となった。うちコメの輸出実績は対前年同期比+30%の44億円、米菓は+12%の23億円、日本酒は+5%の169億円、パックご飯等は+31%の5億円、米粉及び米粉製品は+67%の0.5億円。

品 目 名		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		(参考) 主な輸出先国 ・地域
						1～5月	対前年 同期比	
コメ・コメ加工品	数量 (原料米換算)	36,569トン	45,959トン	53,931トン	58,473トン	25,733トン	+18%	アメリカ 中国 香港 台湾 韓国
	金額	347億円	524億円	613億円	577億円	241億円	+10%	
コメ (援助米を除く)	数量	19,781トン	22,833トン	28,928トン	37,186トン	16,782トン	+26%	香港 アメリカ シンガポール 台湾 カナダ
	金額	53億円	59億円	74億円	94億円	44億円	+30%	
米菓 (あられ・せんべい)	数量	4,222トン	5,141トン	4,523トン	4,565トン	1,685トン	+4%	アメリカ 台湾 香港 韓国 シンガポール
	原料米換算	3,589トン	4,370トン	3,845トン	3,880トン	1,432トン	+4%	
	金額	45億円	56億円	55億円	61億円	23億円	+12%	
日本酒 (清酒)	数量	21,761 キロリットル	32,052 キロリットル	35,894 キロリットル	29,196 キロリットル	12,516 キロリットル	+6%	アメリカ 中国 香港 韓国 台湾
	原料米換算	12,257トン	18,054トン	20,218トン	16,445トン	7,050トン	+6%	
	金額	241億円	402億円	475億円	411億円	169億円	+5%	
パックご飯等	数量	1,205トン	1,129トン	1,384トン	1,593トン	759トン	+25%	アメリカ 台湾 香港 オーストラリア シンガポール
	原料米換算	634トン	594トン	727トン	837トン	399トン	+35%	
	金額	7億円	6億円	8億円	10億円	5億円	+31%	
米粉及び米粉製品 (米粉麺等)	数量	249トン	88トン	173トン	101トン	57トン	+59%	アメリカ タイ ドイツ ロシア 台湾
	原料米換算	308トン	108トン	213トン	125トン	70トン	+59%	
	金額	0.7億円	0.6億円	1.0億円	0.8億円	0.5億円	+67%	
コメ・パックご飯・米粉 及び米粉製品	数量 (原料米換算)	20,723トン	23,535トン	29,868トン	38,148トン	17,251トン	+26%	香港 アメリカ シンガポール 台湾 カナダ
	金額	60億円	66億円	83億円	105億円	50億円	+31%	

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：米粉麺等は2020年より貿易統計にて輸出実績を集計・公表。

注2：米粉及び米粉製品のうち米粉製品の原料米換算は米粉100%として推計。

注3：「（参考）主な輸出先国・地域」は2024年1～5月の金額上位5か国・地域を記載。

(2) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移

2024年1～5月の商業用の米の輸出は、輸出数量が16,782トン（対前年同期比+26%）、輸出額が44億円（対前年同期比+30%）と、数量・金額ともに増加。

	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年 (1～5月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	17,381 (+26%)	4,620 (+23%)	19,781 (+14%)	5,315 (+15%)	22,833 (+15%)	5,933 (+12%)	28,928 (+27%)	7,382 (+24%)	37,186 (+29%)	9,411 (+27%)	16,782 (+26%)	4,440 (+30%)
香港	5,436	1,372	6,978	1,796	8,938	2,118	9,880	2,344	11,301	2,630	5,010 (+27%)	1,206 (+29%)
アメリカ	1,980	543	1,989	565	2,244	625	4,459	1,169	6,883	1,768	3,202 (+36%)	920 (+48%)
シンガポール	3,879	802	3,696	785	4,972	1,025	5,742	1,201	5,593	1,153	2,346 (+8%)	500 (+14%)
台湾	1,262	411	2,004	622	1,907	575	2,532	716	3,116	877	1,214 (+4%)	326 (-0%)
カナダ	158	51	205	62	210	69	382	104	1,629	394	881 (+52%)	222 (+57%)
オーストラリア	770	233	1,074	334	893	283	1,245	390	1,204	386	504 (+19%)	167 (+26%)
タイ	578	145	555	145	625	162	1,045	256	1,299	307	701 (+36%)	177 (+54%)
イギリス	450	131	451	131	332	104	526	162	587	193	385 (+69%)	129 (+84%)
ドイツ	140	52	144	58	185	68	239	81	582	186	356 (+83%)	111 (+75%)
中国	1,007	363	1,002	321	575	219	764	262	526	170	69 (-75%)	23 (-71%)
フランス	93	40	112	49	173	72	237	93	395	135	238 (+83%)	84 (+89%)
スペイン	31	12	7	4	13	10	87	28	544	135	200 (+32%)	52 (+32%)
アラブ首長国連邦	55	23	58	25	96	45	130	49	389	116	178 (+55%)	59 (+73%)
フィリピン	11	4	26	8	59	20	84	33	396	113	151 (-10%)	46 (-5%)
ロシア	174	64	199	72	227	79	151	58	254	93	71 (-36%)	22 (-46%)
オランダ	102	30	110	40	92	33	93	31	293	85	199 (+73%)	59 (+95%)
イスラエル	—	—	2	2	13	8	43	17	252	82	111 (+68%)	37 (+57%)
スイス	11	7	24	14	57	27	60	28	243	76	68 (-17%)	30 (+6%)
ベトナム	213	65	159	46	167	48	219	54	296	74	125 (+39%)	33 (+47%)
マレーシア	234	59	185	46	146	43	227	64	209	64	64 (-12%)	24 (+9%)
その他	797	213	801	191	909	300	783	241	1,195	375	709	214

(参考)EU ※	1,050	326	629	219	757	272	957	317	2,253	672	1,239 (+59%)	380 (+63%)
----------	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-----	-----------------	---------------

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：2023年1～12月の輸出金額上位国・地域を記載。

注2：（ ）内は対前年同期増減率である。

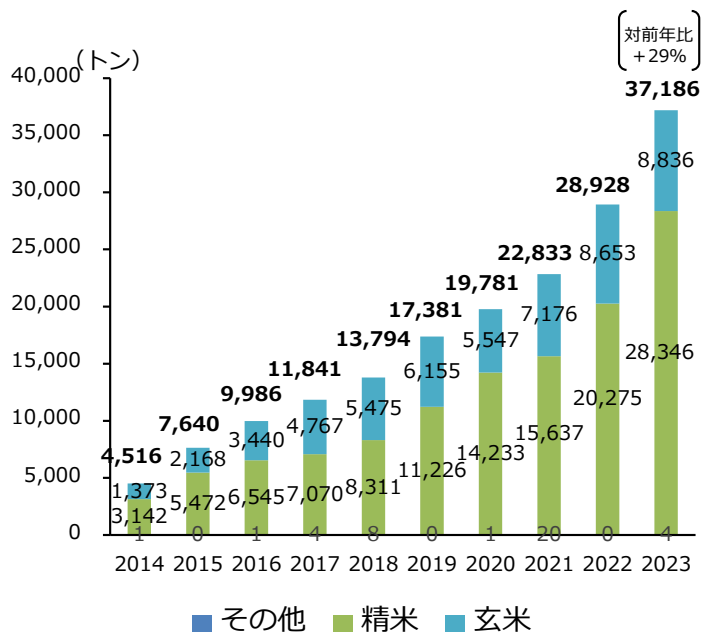
注3：「—」は貿易統計上、実績が計上されていないことを示す。

※：2020年1月以前はイギリス分が含まれている。

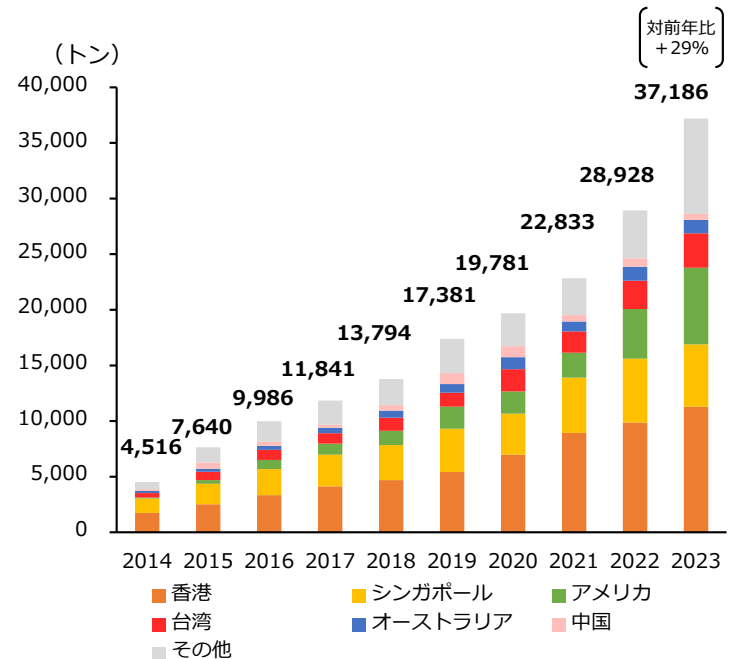
(3) 2023年のコメの輸出実績の主な増加要因

- ・ 2023年のコメ（精米・玄米・粳・碎米）の輸出数量は37,186トン（対前年比+29%）、輸出額は94億円（対前年比+27%）に増加。

① 商業用の米の玄米・精米別輸出量の推移



② 商業用の米の主な国・地域別輸出量の推移



香港 📈 11,301トン（対前年比+14%） 2,630百万円（対前年比+12%）

- ・ 現地の外食店において日本産米の取扱いが増加したことなどにより輸出が増加した。

アメリカ 📈 6,883トン（対前年比+54%） 1,768百万円（対前年比+51%）

カナダ 📈 1,629トン（対前年比+326%） 394百万円（対前年比+278%）

- ・ 干ばつ等によるカリフォルニア産米の価格高騰等により、日本産米のオーダーが増加したことから輸出が増加した。

(4) 米菓の輸出数量及び金額の推移

2024年1～5月の米菓の輸出は、輸出数量が1,685トン（対前年同期比+4%）、輸出額が23億円（対前年同期比+12%）と、数量・金額ともに増加。

	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年 (1～5月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	4,033 (-0%)	4,306 (-3%)	4,222 (+5%)	4,531 (+5%)	5,141 (+22%)	5,637 (+24%)	4,523 (-12%)	5,503 (-2%)	4,565 (+1%)	6,098 (+11%)	1,685 (+4%)	2,311 (+12%)
アメリカ	1,100	1,122	1,134	1,145	1,411	1,459	1,274	1,538	1,294	1,634	464 (+7%)	622 (+20%)
台湾	854	894	989	1,057	1,123	1,248	945	1,150	941	1,242	351 (+20%)	502 (+42%)
香港	603	724	629	749	718	863	548	718	656	945	211 (-24%)	303 (-21%)
韓国	119	156	65	77	95	118	141	192	211	309	87 (+31%)	128 (+27%)
シンガポール	209	243	227	267	233	281	193	283	174	292	61 (+8%)	116 (+39%)
サウジアラビア	258	161	335	215	380	252	462	360	273	263	100 (+34%)	98 (+61%)
ベトナム	75	155	90	195	93	210	95	218	83	208	36 (+27%)	99 (+46%)
中国	87	160	76	139	220	315	112	186	86	163	9 (-84%)	16 (-84%)
オーストラリア	127	111	108	96	135	118	160	132	146	140	52 (-18%)	49 (-12%)
タイ	62	83	80	104	96	121	95	127	95	134	45 (-1%)	65 (-0%)
オランダ	58	61	68	73	93	114	65	94	83	119	31 (-21%)	40 (-30%)
マレーシア	39	41	53	56	89	101	66	76	75	98	26 (+9%)	36 (+18%)
カナダ	35	42	35	41	40	52	38	51	60	90	26 (+10%)	40 (+9%)
ブラジル	40	41	26	27	24	24	28	30	40	49	12 (+1%)	13 (-11%)
ブルガリア	149	40	102	25	144	33	76	22	106	38	83 (+175%)	32 (+230%)
フィリピン	27	27	26	27	33	33	20	26	31	38	7 (-41%)	9 (-25%)
イギリス	21	32	21	34	13	20	14	19	19	35	11 (+175%)	20 (+249%)
グアム	19	24	21	27	22	34	19	30	19	35	17 (+124%)	31 (+139%)
アラブ首長国連邦	16	23	9	14	9	13	35	43	19	31	5 (+15%)	8 (+14%)
北マリアナ諸島	19	25	18	25	25	37	19	32	15	30	6 (-13%)	11 (-11%)
その他	117	142	112	140	145	190	118	177	138	205	45	73

(参考)EU ※	267	183	209	148	271	199	174	175	219	212	128 (+58%)	96 (+10%)
----------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	---------------	--------------

資料：財務省「貿易統計」

注1：2023年1～12月の輸出金額上位国・地域を記載。

注2：()内は対前年同期増減率である。

※2020年1月以前はイギリス分が含まれている。

(5) 日本酒（清酒）の輸出数量及び金額の推移

2024年1～5月の日本酒の輸出は、輸出数量が12,516キロリットル（対前年同期比+6%）、輸出額が169億円（対前年同期比+5%）と、数量・金額ともに増加。

	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年 (1～5月)	
	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円
輸出合計	24,928 (-3%)	23,412 (+5%)	21,761 (-13%)	24,141 (+3%)	32,052 (+47%)	40,178 (+66%)	35,894 (+12%)	47,489 (+18%)	29,196 (-19%)	41,082 (-13%)	12,516 (+6%)	16,862 (+5%)
中国	5,145	5,001	4,772	5,792	7,268	10,279	7,388	14,161	5,794	12,465	1,992 (-25%)	4,422 (-14%)
アメリカ	6,452	6,757	5,270	5,070	8,826	9,591	9,084	10,930	6,502	9,091	3,235 (+36%)	4,616 (+44%)
香港	1,926	3,943	2,629	6,178	3,243	9,308	2,717	7,116	2,328	6,024	809 (-20%)	1,766 (-26%)
韓国	2,912	1,360	1,535	979	2,418	1,503	4,054	2,523	4,192	2,905	2,234 (+19%)	1,615 (+26%)
台湾	2,246	1,359	2,273	1,430	2,648	1,726	3,076	2,222	3,104	2,677	1,257 (+13%)	1,076 (+3%)
シンガポール	609	857	688	1,113	919	1,802	917	2,326	698	1,510	297 (+1%)	633 (+3%)
カナダ	715	548	549	429	750	676	1,005	1,163	671	755	344 (+44%)	357 (+49%)
オーストラリア	483	439	525	491	747	730	806	932	532	645	249 (+38%)	287 (+34%)
イギリス	352	373	220	215	397	444	484	607	402	544	192 (+19%)	278 (+24%)
フランス	270	285	222	213	438	490	427	524	370	488	184 (+11%)	225 (+7%)
ベトナム	437	376	342	279	328	298	693	706	388	453	116 (-7%)	130 (+3%)
マレーシア	253	242	309	278	334	334	582	626	312	381	122 (+6%)	128 (-9%)
タイ	627	276	498	225	457	212	681	427	619	380	229 (-12%)	150 (-10%)
ドイツ	477	242	402	207	623	318	664	358	607	321	252 (+41%)	162 (+28%)
オランダ	247	142	288	178	460	273	484	341	323	318	178 (+84%)	165 (+46%)
マカオ	39	156	44	179	111	563	93	318	75	254	23 (-41%)	70 (-55%)
イタリア	339	129	242	89	391	163	494	198	429	229	109 (-39%)	78 (-19%)
ブラジル	248	119	146	76	272	152	344	178	329	189	95 (-24%)	67 (+0%)
スペイン	130	75	81	49	195	154	263	163	218	170	103 (+20%)	84 (+11%)
フィリピン	114	71	56	52	68	81	119	140	113	123	54 (+17%)	54 (-9%)
その他	904	664	670	619	1,158	1,081	1,517	1,532	1,192	1,161	443	497
(参考)EU ※	2,023	1,421	1,447	915	2,330	1,592	2,712	1,944	2,239	1,798	950 (+14%)	838 (+12%)

資料：財務省「貿易統計」

注1：2023年1～12月の輸出金額上位国・地域を記載。

注2：()内は対前年同期増減率である。

※2020年1月以前はイギリス分が含まれている。

(6) 包装米飯（パックご飯）等の輸出数量及び金額の推移

2024年1～5月の包装米飯等の輸出は、輸出数量が759トン（対前年同期比+25%）、輸出額が5億円（対前年同期比+31%）と、数量・金額ともに増加。

	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年 (1～5月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	1,018 (+10%)	513 (+8%)	1,205 (+18%)	658 (+28%)	1,129 (-6%)	593 (-10%)	1,384 (+23%)	790 (+33%)	1,593 (+15%)	996 (+26%)	759 (+25%)	472 (+31%)
アメリカ	442	167	447	169	454	177	545	255	635	341	351 (+64%)	186 (+74%)
香港	130	77	261	170	215	126	312	178	280	175	101 (-20%)	61 (-20%)
台湾	105	56	145	88	123	99	127	115	202	169	91 (+41%)	69 (+12%)
韓国	31	17	20	11	52	25	106	48	111	56	38 (-38%)	20 (-34%)
シンガポール	21	17	43	24	48	26	61	36	97	52	39 (+8%)	27 (+65%)
ミャンマー	0	0	2	4	—	—	3	9	37	42	3 (+160%)	8 (+201%)
タイ	63	27	75	34	83	39	57	26	69	32	36 (+16%)	17 (+19%)
カナダ	6	3	5	2	7	3	10	6	27	22	7 (-53%)	4 (-64%)
ベトナム	82	79	66	69	47	36	49	43	23	20	6 (-62%)	6 (-53%)
フィリピン	4	4	3	3	2	2	5	7	11	10	1 (-19%)	1 (+2%)
イギリス	9	4	10	5	8	4	5	4	13	10	2 (+58%)	1 (+72%)
中国	96	42	68	43	44	27	55	29	16	10	2 (+4%)	1 (-8%)
マレーシア	1	1	8	5	4	3	5	3	19	9	7 (-4%)	4 (+6%)
インドネシア	5	4	10	6	12	7	9	6	14	9	4 (-52%)	3 (-34%)
オランダ	4	3	4	5	1	2	4	7	5	9	4 (+55%)	6 (+116%)
フランス	3	2	5	2	7	3	10	2	7	5	3 (-61%)	1 (-74%)
ジブチ	—	—	—	—	0	0	—	—	4	4	— (-100%)	— (-100%)
オーストラリア	3	2	20	9	4	2	5	3	4	3	35 (+3,233%)	37 (+4,735%)
スウェーデン	—	—	—	—	—	—	—	—	1	3	0 (注7)	0 (注7)
ドイツ	0	1	0	1	2	3	4	3	1	2	2 (+186%)	2 (+88%)
その他	12	9	15	9	18	10	11	9	16	12	27	16

(参考)EU ※	17	11	14	9	13	8	21	15	16	20	10 (-1%)	11 (+16%)
----------	----	----	----	---	----	---	----	----	----	----	-------------	--------------

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：2023年1～12月の輸出金額上位国・地域を記載。

注2：包装米飯、その他加工米飯のほか、加熱またはその他の調製をした調製食料品のうち米のものを集計。（2017年1月から単独のコードとして独立。）

注3：（ ）内は対前年同期増減率である。

注4：「—」は貿易統計上、実績が計上されていないことを示す。

注5：数量0.5トン未満の場合は、数量の欄が「0」と表記されている。

注6：金額0.5百万円未満の場合は、金額の欄が「0」と表記されている。

注7：対前年同期比を記載していないのは、貿易統計上2023年1～5月の輸出実績が計上されていないため。

※2020年1月以前はイギリス分が含まれている。

(7) 米粉の輸出数量及び金額の推移

2024年1～5月の米粉の輸出は、輸出数量が43トン（対前年同期比+87%）、輸出額が29百万円（対前年同期比+76%）と、数量・金額ともに増加。

	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年 (1～5月)	
	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)
輸出全体	118	32.8	226 (+92%)	48.4 (+48%)	72 (-68%)	36.8 (-24%)	144 (+100%)	67.9 (+85%)	76 (-47%)	49.6 (-27%)	43 (+87%)	29.2 (+76%)
タイ	24	9.5	28	10.6	41	15.9	40	16.6	27	14.5	26 (+100%)	13.3 (+102%)
アメリカ	68	11.5	184	29.4	0	2.3	34	13.0	20	8.7	0 (注4)	1.9 (+325%)
台湾	1	2.2	0	1.8	2	4.4	5	8.2	3	6.7	0 (-100%)	2.1 (-33%)
シンガポール	1	0.6	0	0.3	0	1.4	2	3.9	5	6.1	1 (±0%)	1.6 (-33%)
ドイツ	11	3.4	—	—	6	2.7	42	15.9	14	4.4	10 (+67%)	3.5 (+80%)
フランス	—	—	0	0.4	0	0.8	1	4.9	0	3.0	0 (注4)	1.4 (+469%)
香港	1	0.8	0	0.3	2	1.1	2	1.7	3	2.0	0 (-100%)	0.3 (-63%)
ロシア	0	0.6	8	3.3	2	1.6	2	1.0	2	1.4	5 (+400%)	4.2 (+421%)
マレーシア	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1.0	— (注5)	— (注5)
メキシコ	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0.7	— (注5)	— (注5)
アラブ首長国連邦	—	—	—	—	1	0.2	0	0.3	0	0.5	— (注5)	— (注5)
ベトナム	0	0.3	—	—	—	—	—	—	0	0.3	— (注4)	— (-100%)
ナイジェリア	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0.2	— (注4)	— (-100%)
オランダ	11	3.1	6	2.3	18	6.4	8	0.9	—	—	0 (注5)	0.2 (注5)
スウェーデン	—	—	—	—	—	—	8	1.2	—	—	— (注5)	— (注5)
オーストラリア	—	—	—	—	—	—	0	0.2	—	—	1 (注5)	0.9 (注5)
カナダ	—	—	—	—	—	—	0	0.2	—	—	— (注5)	— (注5)
スペイン	1	0.7	—	—	—	—	—	—	—	—	— (注5)	— (注5)

(参考)EU ※	23	7.2	6	2.7	24	9.9	59	22.9	14	7.5	10 (+67%)	5.1 (+132%)
----------	----	-----	---	-----	----	-----	----	------	----	-----	--------------	----------------

資料:財務省「貿易統計」

注1:()内は対前年同期増減率である。

注2:「—」は貿易統計上、実績が計上されていないことを示す。

注3:数量1トン未満の場合は、数量の欄が「0」と表記されている。

注4:対前年同期比を記載していないのは、貿易統計上2023年1～5月の数量が1トン未満であるため。

注5:対前年同期比を記載していないのは、貿易統計上2023年1～5月の輸出実績が計上されていないため。

※2020年1月以前はイギリス分が含まれている。

(8) 米粉麺等の輸出数量及び金額の推移

2024年1～5月の米粉麺等の輸出は、輸出数量が14トン（対前年同期比＋9％）、輸出額が18百万円（対前年同期比＋54％）と、数量・金額ともに増加。

	2020年		2021年		2022年		2023年		2024年 (1～5月)	
	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)
輸出全体	23.2	24.1	15.8 (-32%)	19.2 (-20%)	28.9 (+83%)	30.3 (+58%)	25.4 (-12%)	27.9 (-8%)	14.0 (+9%)	17.9 (+54%)
アメリカ	10.6	11.8	5.9	9.1	11.9	14.8	13.3	16.1	8.7 (+84%)	13.1 (+151%)
ドイツ	—	—	—	—	8.4	5.8	3.8	2.6	2.4 (-38%)	1.6 (-41%)
サウジアラビア	0.7	0.9	—	—	—	—	1.0	1.9	0.6 (+25%)	0.7 (-19%)
ミャンマー	—	—	—	—	—	—	0.5	1.0	— (注3)	— (注3)
イタリア	2.4	2.2	2.7	2.5	3.2	2.9	1.0	0.9	1.6 (注3)	1.5 (注3)
香港	5.6	5.3	2.0	2.0	0.7	0.6	1.1	0.8	0.2 (-83%)	0.2 (-64%)
カナダ	0.3	0.3	0.2	0.3	1.0	1.3	0.7	0.8	— (-100%)	— (-100%)
シンガポール	0.6	0.5	—	—	—	—	1.0	0.7	— (-100%)	— (-100%)
オランダ	0.8	0.9	2.3	2.3	0.5	0.6	0.7	0.7	0.4 (注3)	0.4 (注3)
スペイン	2.1	2.0	1.7	1.5	0.6	0.6	0.6	0.7	— (-100%)	— (-100%)
スロベニア	—	—	—	—	—	—	0.6	0.6	— (-100%)	— (-100%)
オーストラリア	0.2	0.2	0.3	0.5	0.8	0.9	0.4	0.5	— (注3)	— (注3)
ポルトガル	—	—	—	—	—	—	0.4	0.5	— (-100%)	— (-100%)
インドネシア	—	—	—	—	—	—	0.2	0.3	— (注3)	— (注3)
中国	—	—	0.3	0.6	0.7	1.2	—	—	— (注3)	— (注3)
イスラエル	—	—	—	—	0.5	0.7	—	—	— (注3)	— (注3)
ニュージーランド	—	—	—	—	0.2	0.3	—	—	— (注3)	— (注3)
台湾	—	—	0.3	0.2	0.2	0.3	—	—	— (注3)	— (注3)
スイス	—	—	—	—	0.2	0.2	—	—	— (注3)	— (注3)
タイ	—	—	0.2	0.2	—	—	—	—	— (注3)	— (注3)
アラブ首長国連邦	—	—	—	—	—	—	—	—	0.2 (注3)	0.5 (注3)

資料：財務省「貿易統計」

注1：（ ）内は対前年同期増減率である。

注2：「—」は貿易統計上、実績が計上されていないことを示す。

注3：対前年同期比を記載していないのは、貿易統計上2023年1～5月の輸出実績が計上されていないため。

2 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について

(輸出拡大実行戦略のうちコメ・パックご飯・米粉及び米粉製品の輸出目標等)



1. 国別輸出額目標

国名	2019年実績	2025年目標	国別のニーズ・規制に対応するための課題・方策
合計	52億円	125億円	
香港	15億円	36億円	・輸出事業者が日系中食・外食を中心に需要を開拓しており、今後もレストランチェーンやおにぎり店等をメインターゲットとした需要開拓を図る ・現地系小売やレストランチェーンの深掘りにより、更なる市場開拓を図る
アメリカ	7億円	30億円	・西海岸・東海岸では輸出事業者が日系小売店需要を開拓。今後は日本食レストラン、おにぎり店等や現地系、EC等の小売需要を開拓。現時点では進出がないが、人口が増加しており、日本食レストランの大幅な増加も期待される中部では、新たな市場として需要開拓を図る ・パックご飯や米粉の主要な輸出先国であり、更なる市場開拓を図る
中国	4億円	19億円	・大手米卸等が日系外食店やEC、ギフトボックス等の贈答用に対応しており、更なる開拓を図る ・コスト縮減のためには指定精米工場等の活用に加えて工場等の追加や輸入規制の緩和が不可欠
シンガポール	8億円	16億円	・輸出事業者が日系中食・外食を中心に需要を開拓。更にレストランチェーンやおにぎり店等をメインターゲットとした需要開拓を図る ・現地系小売やレストランチェーンの深掘りにより、更なる市場開拓を図る
台湾	5億円	9億円	・輸出事業者が日系中食・外食を中心に需要を開拓 ・現地でジャポニカ米が生産されていることから、日本食レストランでの日本産米採用による他店舗との差別化により需要開拓を図る
その他	13億円	14億円	・UAEや欧州、カナダ等のコメを主食としない地域では、寿司等の日本食需要拡大に合わせて日本産米の需要開拓を図る ・EU、英国を中心に拡大するグルテンフリー需要の取り込みを通じた米粉・米粉製品の需要開拓を図る

2. 輸出産地の育成・展開

＜輸出産地数＞

- ・ 30～40産地
(先進的なJA等をモデル産地として、千トン超の輸出用米の生産に取り組む産地を育成する)

＜今後育成すべき国内産地＞

- ・ 国際競争力を有するコメの生産と農家手取り収入の確保の両立を図ることで、大ロットで輸出用米を生産・供給する産地

＜生産基盤の強化やロットの拡大、産地間連携の実現に向けた方策＞

- ・ 輸出事業者と産地が連携して取り組む、多収米の導入や作期分散等の生産・流通コスト低減の取組の支援により、輸出用米の生産拡大（主食用米からの作付転換）を推進
- ・ 都道府県やJAグループとの連携などにより、更なる輸出産地の強化や掘り起こしを推進

3. 加工・流通施設の整備

- ・ パックご飯メーカーや米粉・米粉製品メーカーが輸出に取り組んでいるが、輸出先国・地域の規制等への対応が必要になるケースがあることから、当該規制等対応のための取組や輸出向け生産に必要な機械・設備の導入等を支援
- ・ 国内流通も含め、低コスト化や作業効率の改善につながる産地から精米工場への推奨フレコンによる出荷や鉄道へのモーダルシフトを推進

4. 品目別団体を中心とした販路開拓

- ・ （一社）全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会（全米輸）が策定した「中期計画」に基づく、主要輸出先国・地域での新たな購買層の深掘りや輸出事業者の進出が不十分な国・地域（UAE・欧州等）での市場開拓のための、輸出先国・地域のマーケット情報の収集・発信、プロモーション活動を実施。実施に際しては、他の品目団体や輸出支援プラットフォームとも連携。プロモーションの財源には、国庫補助金のほか会費収入も一部活用
- ・ 日本産米に対する理解を進めるため、輸出支援プラットフォームとも連携して、消費者と事業者に対し、日本産米の多様性や特徴をPRするなど、マーケットに応じた訴求を図る

＜戦略的サプライチェーンの構築＞

- ・ 国別地域別の特色を踏まえたマーケティング戦略の下での現地商流を構築するため、現地エージェントによる現地系スーパー・レストランの販路開拓
- ・ 輸出先国の需要に対応するため、輸出事業者や産地が連携して輸出用米を生産・調整する体制を構築

3 MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

輸入米の入札情報については、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米（稲）・麦・大豆」、品目別分類「輸入米麦入札関連資料」で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html> 】

	米 国	タ イ	中 国	オーストラリア	その他	合 計	うち一般輸入	うちSBS輸入※
平成7年度	194	107	32	87	5	426	415	11
平成8年度	233	144	40	87	6	511	488	22
平成9年度	290	151	46	95	13	596	537	55
平成10年度	313	152	78	109	29	681	551	120
平成11年度	339	159	86	115	24	724	591	120
平成12年度	356	168	99	120	24	767	632	120
平成13年度	364	146	136	110	11	767	655	100
平成14年度	361	153	112	96	44	767	710	50
平成15年度	355	153	110	90	51	759	647	100
平成16年度	361	185	98	20	103	767	661	94
平成17年度	362	186	84	19	116	767	655	100
平成18年度	358	179	76	52	102	767	654	100
平成19年度	358	243	82	－	13	696	585	100
平成20年度	430	261	72	－	6	769	658	100
平成21年度	358	332	71	－	5	767	655	100
平成22年度	356	345	19	40	6	767	725	37
平成23年度	358	241	56	71	40	767	658	100
平成24年度	362	281	46	64	13	767	656	100
平成25年度	359	351	1	41	15	767	700	61
平成26年度	359	332	55	14	6	767	754	12
平成27年度	359	344	56	1	6	767	734	29
平成28年度	376	375	3	7	7	767	685	73
平成29年度	365	264	56	74	8	767	655	100
平成30年度	359	316	69	14	8	767	701	59
令和元年度	360	306	83	0	17	767	681	77
令和2年度	360	322	70	－	15	767	699	60
令和3年度	345	314	69	27	12	767	743	21
令和4年度	236	398	81	40	11	767	751	14
令和5年度 (3月末現在)	348	333	28	41	16	767	693	66

資料： 農林水産省「米をめぐる関係資料」

※SBS輸入数量の単位は千実トン。

注：1 各年度の輸入契約数量の推移。

2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しないことがある。

3 千実トンと千玄米トンのため合計は一致しないことがある。

(参考) MA米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1～0.2千トン程度

4 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合せ結果（令和6年度）

（単位：実トン）

令和6年度（うるち）		令和5年度（うるち）	
令和6年4～6月分（長期契約）	31,350	令和5年4～6月分（長期契約）	12,448
4月分（月別契約）	290	4月分（月別契約）	310
5月分（月別契約）	3,225	5月分（月別契約）	384
6月分（月別契約）	3,543	6月分（月別契約）	560
令和6年4～6月小計	38,408	令和5年4～6月小計	13,702
7～9月分（長期契約）		7～9月分（長期契約）	16,008
7月分（月別契約）		7月分（月別契約）	161
8月分（月別契約）		8月分（月別契約）	339
9月分（月別契約）		9月分（月別契約）	978
令和6年7～9月小計		令和5年7～9月小計	17,486
10～12月分（長期契約）		10～12月分（長期契約）	17,526
10月分（月別契約）		10月分（月別契約）	448
11月分（月別契約）		11月分（月別契約）	383
12月分（月別契約）		12月分（月別契約）	1,354
令和6年10～12月小計		令和5年10～12月小計	19,711
令和7年1～3月分（長期契約）		令和6年1～3月分（長期契約）	29,745
1月分（月別契約）		1月分（月別契約）	339
2月分（月別契約）		2月分（月別契約）	243
3月分（月別契約）		3月分（月別契約）	1,694
令和7年1～3月小計		令和6年1～3月小計	32,021
令和6年度うるち合計	38,408	令和5年度うるち合計	82,920

令和6年度（もち）		令和5年度（もち）	
令和6年4～7月分	2,400	令和5年4～7月分	2,117
8～11月分		8～11月分	2,673
令和6年12～令和7年3月分		令和5年12～令和6年3月分	1,877
令和6年度もち合計	2,400	令和5年度もち合計	6,667

※令和6年度うるち見積合せ結果（4月分（月別契約））290トンのうち5トンは契約解除。

資料：農林水産省「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合せ結果の概要について」

5 SBS輸入米の見積合せ結果（令和5年度）

（単位：実トン）

		アメリカ		タイ		中国		オーストラリア		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回 （令和5年9月29日）	一般米	280		696						102		1,078
	砕精米	2,400										2,400
	計	2,680		696						102		3,478
第2回 （令和5年10月28日）	一般米	820		1,126		134		1,012		422		3,514
	砕精米	2,150										2,150
	計	2,970		1,126		134		1,012		422		5,664
第3回 （令和5年11月17日）	一般米	4,260		770	72	120				415		5,637
	砕精米	2,100		240								2,340
	計	6,360		1,010	72	120				415		7,977
第4回 （令和5年12月13日）	一般米	3,560	100	906	90	100				1,877		6,633
	砕精米	2,100	100	100						200		2,500
	計	5,660	200	1,006	90	100				2,077		9,133
第5回 （令和6年1月11日）	一般米	3,680	420	1,016		60				196		5,372
	砕精米	580	100									680
	計	4,260	520	1,016		60				196		6,052
第6回 （令和6年1月29日）	一般米	5,740	520	542		240				1,551	72	8,665
	砕精米	500	100							200		800
	計	6,240	620	542		240				1,823		9,465
第7回 （令和5年2月13日）	一般米	3,260	800	1,012		220				2,422		7,714
	砕精米	600	100	260	126					340		1,426
	計	3,860	900	1,272	126	220				2,762		9,140
第8回 （令和6年3月1日）	一般米	9,502	120	1,091		360				1,842		12,915
	砕精米	1,300	100		108					200		1,708
	計	10,802	220	1,091	108	360				2,042		14,623
令和5年度計	一般米	31,102	1,960	7,159	162	1,234	0	1,012	0	8,827	72	51,528
	砕精米	11,730	500	600	234	0	0	0	0	940	0	14,004
	計	42,832	2,460	7,759	396	1,234	0	1,012	0	9,767	72	65,532
令和4年度計 （参考）	一般米	54	1,116	4,111	184	0	0	0	0	3,793	0	9,258
	砕精米	908	300	1,360	316	200	0	0	0	1,400	0	4,484
	計	962	1,416	5,471	500	200	0	0	0	5,193	0	13,742
令和3年度計 （参考）	一般米	1,094	2,492	4,132	222	670	0	0	0	5,202	0	13,812
	砕精米	4,534	300	1,700	0	440	0	0	0	600	0	7,574
	計	5,628	2,792	5,832	222	1,110	0	0	0	5,802	0	21,386
令和2年度計 （参考）	一般米	25,727	1,732	4,384	180	1,620	0	0	0	8,678	0	42,321
	砕精米	14,342	300	2,310	0	500	0	0	0	500	0	17,952
	計	40,069	2,032	6,694	180	2,120	0	0	0	9,178	0	60,273
令和元年度計 （参考）	一般米	32,937	2,596	4,435	126	1,540	0	260	0	10,359	0	52,253
	砕精米	19,210	600	2,360	600	520	0	0	0	1,000	0	24,290
	計	52,147	3,196	6,795	726	2,060	0	260	0	11,359	0	76,543
平成30年度計 （参考）	一般米	16,364	2,392	4,624	90	594	0	13,203	0	2,477	0	39,744
	砕精米	14,240	940	1,700	1,200	620	0	0	0	100	0	18,800
	計	30,604	3,332	6,324	1,290	1,214	0	13,203	0	2,577	0	58,544

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

6 CPTPP・国別枠の見積合せ結果（令和6年度）

（単位：実トン）

		オーストラリア	
		うるち	もち
第1回 （令和6年5月21日）	一般米	1,154	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	1,154	0
令和6年度計	一般米	1,154	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	1,154	0
令和5年度計 （参考）	一般米	6,198	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	6,198	0
令和4年度計 （参考）	一般米	520	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	520	0
令和3年度計 （参考）	一般米	620	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	620	0
令和2年度計 （参考）	一般米	595	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	595	0
令和元年度計 （参考）	一般米	3,319	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	140	0
	計	3,459	0

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

6 主食用米以外の情報

1 加工用米及び新規需要米等の生産状況

(1) 加工用米の生産量

(単位:トン)

	合計			(参 考)	
	うるち米	もち米		全国流通	地域流通
平成17年産	123,996	4,738	128,734	127,160	1,574
18年産	140,596	7,996	148,592	146,529	2,064
19年産	152,145	10,659	162,804	160,670	2,134
20年産	138,895	10,154	149,048	142,803	6,246
21年産	134,389	6,779	141,168	122,771	18,397
22年産	190,883	21,945	212,829	134,958	77,870
23年産	122,699	31,856	154,555	46,087	108,468
24年産	148,695	32,190	180,885	65,821	115,064
25年産	178,411	29,471	207,882	82,534	125,348
26年産	232,315	34,053	266,368	110,914	155,455
27年産	205,448	47,739	253,186	95,747	160,771
28年産	219,454	58,943	278,397	99,972	178,367
29年産	215,531	63,532	279,063	100,249	183,755
30年産	221,580	52,611	274,191	117,617	165,185
令和元年産	203,740	49,186	252,926	100,798	155,741
2年産	194,452	48,736	243,188	97,543	150,309
3年産	195,333	66,867	262,200	98,608	163,792
4年産	201,345	69,644	270,989	101,576	174,078
5年産	195,311	70,965	266,276	95,642	174,506

資料：農林水産省「加工用米生産量」

注：1 「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」の規定により報告された生産集出荷数量。

注：2 参考の全国流通は、取組主体が全国生産出荷団体であるもの。地域流通は、取組主体が都道府県出荷団体、認定方針作成者及び農業者であるものの合計。

注：3 参考の平成27年産以降は、認定計画ベースの値。このため、合計（実績値）と一致しない。

注：4 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移

(単位:面積ha、生産量トン)

	新規需要米															
	合 計		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 (稲発酵粗 飼料用稲)	新市場開拓用米 (輸出用米等)		酒造用米		バイオエタノール 用米		その他 (わら専用稲・ 青刈り用稲)		
	面 積	生産量	面 積	生産量	面 積	生産量	面 積	面 積	生産量	面 積	生産量	面 積	生産量	面 積	生産量	
20年産	12,314	12,386	108	566	1,410	8,020	9,089	74	391	—	—	303	2,426	1,330	982	
21年産	18,142	40,654	2,401	13,041	4,123	23,264	10,203	164	926	—	—	295	2,314	956	1,108	
22年産	37,072	97,632	4,957	24,639	14,883	68,011	15,939	388	1,959	—	—	397	2,488	508	535	
23年産	65,569	202,572	7,324	36,842	33,955	160,900	23,086	287	1,514	—	—	415	2,553	501	763	
24年産	68,091	205,150	6,437	32,617	34,525	166,537	25,672	454	2,423	—	—	450	2,783	553	790	
25年産	53,744	134,865	3,965	20,444	21,802	108,576	26,600	507	2,665	—	—	414	2,566	457	614	
26年産	71,073	218,712	3,401	18,352	33,881	186,564	30,929	1,092	6,003	859	4,255	384	2,458	527	1,080	
27年産	125,454	478,562	4,245	22,975	79,766	440,066	38,226	1,547	8,289	1,387	6,857	—	—	283	375	
28年産	139,028	540,344	3,428	19,014	91,169	505,998	41,366	1,437	7,903	1,420	7,027	—	—	207	402	
29年産	142,738	542,308	5,307	28,408	91,510	499,499	42,893	1,328	7,159	1,448	7,213	—	—	252	30	
30年産	131,048	473,359	5,295	27,695	79,535	426,521	42,545	3,578	19,143	—	—	—	—	96	—	
元年産	124,477	439,544	5,306	27,964	72,509	389,264	42,450	4,097	22,316	—	—	—	—	114	—	
2年産	126,205	446,901	6,346	33,391	70,883	380,502	42,791	6,089	33,008	—	—	—	—	96	—	
3年産	174,497	741,209	7,632	41,615	115,744	662,724	44,248	6,748	36,869	—	—	—	—	124	—	
4年産	206,203	889,073	8,403	45,903	142,055	803,390	48,404	7,248	39,780	—	—	—	—	92	—	
5年産	203,729	834,965	7,587	40,298	133,925	744,893	53,055	9,091	49,775	—	—	—	—	71	—	

資料：農林水産省「新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移（平成20年産～令和5年産）」

注1：平成20、21年産の生産量は取組計画認定ベース。

注2：「WCS用稲」及び「その他」のうち、わら専用、青刈り用稲については子実を採らない用途であるため生産量を取りまとめていない。

注3：「酒造用米」は、「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」（以下「要領」）に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米であり、平成30年産以降は取りまとめていない。

注4：平成30年産以降の「バイオエタノール用米」は、要領の改正により「新市場開拓用米」に含まれている。

注5：「-」は、事実がない又は認定及び取りまとめを行っていないことを表す。また、ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(3) 令和5年産 都道府県別の生産状況

(単位:トン)

産 地	加工用米			新規需要米				政府備蓄米	合計
		うるち米	もち米		飼料用米	新市場開拓用米	米粉用米		
全国	266,276	195,311	70,965	834,965	744,893	49,775	40,298	201,725	1,302,966
北海道	38,475	25,510	12,966	54,784	42,937	11,042	805	2,162	95,421
青 森	4,981	4,580	401	51,469	49,475	1,923	70	27,259	83,708
岩 手	7,043	5,588	1,456	34,090	31,643	2,277	170	3,488	44,622
宮 城	3,433	2,388	1,045	59,568	53,991	4,993	584	11,600	74,601
秋 田	46,441	25,436	21,005	28,841	24,210	2,832	1,799	21,572	96,854
山 形	26,932	23,879	3,054	34,736	31,489	2,574	673	20,601	82,269
福 島	2,520	2,046	474	66,786	65,905	815	66	24,773	94,079
茨 城	5,014	4,659	355	84,071	79,705	4,038	329	935	90,020
栃 木	8,293	8,137	156	93,983	85,970	381	7,632	6,123	108,399
群 馬	6,990	6,990		9,102	8,294	1	808		16,092
埼 玉	727	727	0	22,412	18,130	249	4,033		23,139
千 葉	9,222	4,383	4,839	59,813	58,855	191	766	610	69,645
東 京									
神奈川				65	65				65
新 潟	38,316	21,331	16,986	40,735	22,648	8,491	9,597	25,109	104,161
富 山	6,513	5,155	1,358	14,845	11,449	1,917	1,478	12,197	33,555
石 川	2,572	1,927	645	8,339	5,852	354	2,132	7,849	18,759
福 井	1,646	1,144	502	11,988	10,232	695	1,061	3,900	17,534
山 梨	338	338		263	113		150		601
長 野	4,416	4,223	194	4,520	2,823	1,544	154	609	9,545
岐 阜	3,511	3,505	5	17,531	16,887	332	312	435	21,477
静 岡	550	550		5,262	5,219	3	39	20	5,832
愛 知	2,774	2,573	201	11,693	10,133	218	1,343	846	15,314
三 重	831	775	56	11,874	11,287	267	320	270	12,975
滋 賀	2,987	2,654	332	11,351	10,111	969	271	1,342	15,680
京 都	2,884	2,870	14	746	583	123	41		3,631
大 阪	0	0		54	29		25		55
兵 庫	3,270	3,011	258	5,042	3,923	917	202		8,312
奈 良	47	47		429	249		180		476
和歌山				18	14		4		18
鳥 取	125	125		3,894	3,725	166	2	400	4,419
島 根	1,319	1,278	41	3,804	3,756	12	36	130	5,252
岡 山	1,618	1,534	84	11,225	9,556	1,045	625	846	13,689
広 島	1,865	1,783	82	3,239	2,477	232	529	20	5,124
山 口	4,762	4,671	91	6,244	5,678	375	191		11,006
徳 島	96	94	2	5,019	4,778	190	51	930	6,046
香 川	244	244		1,128	950	144	34		1,372
愛 媛	179	179		1,917	1,890		27		2,096
高 知	416	416		4,485	4,406		79	10	4,911
福 岡	1,095	606	489	13,502	11,755	58	1,688	54	14,650
佐 賀	2,205	243	1,962	4,557	4,429	42	86	220	6,982
長 崎	21	21		701	639	41	21		722
熊 本	3,547	1,737	1,810	11,076	9,179	211	1,686	247	14,870
大 分	721	721		10,599	10,527	9	63	94	11,414
宮 崎	10,526	10,526		4,805	4,622	99	84		15,331
鹿児島	6,692	6,591	101	4,357	4,299	6	52		11,048
沖 縄	117	117		5	4		0		122

資料： 農林水産省「加工用米生産量（年産別、都道府県別）」、「令和5年産新規需要米生産集出荷数量」、「令和5年産備蓄米の政府買入入札の結果」

注：1 政府備蓄米の合計は、買入対象米穀の産地の指定無し分27,074トンを含んでいる。

注：2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(4) 加工用米及び新規需要米における多収性品種

① 需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に定める品種

品種名
いわいだわら、えみゆたか、オオナリ、きたげんき、北瑞穂、クサホナミ、たちじょうぶ、ふくのこ、ふくひびき、べこあおば、べこごのみ、北陸193号、ホシアオバ、ミズホチカラ、みなちから、モグモグあおば、もちだわら、モミロマン、夢あおば、笑たわわ、亜細亜のかおり

② 都道府県知事の申請に基づき地方農政局長等が特に認める品種（特認品種）

都道府県	品種名	都道府県	品種名
北海道	そらゆたか	三重県	タチアオバ、あきだわら、やまだわら
青森県	ゆたかまる	滋賀県	吟おうみ
岩手県	つぶゆたか、つぶみのり、たわわっこ	京都府	あきだわら、やまだわら
宮城県	東北211号	兵庫県	あきだわら、兵庫牛若丸
秋田県	秋田63号、たわわっこ	鳥取県	日本晴、コガネヒカリ
山形県	山形22号、山形糯110号	島根県	みほひかり
福島県	たちすがた、アキヒカリ、まいひめ	岡山県	中生新千本、とよめき、やまだわら
茨城県	月の光、あきだわら、ちほみのり	広島県	中生新千本、ホウレイ
栃木県	月の光	山口県	あきだわら
群馬県	月の光	徳島県	あきだわら
埼玉県	むさしの26号	愛媛県	媛育71号
千葉県	アキヒカリ、初星	高知県	とよめき、たちはるか
山梨県	ふくおこし	福岡県	ツクシホマレ、夢一献、タチアオバ
長野県	ふくおこし	佐賀県	レイホウ、さがうらら
静岡県	どんとこい、あきだわら、月の光	長崎県	夢十色
新潟県	新潟次郎、アキヒカリ、ゆきみのり、亀の蔵、いただき、ゆきみらい	熊本県	タチアオバ、越のかおり
富山県	やまだわら、アキヒカリ	大分県	タチアオバ
石川県	アキヒカリ、とよめき、やまだわら	宮崎県	タチアオバ、み系358、宮崎52号、ひなたみのり
福井県	あきだわら、シャインパール	鹿児島県	タチアオバ、ルリアオバ、ミナミュタカ、夢十色、夢はやと、くいつき
岐阜県	あきだわら、アキヒカリ		
愛知県	タチアオバ、もみゆたか、とよめき		

(5) 新規需要米における米粉用向け専用品種

① 需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に定める品種

品種名
北瑞穂、ふくのこ、ミズホチカラ、笑たわわ、亜細亜のかおり、ほしのこ、こなだもん、越のかおり、あみちゃんまい

② 都道府県知事の申請に基づき地方農政局長等が特に認める品種（特認品種）

都道府県	品種名
青森県	あおもりっこ
宮崎県	ひなたみのり

2 米加工品の状況

(1) 主な米加工品の生産状況

(トン、kℓ)

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年 (1~4月)	対前年 同期比
加工米飯	390,170	398,750	404,707	409,034	428,950	440,068	147,402	100%
レトルト米飯	28,163	27,474	27,245	27,885	32,435	41,713	14,578	99%
無菌包装米飯	170,218	182,797	197,185	206,179	213,376	208,654	66,687	94%
冷凍米飯	181,559	178,068	171,307	166,099	174,158	181,357	63,078	108%
チルド米飯	4,845	4,520	3,894	3,624	3,245	2,885	895	91%
缶詰米飯	553	526	422	422	451	395	135	95%
乾燥米飯	4,832	5,365	4,654	4,825	5,285	5,063	2,029	101%
米 菓	221,481	221,796	219,437	214,587	212,519	203,933	69,668	95%
あられ	93,504	92,259	93,506	93,836	93,674	90,294	30,594	96%
せんべい	127,977	129,537	125,931	120,751	118,845	113,639	39,074	94%
味 噌	478,068	481,574	474,700	462,083	468,027	457,850	150,805	99%
米みそ	408,093	412,038	404,717	394,187	399,840	391,542	129,175	99%
調合みそ	28,483	27,950	28,805	28,687	31,263	31,627	10,345	98%
(麦みそ)	16,166	15,555	16,466	15,653	13,275	12,977	4,372	97%
(豆みそ)	25,326	26,031	24,712	23,556	23,649	21,704	6,913	94%
米穀粉	93,956	91,179	91,076	84,964	92,470	96,998	34,777	108%
上新粉	45,643	43,345	40,559	35,918	42,676	42,984	15,624	107%
もち粉	9,663	9,406	8,280	8,812	9,683	9,728	3,619	109%
白玉粉	4,821	4,742	4,851	4,062	4,068	4,282	1,265	98%
寒梅粉	1,534	1,560	1,485	1,492	1,507	1,535	529	104%
らくがん粉・みじん粉	984	1,120	1,013	993	1,008	732	275	130%
だんご粉	1,310	1,159	1,114	1,016	1,042	1,002	339	114%
菓子種	2,506	2,508	2,528	2,183	1,885	1,947	788	108%
新規米粉	27,495	27,339	31,246	30,488	30,601	34,787	12,338	110%
包装もち	59,536	60,894	66,181	65,570	67,696	70,812	15,020	90%
日本酒	495,052	466,872	418,507	404,299	404,486	390,443	120,208	96%
特定名称酒	170,642	164,641	142,121	138,084	145,394	145,644	44,126	99%
吟醸酒	23,126	22,240	19,682	19,464	19,736	18,727	5,096	101%
純米吟醸酒	45,377	45,491	40,362	41,611	45,582	47,645	14,843	102%
純米酒	63,998	61,799	54,729	52,669	55,250	55,035	17,444	99%
本醸造酒	38,141	35,111	27,349	24,339	24,826	24,237	6,744	93%
一般酒	324,410	302,231	276,386	266,215	259,092	244,800	76,082	94%
単式蒸留焼酎	441,824	424,569	411,894	389,556	392,344	371,022	111,163	91%
いも焼酎	189,979	182,169	176,801	164,226	165,230	154,434	46,145	91%
米焼酎	36,362	34,531	31,507	29,552	29,897	29,495	9,467	101%
(麦焼酎)	176,608	171,222	168,352	162,420	163,487	153,416	48,684	95%

資料：加工米飯、米菓、味噌、米穀粉及び包装もちは、食品産業動態調査（農林水産省）。日本酒及び単式蒸留焼酎は、日本酒造組合中央会調べ。

注1：日本酒及び単式蒸留焼酎は、課税移出数量。令和6年は概算値。石川県のデータが令和5年12月以降一部未集計となっている。

注2：日本酒の一般酒は、日本酒全体から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

(2) 令和3米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況（推計）

- 日本酒、米菓、米穀粉などの原料として使用される米穀の令和3米穀年度における使用量は、日本酒の出荷量の減少等により、対前年▲5万トンの約86万トン（推計）。
- 種類別には、うるち米が約67万トン、もち米が約19万トン。制度別には、主食用米、加工用米及び特定米穀などの国産米が約78%。残りの約22%はMA米及び輸入米粉調製品の外国産米。
- 用途別には、日本酒において加工用米を中心に使用量が減少。

＜うるち米＞

（単位：万玄米トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
日本酒用	9 (7)	6		3			18 (7)
米菓用	1	2		5	3	2	12
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	2	8					10
味噌用		1		4	4		9
焼酎用 (泡盛含む)		1		3	1		6
米穀粉用		1	4	1	2	1	8
その他用	1	1		1	1		4
合計	12	20	4	17	11	3	67

＜もち米＞

（単位：万玄米トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	4	3				1	8
米菓用	1	2		2		1	6
米穀粉用		1				1	2
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	1						1
その他用						1	2
合計	7	5		2	1	4	19

注1： 日本酒用の（ ）書きは、酒造好適米で内数。

2： 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米約11万トンを含んでいない。

3： 焼酎は単式蒸留しうちゅう（穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの（酒税法第3条第10号））であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

4： その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

5： 特定米穀とは、水稻収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75～1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米（一般的に「くず米」と呼ばれているもの）の総称。

6： ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

【推計根拠】

- 用途別の原料米使用量合計は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。
日本酒用・・・「清酒の製造状況等について」（国税庁）
焼酎用・・・「課税移出数量」（国税庁）
米菓用、米穀粉用、加工米飯用、味噌用、包装もち用、その他用・・・「食品産業動態調査」（農林水産省）による生産量等
- 制度別の使用状況は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。
主食用米・・・全国出荷団体等からの聞き取り。
なお、酒造好適米は「酒造好適米の需要量調査」（農林水産省）等に基づく推計
加工用米・・・「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」（農林水産省）に基づく報告
新規需要米（米粉用米）・・・「米粉をめぐる状況について」（農林水産省）等に基づく推計
MA米（SBS含む）・・・「販売実績」（農林水産省）
輸入米粉調製品・・・「貿易統計」（財務省）
特定米穀・・・1で推計した用途別原料米使用量から主食用米、加工用米、新規需要米（米粉用米）、MA米及び輸入米粉調製品を差し引いた数量

(3) 加工原材料用米穀の使用状況（推計）の推移

＜うるち米＞

（単位：万玄米トン）

用 途	米穀 年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
日本酒用	29	12 (10)	9		3			24 (10)
	30	11 (9)	9		4			24 (9)
	元	11 (9)	9		3			23 (9)
	2	9 (8)	8		3			21 (8)
	3	9 (7)	6		3			18 (7)
米菓用	29	1	2		4	5	1	13
	30	1	1		5	5	2	13
	元	1	2		5	3	2	13
	2	1	1		6	3	2	13
	3	1	2		5	3	2	12
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	29	5	5					11
	30	5	6					11
	元	4	7					11
	2	4	6					10
	3	2	8					10
味噌用	29		1		2	7		10
	30		1		2	7		10
	元		1		3	5		10
	2		1		3	5		10
	3		1		4	4		9
焼酎用 (泡盛含む)	29		2		3	2		8
	30		2		3	2		7
	元		1		4	2		7
	2		1		4	2		7
	3		1		3	1		6
米穀粉用	29		1	2	1	2	1	8
	30		1	3	1	2	1	8
	元		1	3	1	2	1	9
	2		1	3	1	2	1	9
	3		1	4	1	2	1	8
その他用	29	1	1		1	1		4
	30	1	2		1	1		4
	元	1	1		1	1		4
	2	1	2		1	1		4
	3	1	1		1	1		4
合 計	29	19	22	2	15	18	2	78
	30	18	21	3	16	16	3	77
	元	16	22	3	18	13	3	76
	2	15	20	3	18	13	3	72
	3	12	20	4	17	11	3	67

＜もち米＞

（単位：万玄米トン）

用 途	米穀 年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	29	3	3				1	8
	30	2	3				1	7
	元	3	3				1	8
	2	4	3				1	8
	3	4	3				1	8
米菓用	29	1	2		1	1	1	6
	30	1	2		1	1	1	6
	元	1	2		1	1	1	6
	2	1	2		1	1	1	6
	3	1	2		2		1	6
米穀粉用	29	1	1				1	3
	30	1	1				1	3
	元	1	1				1	3
	2	1	1				1	3
	3		1				1	2
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	29	1						1
	30	1						1
	元	1						1
	2	1						1
	3	1						1
その他用	29						1	2
	30						1	2
	元						1	2
	2						1	2
	3						1	2
合 計	29	6	6		1	2	5	19
	30	6	6		1	1	5	19
	元	6	5		1	2	5	19
	2	6	5		2	1	4	19
	3	7	5		2	1	4	19

注1： 日本酒用の（ ）書きは、酒造好適米で内数。

2： 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米を含んでいない。

3： 焼酎は単式蒸留しようちゅう（穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの（酒税法第3条第10号））であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

4： その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

5： 特定米穀とは、水稻収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75～1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米（一般的に「くず米」と呼ばれているもの）の総称。

6： ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

3 酒造好適米の需給状況

(1) 日本酒の出荷状況

- 日本酒の国内出荷量は、ピーク時（昭和48年）には170万klを超えていたが、他のアルコール飲料との競合などにより、近年は50万klを下回る水準まで減少。
- 消費者の志向が量から質へと変化していることから、国内出荷量全体に占める特定名称酒（吟醸酒、純米酒等）の割合は増加傾向で推移。
- 令和2年以降については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により日本酒の国内出荷量が大幅に減少。
- また、輸出については、日本食ブーム等を背景に近年増加傾向で推移。

日本酒の国内出荷量の推移

(千kl)

	平成 10年	15年	20年	25年	30年	令和 元年	2年	3年	4年	5年	6年 (1~4月)	対前年同月比
日本酒国内出荷量	1,133	871	659	580	495	467	419	404	404	390	120	96%
特定名称酒	291	221	174	164	171	165	142	138	145	146	44	99%
吟醸酒	34	30	20	21	23	22	20	19	20	19	5	101%
純米吟醸酒	25	26	24	29	45	45	40	42	46	48	15	102%
純米酒	62	54	57	58	64	62	55	53	55	55	17	99%
本醸造酒	169	111	73	56	38	35	27	24	25	24	7	93%
一般酒	842	650	485	416	324	302	276	266	259	245	76	94%

資料：日本酒造組合中央会調べ。年は暦年。令和6年は概算値。**石川県のデータが令和5年12月以降一部未集計となっている。**
注1：日本酒は、一般酒のほか、原料米及び製造方法などの諸条件（原料、精米歩留）により、吟醸酒、純米酒、本醸造酒等に分類され、これらを総称して「特定名称酒」という。一般酒は日本酒国内出荷量から特定名称酒の数量を差し引いて算出。
2：国内出荷量には輸出量は含まれていない。

日本酒の輸出量の推移

(千kl)

	平成 10年	15年	20年	25年	30年	令和 元年	2年	3年	4年	5年	6年 (1~4月)	対前年同月比
日本酒輸出量	8	8	12	16	26	25	22	32	36	29	10.0	105%
アメリカ合衆国	1	2	4	4	6	6	5	9	9	7	2.6	137%
中華人民共和国	0	0	0	1	4	5	5	7	7	6	1.6	77%
香港	1	1	1	2	2	2	3	3	3	2	0.7	78%
台湾	4	2	2	2	2	2	2	3	3	3	0.9	102%
大韓民国	0	0	2	4	5	3	2	2	4	4	1.9	119%
その他	2	2	3	4	6	6	5	8	10	7	2.4	105%

資料：「貿易統計」（財務省）。年は暦年。

(2) 日本酒原料米の使用状況

- 日本酒の原料米は、一般的に主食用としても流通している品種のほか、醸造用に適した品種である山田錦、五百万石などの「酒造好適米」が使用されている。
- 日本酒原料米の使用量は、平成25~29年産では、製品当たりの米の使用量が多い特定名称酒の出荷が増加していたため、24~25万トン程度で推移していたが、平成30年産以降は、特定名称酒も減少に転じたこと等から、18~23万トン程度で推移。

日本酒原料米の使用状況

(千トン)

	平成 10年産	15年産	20年産	25年産	30年産	令和 元年産	2年産	3年産	4年産	対前年比 4/3年
日本酒原料米	405	315	261	243	227	206	180	184	198	107%
酒造好適米	99	75	77	76	88	83	70	67	73	109%
加工用米	86	89	74	95	90	85	63	67	71	107%
その他	220	151	110	72	49	38	47	50	53	106%

資料：農林水産省による推計値。

(3) 酒造好適米の生産量

- 酒造好適米の生産量（農産物検査数量）については、作付面積が増加し、作柄が良かった平成27年産の109千トン进行ピークに減少傾向で推移。
- 令和2及び3年産は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、日本酒の国内出荷量が急減したことから、生産抑制が行われ、生産量が大幅に減少。

酒造好適米の生産量（農産物検査数量）の推移

(トン)

	平成 10年産	15年産	20年産	25年産	30年産	令和 元年産	2年産	3年産	4年産	5年産	対前年産比
酒造好適米	99,448	74,854	76,788	75,813	95,856	96,454	85,179	74,756	79,472	92,599	116.5%
山田錦	24,639	22,853	21,399	23,081	33,916	34,644	28,342	27,609	28,168	34,794	123.5%
五百万石	33,282	23,169	24,186	20,602	21,203	19,767	17,561	13,612	14,970	16,940	113.2%
美山錦	11,304	7,487	7,016	6,426	6,408	6,475	5,710	3,816	3,742	4,450	118.9%
雄町	2,502	1,827	1,780	1,700	2,723	2,932	1,987	2,289	2,677	3,142	117.4%
その他	27,721	19,518	22,407	24,004	31,607	32,636	31,578	27,429	29,915	33,273	111.2%

資料：「農産物検査結果」（農林水産省）

注：令和5年産は、令和6年3月31日現在の速報値を直近3カ年の3月31日現在の農産物検査の進捗率により確定値見合いに推計したもの。

(4) 酒造好適米の需要量

- 酒造好適米の需要量は、令和5年7月に実施した需要量調査の結果により推計したところ、令和5年産が82～83千トン程度、令和6年産が82～84千トン程度と見込まれる。

酒造好適米等の需要量調査結果

(トン)

	令和3年産	4年産	5年産	6年産
		対3年産比	対3年産比	対3年産比
酒造好適米の需要量調査結果(実数)	57,208	62,826 109.8%	70,672 123.5%	71,277 124.6%
山田錦	23,771	25,500 107.3%	29,647 124.7%	29,776 125.3%
五百万石	10,666	12,030 112.8%	13,346 125.1%	13,316 124.9%
美山錦	3,345	3,450 103.1%	3,996 119.5%	4,093 122.4%
雄町	1,189	1,407 118.3%	1,445 121.5%	1,436 120.7%
その他	18,237	20,439 112.1%	22,238 121.9%	22,657 124.2%
酒造好適米の全体需要量(推計)	66～68千トン	73～74千トン	82～83千トン	82～84千トン

資料：「令和5年度 酒造好適米等の需要量調査結果」（農林水産省）

注1：「酒造好適米の需要量調査結果(実数)」は、令和5年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量の積み上げの実数。

注2：「酒造好適米の全体需要量(推計)」は、令和5年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量が全体需要量の約85～86%と推計されるため、各年産の需要量を当該割合で除することにより推計。

産地銘柄毎の需要量等の酒造好適米に関する詳細な情報は、以下URLの「日本酒をめぐる状況」及び「酒造好適米等の需要量調査結果等」を参照ください。
URL : https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html

別冊「資料編」では、より詳細な情報をご覧ください。

－ 別冊「資料編」の目次 －

1 米の需給

主食用米等の需給見通し(米の基本指針(令和6年3月5日))

需給-1

2 米の在庫情報

令和3・4年産の産地別民間在庫の推移(うるち米)

在庫-1

Excel

3 米の価格情報

- 1 米の相対取引価格の推移(通年平均価格)(平成20年産～令和4年産)
- 2 スポット価格の状況(株式会社クリスタライズ)
- 3 米の現物市場の状況

価格-1

Excel

価格-4

価格-5

4 米の契約・販売情報

- 1 令和4年産米の産地別契約・販売状況(累計、うるち米)
- 2 政府備蓄米の買入入札の結果(落札実績)(平成24年産～令和6年産)

契約-1

Excel

契約-7

5 支援事業等

- (1) 水田活用の直接支払交付金等
- (2) 畑地化促進事業
- (3) 畑作物産地形成促進事業
- (4) コメ新市場開拓等促進事業
- (5) 小麦・大豆の国産化の推進
- (6) 畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)
- (7) 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金(ナラシ対策)
- (8) 収入保険
- (9) 主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業
- (10) コメ海外市場拡大戦略プロジェクト

支援-1

支援-2

支援-3

支援-4

支援-6

支援-7

支援-9

支援-12

支援-14

支援-16

6 その他

- (1) 水稻うるち玄米の農産物検査結果
- (2) 国産飼料用米の需要情報
- (3) 麦・大豆の需要情報
 - ① 令和6年産麦の産地別銘柄別入札結果
 - ② 令和5年産大豆の産地品種銘柄別入札結果
- (4) 野菜等の需給情報
- (5) 令和5年産水稻の収穫量
- (6) 年産・都道府県別の主食用米作付面積及び収穫量等の推移

その他-1

その他-2

その他-4

その他-6

その他-11

その他-15

その他-21

農業者と農林水産省をつなぐ
新たなコミュニケーションツール

MAFFアプリ

農業に役立つ情報が直接届く。
現場の情報を直接届ける。







Android iOS

○米に関する各種情報は「米に関するメールマガジン」でも毎月発信中です。登録方法は下記URLを参照ください。
<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>